

令和2年度ロシア地域貿易投資促進事業  
ロシア新規市場開拓可能性調査

# 現代ロシア・ビジネスの新潮流

2021年3月

一般社団法人ロシア NIS 貿易会  
ロシア NIS 経済研究所

## 序 文

2020年のロシア経済のGDP成長率は、新型コロナ対策のための様々な制限措置の導入および世界的なエネルギー需要の低迷、および資源価格の下落も重なり、対前年比3.1%減と大きく縮小した。コロナ禍の影響を受けたのはGDPのみならず、鉱工業生産、固定資本投資、商品小売販売高、貿易高など、2020年の主要経済指標は軒並み悪化している。

こうした状況下においても、日本の各産業セクターは、ロシアとのビジネス関係を構築するための努力が継続して行われた。本報告書は、令和2年度（2020年度）ロシア地域貿易投資促進事業の一環として、日本の各産業セクターの代表による現代ロシアビジネスの実態に関する調査・分析、および現代ロシア社会経済の潮流に関する調査・分析をまとめたものである。ロシア市場にすでに進出されている日本企業ならびに今後進出を検討されている日本企業の方々に、参考資料として本報告書をご活用いただければ幸いである。

本報告書は、令和2年度ロシア地域貿易投資促進事業・ロシア新規市場開拓可能性調査の一環として、経済産業省の助成を得て刊行された。本事業の実施にあたり、多大なご協力を賜った経済産業省、調査の過程で貴重なご助言をいただいた専門家、企業関係者、当会会員、関係各位に改めて御礼申し上げたい。

2021年3月

一般社団法人ロシアNIS貿易会  
会 長 村 山 滋



## 目次

I. コロナ影響下のロシアベンチャー投資.....	1
I-1. コロナ影響下のロシアベンチャー投資.....	1
I-2. スタートアップは対コロナ政府支援策を活用できるか.....	7
I-3. ウラジオストクにおけるスタートアップの事例.....	12
I-4. トムスクのイノベーションエコシステム.....	16
II. コロナ危機とロシア医療の動向.....	21
III. ロシア・NIS諸国の輸送の諸問題.....	42
III-1. 「中欧班列」の動向.....	42
III-2. 大陸横断コンテナ列車の動向.....	46
III-3. シベリア・ランドブリッジの利用促進へ向けて.....	52
III-4. ロシア物流の実績.....	57
III-5. シベリア鉄道と極東港湾（5月）.....	63
IV. ロシアにおける工業団地の現状と展望.....	70
IV-1. ロシアにおける工業団地とは.....	70
IV-2. グラフツェヴォ工業団地.....	73
IV-3. 先駆的なリペツクの工業生産特区.....	76
IV-4. ブラウンフィールド型カマ工業団地「マスチエル」.....	79

<b>V. ロシアの会計制度と労務管理の実際</b> .....	82
V-1. ロシア会計:歴史と概観.....	82
V-2. ロシア会計:財務諸表.....	86
V-3. ロシア会計:損益計算書.....	89
V-4. ロシア会計:貸借対照表.....	94
<b>VI. 現代ロシアの社会経済の新潮流</b> .....	100
VI-1. 人気YouTubeチャンネルから見るロシア世相.....	100
VI-2. ロシアの感染症病院に入院してわかったこと.....	103
VI-3. ロシアの人口減問題と中絶薬販売規制の行方.....	106
VI-4. 戦史取材が見つないだ不思議な縁.....	109
VI-5. ロシア社会に衝撃を与えた生放送中の死.....	111
VI-6. 汚職と戦い人気だったヤクーツクの女性市長辞任.....	114

# Ⅰ. ロシア・NIS諸国のIT産業

牧野 寛

## Ⅰ-1. コロナ影響下のロシアベンチャー投資

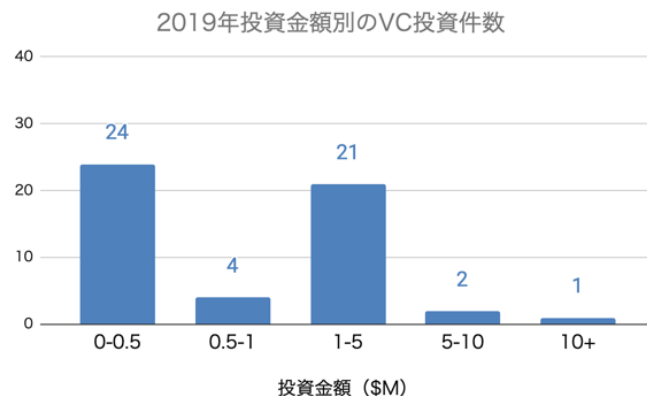
### 1. コロナウイルスとベンチャー投資

先日、日経新聞で『大企業スタートアップ投資「減らす」9割、協業後退も』といった見出しの記事が掲載された。デロイトトーマツベンチャーサポートのアンケート調査によると、新型コロナウイルスの感染拡大で、本業の業績悪化を懸念した大手企業の多くが、2020年におけるベンチャー投資を19年より減らす意向を示している。近年、日本のベンチャー投資を牽引していたのが、大手の事業会社だったこともあり、スタートアップ企業の間で不安が広がっている。一方で、バブル化していた企業価値が適正な価格に落ち着き、割安な株価を投資機会と見て、積極的に投資を行うと表明するベンチャーキャピタルも多い。スタートアップ界限では、「コロナ影響下でもアクティブに動いているスタートアップ投資家」といったリストが共有されている。

一方で、ロシアはどうか。本稿では、新型コロナウイルス感染拡大前のロシアスタートアップ企業への投資状況と、コロナ影響下での投資家の投資姿勢に焦点を当てたいと思う。

### 2. 2019年ロシアスタートアップ投資環境

ロシアベンチャーキャピタル協会（英：RVCA）が毎年発表している年次レポートによれば、2019年9月時点でのベンチャーキャピタルによる、ロシアスタートアップへの投資実行は、52件、7,700万米ドルとなっている（レポート内では、製品・サービスの総売上のうち、50%以上がロシア連邦内で発生している企業への投資実行をカウントしている）。



エンジェル投資家による投資が含まれていない事もあり、この数字だけでロシア市場全体のスタートアップ投資を測るのは難しいが、RVCAの年次レポートは毎年発行されているので、トレンドを見ることは可能である（図1）。

同レポートによれば、2019年9月時点では、プレシード・シードステージ（会社設立前の準備期間～会社設立直後で事業構想やプロトタイプがある状態）への投資件数は全体の38%、アーリーステージ（会社設立後の事業立ち上げ期）が34%、エクспанションステージ（事

業が成長し、単月黒字を目指せる段階）が28%となっており、年々ステージが進んだ企業への投資が増えていることが分かる（図2）。投資金額別の投資件数は以下の通り。

### 3. VCファンドと主要ベンチャー投資家

ロシアスタートアップの今後を占う重要な指標として、ファンド組成の傾向にも目を向けてみたいと思う。前述のRVCAのレポートによれば、2019年9月時点で組成されているVCファンド数は195件、ファンド総額は45億500万米ドルである（図3）。レポート内では、ファンドを通じた投資金額の50%以上が、ロシア企業に投資されたファンドをロシアファンドと定義している。また、2019年の新規組成されたファンド数は6ファンドで、ファンド総額は1億8400万米ドルである。2018年には、8億米ドルを超えるファンドが組成されている為、ここ2～3年の間は、急激にスタートアップへの投資が減速することはないと思われる。また、同レポート内では、2019年度中にファンド総数が200を超えることが予想されている。タイプ別に見ると、2013年以降政府系のVCファンドは、全体におけるシェアを落としており、民間の独立系VCファンドや事業会社が有するコーポレートベンチャーキャピタル（英：CVC）がシェアを伸ばしている。特に、2016年以降、世界的にも、大手企業によるオープンイノベーション推進が叫ばれ、ロシアでも事業会社によるファンド組成が増えてきている。

具体的には、どのような投資家がロシアのベンチャー投資を牽引しているのだろうか。政府系のファンドオブファンズであるロシアベンチャーカンパニー（英：RVC）「2019年ロシアベンチャー投資家活動ランキング」を発表している。同レポートの中では、2019年のロシア人投資家が行ったベンチャー投資は776件、5億2000万米ドルとなっており、2018年の685件、3億5200万米ドルを大きく上回っている（注意しなければならないのは、このレポートはロシア人・ロシア系企業のベンチャー投資ランキングであり、投資先は必ずしもロシア企業もしくはロシア市場をメインマーケットとしている企業への投資総額ではない）。

同レポートでは、ベンチャーキャピタル、エンジェル投資家、事業会社（コーポレートベンチャーキャピタルを含む）の3つのカテゴリにおいて、それぞれランキングが発表されている。ロシアのベンチャー投資における主要な投資家として、以下上位3位までを紹介する。

#### ベンチャーキャピタル

1. インターネットイニシアチブ開発基金（英：IIDF）
2. アルテアシードファンド（英：AltaIR Seed Fund）
3. \*デイワンベンチャーズ（英：Day One Ventures）

\*デイワンベンチャーズは、オフィスがロシア国外にあり、投資件数の1/4、ないしはファンド投資家の1/4が海外投資家である「海外ファンド」に分類されている。

エンジェル投資家

1. ボグダン・ヤロヴォイ
2. アレクサンドル・ルミャンツェフ
3. セルゲイ・ダシュコフ

事業会社

1. ズベルバンク
2. AFKシステム
3. メール・ルーグループ（英：Mail.Ru Group）

#### 4. コロナ影響下のロシアベンチャー投資家

以上が、コロナウイルス感染拡大前のロシアスタートアップへの投資状況である。コロナウイルスの影響で、人々は行動変容を強いられ、ビジネスの世界も大きな変革が求められる中、ロシアのスタートアップ業界は、これまでのトレンドを踏襲するのだろうか。

スタートアップに関するニュースを配信するオンラインメディアのルスベースが、ロシアの主要ベンチャー投資家に聞き取り調査を行い、コロナ影響下での投資姿勢や、投資戦略への影響などの情報を掲載している。聞き取り調査は、コロナ影響下でもスタートアップとのコミュニケーションを継続し、新たなディールを結んでいる投資家 30 人に対して行われた。ここでは、積極的に投資をしていくとしたグループと、投資は行っていくものの、投資判断の条件などを見直しているグループとに分けて紹介する。

積極的に投資を行っていくグループ

- イエローロケッツ
- VEB Ventures
- エクスポキャピタル
- フォートロスベンチャーズ
- Pulsar VC
- フィンサイトベンチャーズ

VEB Venturesは、長期的な投資戦略におけるコロナウイルスの影響は出ていないとし、投資予算を計画通り実行していくと表明している。投資対象は、以前と変わらず、スマートシティ向けソリューション、医療、ハイテク製造業、グリーンテクノロジーなどである。また、毎年アクセラレーションプログラムを運営しているPulsar VCは、4月上旬に2020年度のプログラム参加者の選考をオンラインで開催した。Pulsar VCはロシア国内だけでなく、CIS諸国、米国、アイルランド、日本などの海外マーケットにも活動の幅を広げていくとしている。

## 投資基準を引き上げたグループ

- The Untitled ventures
- TMT Investments
- フィンサイトベンチャーズ

The Untitled venturesは、継続してスタートアップへの投資検討をしていくと回答するものの、コロナウイルスの影響を受けるオフライン小売などのセクターは、投資対象から除外した。TMT Investmentやフィンサイトベンチャーズなども、投資判断の基準を引き上げ、より成熟したプロジェクトや十分な手元資金を有するスタートアップへの投資を行うと表明している。

## 終わりに

ロシアのベンチャー市場が、大きく成長する材料は今のところ見当たらない。一方で、今後極端に縮小するという事もないだろう。大型ファンド組成が2018年に行われ、この資金は2～3年かけて市場に供給される。また、数が多いわけではないが、現在スタートアップとの協業に力を入れている大手企業の本気度は高い。

懸念となるのは、海外投資家とのネットワークだ。ロシアのベンチャー市場は元々の規模が小さい。国内で投資資金やM&A先が見つけれないロシアスタートアップにとって、海外投資家とのネットワーク構築は重要だ。それが、今のコロナウイルスの感染拡大を受けて、全てストップしてしまっている。今後、国境が再度開かれたとしても、海外投資家にとってロシアスタートアップへの投資検討は優先順位が大きく下がってしまうのではないかと危惧している。

図1 ロシアVC投資実行推移 (\$M)

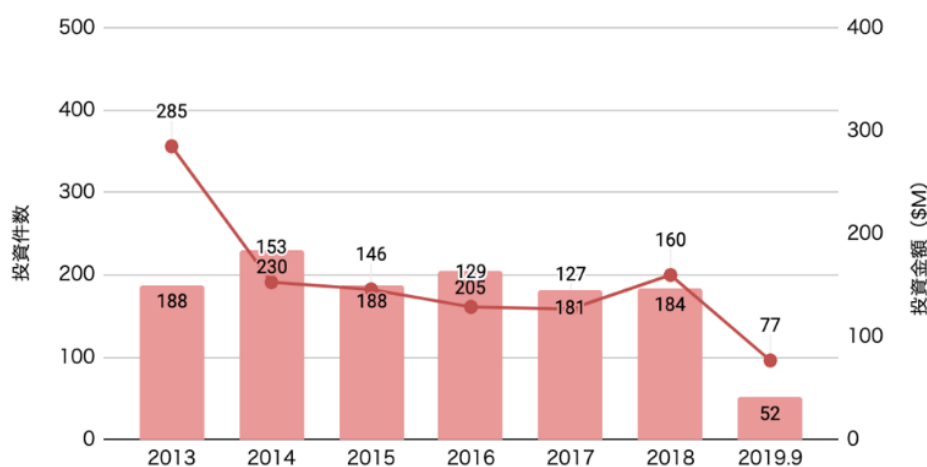


図2 資金調達ステージ別投資件数推移

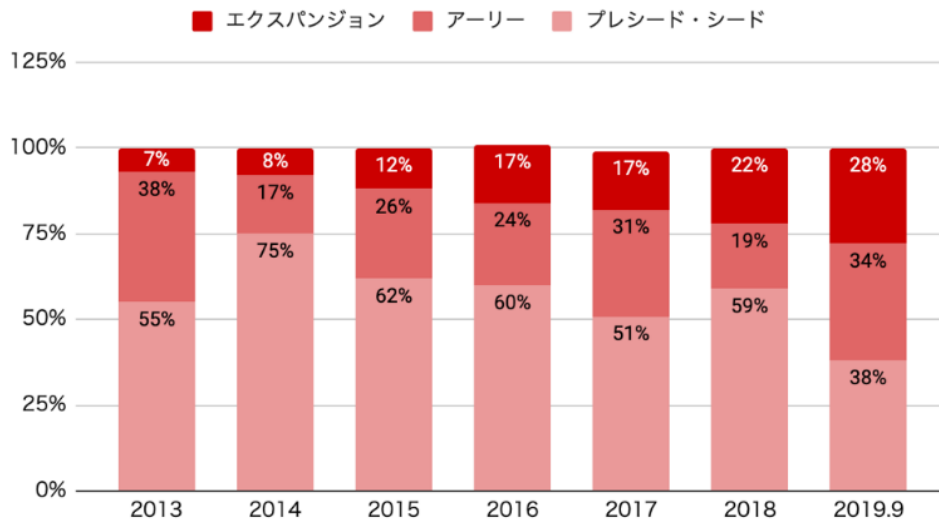
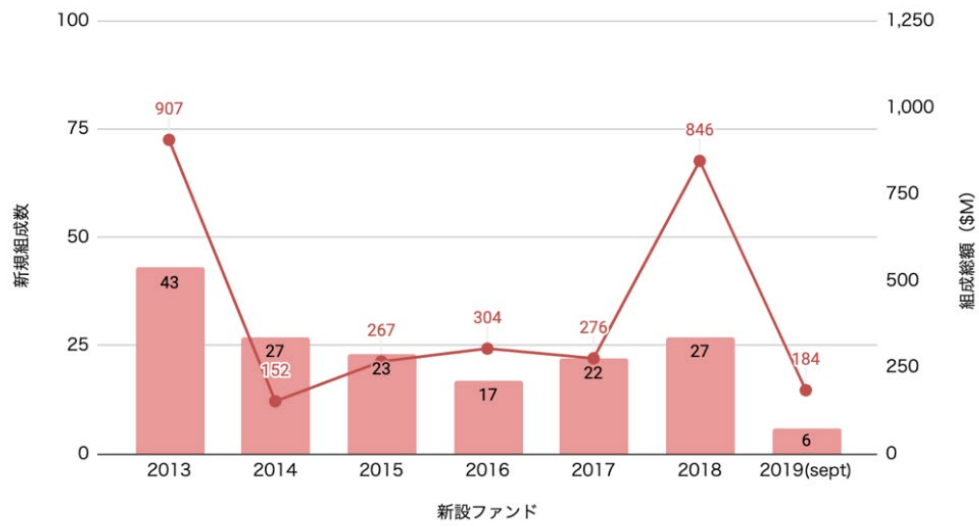


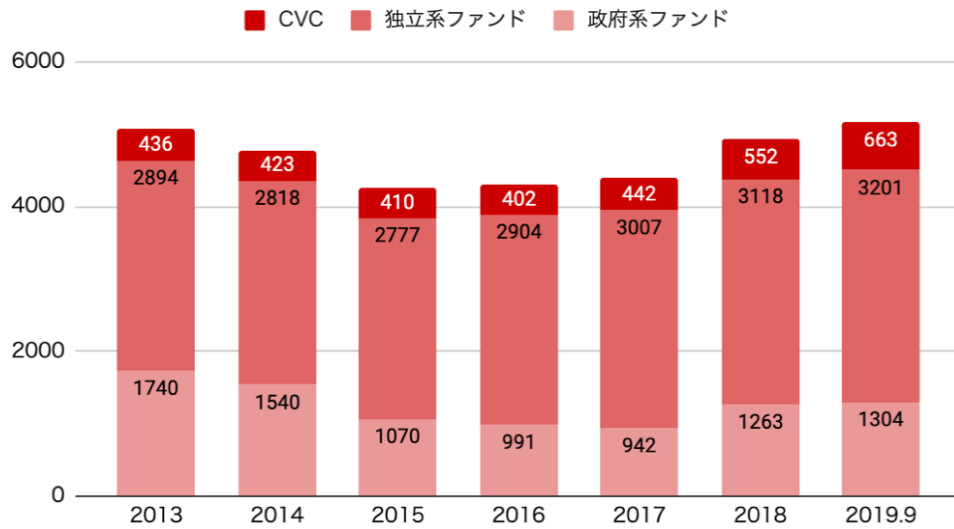
図3 ロシアVCファンド数とファンド総額 (\$M)



図4 新規組成されたVCファンド数とファンド総額



タイプ別ファンド組成額 (\$M)



## 1-2. スタートアップは対コロナ政府支援策を活用できるか

### 1. 日本の「持続化給付金」

日本では、感染症拡大によって大きな影響を受けている事業者への救済策として、持続化給付金の受付が5月1日より始まっている。給付対象は、2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、前年同月比で事業収入が50%以上減少した月を有する中小法人と個人事業主である。中小法人では、最大200万円、個人事業主では最大100万円が支給される。給付遅れの問題や、給付作業を受託した法人の運営形態が不透明であるとか、色々と騒がれてはいるが、周囲で受付開始直後に申請した人の話を聞いていると、申請不備がなかった人に関しては、比較的迅速に給付が行われたように思う。

ロシアでも、大統領演説にて、感染症拡大の影響を受けた中小・零細企業向けに各種の支援策が発表されている。実際にこれらの支援策をロシアのスタートアップ企業も活用しているのだろうか。

### 2. ロシアにおける中小企業向け政府支援策

中小企業向けの支援策を管轄しているのは、ロシア連邦政府、経済発展省、中小企業公社の三組織である。以下のサイトから、支援策について確認することができる。

<http://covid.economy.gov.ru/>

ロシアにおける中小企業の定義は、年間売上高20億ルーブル、従業員数250人以下の法人を指す。さらに売上高や従業員数により、「中企業」「小企業」「マイクロ企業」の3つに分類される（表1）。

サイトによれば、対コロナ経済対策としては、総額3兆ルーブルの予算が割かれており、大きなところでは、以下に予算が使われているようだ。

- 10万件の税務調査の一時取りやめ
- 586億ルーブルの無利子貸付
- 3万件の不動産賃借料支払いの猶予
- 5,290億ルーブル分の融資借り換え

その他、中小企業として受ける事のできる支援策としては、以下のものが挙げられている。

- 従業員への給与払いに充てる補助金
- 税金支払いの6ヶ月の延期
- 社会保障費支払いの6ヶ月の延期
- 従業員への給与払いに充てる無利子融資
- 家賃支払いの延期

- ローン返済と罰金の猶予
- 破産手続きの停止
- 政府系入札における要件の緩和
- 有利な条件での融資プログラム

これら支援策の対象となるのは、前述の中小企業の他に、個人事業主（露：ИП）、自営業（露：Самозанятый）、NPO法人となっている。支援策を受けるためには、上記の対象要件に該当するほか、法人の事業内容が、感染症拡大を受けて影響が出ているとされる対象事業分野である必要がある。対象事業分野は以下の通り。

- 航空輸送およびその関連業務、自動車輸送
- 文化・レジャー・エンターテインメント
- フィットネス・スポーツ
- 旅行
- ホテル
- 外食
- 教育
- カンファレンス・展示会運営
- 修理、クリーニング、ヘアサロンなどの生活サービス

その際に用いられているのが、全ロシア経済活動分類（OKVED）である。OKVEDは、最大6桁の数字からなる産業分類で、その法人の事業内容を表す登記事項である（例. 47.30.1 専門店におけるエンジン燃料の小売販売）。

筆者が持つ法人では、OKVEDが対象事業分野の一つに該当する為、給付金の申請を試みたが、5月末の時点で連邦税務局からの返信はない。これは、OKVEDには、メインコード（1つのみ）とサブコード（複数）があり、対象事業分野の認定には、メインコードが用いられる為だ（筆者の法人では、サブコードが「教育」に該当していた）。

このOKVEDによる運用には、問題も出ている。事業内容とOKVEDが合致しないビジネスが少なくないのである。OKVED自体がこれまで、主に統計調査などの用途以外で用いられてこなかった為、人々の認識が薄い（政府系入札でも、OKVEDは入札条件にはならない）。新しい事業を始めたからといって、そのためにOKVEDを都度修正していく人がどれほどいるのだろうか。また、ホテル、歯医者、プライベート幼稚園などは、該当し得るOKVEDが複数あり、同じ業種でも法人によって登記しているOKVEDが異なるという事が起きている。これらにより、支援対象事業を行っていても、給付金申請で却下されてしまった法人が出ているのだ。

### 3. 支援策の利用状況について

実際に今回の支援策を利用した人を探してみた。筆者の周りには、スタートアップの起業家、スモールビジネスの経営者が多いが、支援策の利用状況について、ヒアリングを実施した。ヒアリングは、スタートアップ企業6社、スモールビジネス8社（うち2社は日系企業）に対し行った。結果として、14社のうち支援策を利用した企業は、たったの1社だけであった。支援策を利用した企業は、従業員の給与に充当する給付金を4月に申請し、3日ほどで受理されたという（ただ、この企業は別ビジネスで会計事務所を経営しており、情報収集と申請方法については問題がなかったと思われる）。

一方で、利用しなかった企業に関しては、そもそも支援策についてあまり知らないという経営者も多かった。これに関しては、国の支援に対する期待値が相当に低く、あえて情報をとりにくい感じには感じられなかった。ヒアリングの中で、得られたコメントをいくつか掲載する。

「ITセクターは今回の感染拡大で大きな影響を受けていない。さらに自分は外国人（ウクライナ人）なので、書類手続きに、（受ける支援と比較して）より時間がかかると思う。」

日本とロシアの給付金を比較して、「（ロシアは今回の感染拡大で）非効率なビジネスを一掃しようとしていると思う。結果として残るのはIT企業ばかりだ。」

「メディアでそういった報道を見るものの、周囲で支援策を受けた人を聞いた事がない」

「国営企業は、国の支援策を受けのだろう」

### 4. スタートアップが利用可能な補助金

ここでは、新型コロナウイルスとは関係なく、スタートアップ企業や中小企業が利用できるグラント（補助金）を紹介する。

#### (1) イノベーション協力基金

国営の非営利機関として1994年に設立された同基金は、創設者の名前をとって「ボルトニク基金」とも呼ばれている。同基金では、研究開発の初期段階のみならず、それ以前の、商業化の見込みが薄い学生のイノベーションの開発コンペ等への資金提供まで行っている。主に提供されているグラントプログラムは7つ（表2）で、プレシード・シードステージ（会社設立前の準備期間～会社設立直後で事業構想やプロトタイプがある状態）のスタートアップ企業が主に利用するのは、三段階に分けて最大900万ルーブルまでの研究開発費が支給される「スタート」プログラムである。対象となる領域は、以下の6つである。

- IT
- 医療・ヘルスケア技術
- 新素材、ケミカル技術
- バイオテクノロジー
- 新しい機器と高度な製造技術
- 省資源エネルギー技術

同プログラムでは、創業2年以内のプロジェクトを対象に1年間で最大200万ルーブルを支給する「スタート1」、創業3年以内で300万ルーブルを支給する「スタート2」、「スタート2」を修了したプログラムのみが対象で、最大400万ルーブルが支給される「スタート3」の3つの段階が用意されている。「スタート」プログラムを修了すると、1年間で最大1000万ルーブルのグラントが支給される「ビジネス スタート」に応募できる。これは、研究開発段階から、製品のマーケットインを目指すためのグラントとなっており、グラントの用途は、マーケティングや、特許申請、サーティフィケーションの申請などに利用できる。

## (2) スコルコボ基金

同基金は、2010年のメドベージェフ政権下で創設されたイノベーションセンター「スコルコボ」の運営主体である。スタートアップ企業は、スコルコボの入居企業（一定の審査を通過し、スコルコボ・レジデントというステータスを獲得する）になると、税制優遇などの様々な支援を受ける事ができる。また、入居企業は、同基金のグラントプログラムに申請する事が可能となっている（表3）。スコルコボは、入居企業がクラスター毎にそれぞれ分かれている。クラスターは以下の通り。

- IT
- 医療・バイオ
- エネルギー
- 宇宙
- 原子力

上記二つのプログラムは、ロシアの一般的なシードステージのスタートアップ企業が利用を検討するグラントであり、またテクノパークなどのスタートアップを支援する公的機関もこれらのグラント獲得をKPIにしている事が少なくない。

## 5. IT分野、スタートアップ界隈は比較的軽傷か

結局のところ、感染症拡大による影響は、IT分野、特にスタートアップ界隈への影響は限定的なのではないかと思われる。スタートアップという事業の形態上、シードステージでは、

調達資金に頼って事業運営している事が多いが、コロナ下で直接影響を受けている事業会社からの資金調達は、ロシアではまだまだ始まったばかりで、そもそも規模が大きいわけではない。メインの資金供給元は、グラントも含めた政府系資金である。また、学生起業家を除けば、ロシアのスタートアップは、すでに別にビジネスを持っていて、そちらの方で生活資金がまかなえている事も少なくない（学生起業の場合は、維持コストが著しく安い可能性が高い）。

こうして見ると、生きていく事はできるものの、一方で大きな成長も見ることが難しい、ロシアスタートアップ産業の課題も少なからず見えてくる。鍵は海外とのネットワークであるが、今は、海外も状況が悪い。ロシアにおいては、コロナの影響で、スタートアップ界隈の勢いが著しく弱まる事はないと思われるが、一方で、大きく飛躍する特殊な要素も見つけれない。他の国々と同様、今は我慢の時間であろう。

### 1-3. ウラジオストクにおけるスタートアップの事例

筆者は2018年12月に、ROTOBO主催のIT・デジタル分野に関するビジネスミッションにて、ウラジオストクを訪れ、現地のスタートアップ企業や支援組織と交流をしている。

今回は、ウラジオストクのスタートアップ産業における主要支援機関であるテクノパーク・ルースキーの協力のもと、三社のスタートアップ企業を取り上げたいと思う。

#### 1. テクノパーク・ルースキー

極東地域においては、シード・アーリーステージのスタートアップを支援する主要組織として、ウラジオストクのテクノパーク・ルースキーと、ヤクーツクにあるテクノパーク・ヤクーツクが挙げられる。ウラジオストクのスタートアップ企業紹介に先駆けて、同地域のイノベーション・ハブでもあるテクノパーク・ルースキーについて、副代表ヴィターリー・サヴァンコフ氏から、改めて同組織の紹介をして頂いた。

テクノパーク・ルースキーは、2017年の第三回東方経済フォーラムを機にスタートしたテクノパークで、極東連邦大学とスコルコヴォ基金が主体となり、同大学内に設立されている。2018年から入居・登録企業の公募が行われ、既に70社以上が登録している。同組織は、極東連邦大学内にコワーキングスペースをもち、一部の企業はコワーキングスペースの入居企業となっている。

同テクノパークは、24,000人を抱える極東連邦大学への人材、研究開発へのアクセスと、ロシア全体のイノベーション・ハブであるスコルコヴォが有するスタートアップ業界のネットワークを結ぶ、ゲートウェイの役割を果たしている。極東連邦大学は、積極的に起業家育成に取り組んでおり、ロシア連邦内ではじめて、スタートアップ起業を卒業論文の代わりとして認定する「スタートアップ・アズ・ア・ディプロム」プログラムの採択大学としても知られる。同テクノパークの入居企業の一部は、学生起業のスタートアップ企業となっており、学生向けのプログラムも多く存在する。2020年3月には、コロナ禍で、はじめて学生むけのオンラインアクセラレーションプログラムが実施され、プログラムの成果発表となるデモデイには15社が参加している。

また、スコルコヴォとの関係では、2020年から、スコルコヴォの地域オペレーターの称号を獲得し、パートナーシップを強化している。毎年夏にモスクワ・スコルコヴォで行われるロシア最大のスタートアップイベント「スタートアップ・ヴィレッジ」の地方予選となっている「スタートアップ・ツアー」も、極東地域の開催は、同テクノパークで行われている。

これら、主要パートナーの他に、極東地域のハイテクプロジェクトに投資を行う「極東ハイテク基金」や、ロシア鉄道の名前が、パートナー組織として挙げられている。

テクノパーク・ルースキーが他のロシアのテクノパークと一線を画するのは、「アジア太平洋」志向を明確に打ち出していることであり、中でも、中国、韓国、日本を戦略的に重要

なパートナーとして位置付けている。特に、知財保護やシード投資を行う中国の Hangzhou PUQI Technology とは、海外企業として初めてのパートナーシップを結んでいる。

日本との関係では、2018年12月のROTOBO主催ビジネスミッションの他、2019年2月には、ロシア戦略イニシアチブ庁（ASI）とJETROが、東京で開催した「日露ビジネス交流促進フォーラム」に、テクノパーク関係者のほか、入居スタートアップ企業数社が参加している。また、2019年8月には兵庫県が井戸県知事と共に、同テクノパークを表敬訪問している。

## 2. テクノパーク登録スタートアップ企業

本連載の趣旨を説明し、前述のサヴァンコフ氏に、テクノパーク・ルースキーに登録しているスタートアップで注目の三企業を紹介して頂いた。各社とは個別にオンラインでインタビューを行い、プロジェクトの概要を伺った。

### (1) ナマコの再生能力を活用したスキンケア化粧品「Pentakan」

Pentakanを製造するプリムコスメティカ社は2015年にオリガ・トロフィモヴァ女氏が創業したスタートアップである。ナマコ属の再生能力を支える物質を効率的に抽出できる特許技術を用いて、ニキビや皮膚炎をケアするスキンケア化粧品を開発した。化学物質を使用した化粧品は、使用者の



の体質に合わない肌荒れなどのアレルギー症状を引き起こす。海洋生物からエキスを抽出して製造しているPentakanは、植物性由来の既存のオーガニック化粧品よりも、さらに人の肌に近い構造を持ち、アレルギー症状などを引き起こしにくいのだそうだ。一方で、植物性由来のものに比べて、海洋生物からエキスを抽出するのは、技術的に非常に難しく、エキス抽出にかかる同社の特許技術が大きな競争優位となっている。

製品の価格帯は、50mlのクリームが970ルーブル（約1300円）となっており（卸価格は約8米ドル）、ロシア国内では輸入化粧品と同じくらいの価格帯となっているものの、決してハイエンドの商品という訳ではない（日本の楽天市場で商品検索すると、同じ容量のフェイスクリームの価格帯中央値はおおよそ3,500-4,000円となっている）。販売チャネルとしては、80%が卸売、20%が自社のオンラインショップからの販売となっている。直近では、ダイレクトセールスに力を入れており、ロシア国内のマーケットプレイス型Eコマースサイトであるオゾンや、越境Eコマースのプラットフォームであるアリエクスプレスにも出店をスタートしている。

## (2)東洋医学を応用したヘルスケアトラッカー「ライフトラッカー」

ライフトラッカーは、心拍を測定・解析する専用のセンシングデバイスと、デバイスからクラウド上に送られたデータを閲覧するモバイルアプリから構成されている。創業者のウラジーミル・ゴリツォフ氏はITエンジニアで、90年代に自身の父親が研究していた心拍の解析技術をプロダクトに昇華させた。クリップの様な形状をした独自のセンシングデバイスは、ユーザーが指先を差し込むと、30秒ほどで心拍データを取得し、モバイルアプリがデータを解析



(左:モバイルアプリ、右:センサー)

する。アップルウォッチなどでは、心拍の解析に一つの周波数帯を用いるのに対して、ライフトラッカーのセンシングデバイスは、既存のセンサーの100~1000倍の精度を誇り、より多くの周波数帯を解析することが可能となっている。これにより、取り扱うパラメーターは、既存のヘルスケアトラッカーと比較して、6倍多くなっているようだ。これらのパラメーターを用いて、健康促進にかかるアドバイスを行う点において、同解析技術は、東洋医学と通じるものが多くあり、モバイルアプリでは、東洋医学の五行（木・火・土・金・水）がインタフェースに活用されている。

ビジネスモデルは、センシングデバイスの価格が30米ドル、モバイルアプリのサブスクリプションが月10米ドルとなっている。サブスクリプションを購入しないと、センシングデバイスはただの脈拍計となってしまう。2019年9月から販売をスタートし、一年間で180個のデバイスを販売したとのこと。課題は、サブスクリプションの継続購入で、どれだけ正確に健康状態を知ることができても、ユーザーはそのデータを元に、何かしらのアクションを起こさなければ健康な身体を手に入れることはできない。この課題を克服するためにライフトラッカーでは、オンラインコミュニティの運営やワークショップを開催しているようだ。

今のスマホカメラでは、心拍による人間の振動を捉えることができるものの、その心拍を解析するところまではできていない。特許技術である心拍の解析技術は応用範囲が広く、今後は、マッチングアプリや、交通・製造業分野でのワーカーの安全管理などに技術を応用していく計画があるようだ。

## 3. 教育機関向け低コスト人型ロボット「アダム」

アダムを開発しているロボット社CEOのアレクサンドル・ガニユシュキン氏は7歳の頃からロボットに傾倒し、自作でロボット開発を行う幼少期を過ごした。

アダムは中高生のロボット教育教材として開発された人型ロボットである。教育用ロボットの課題点は、大学で使用するような高額 of 産業用ロボットか、レゴのような子供向けの教材しかないことにある。アダムは14歳以上の中高生を対象とする教育教材でありながら、教育機関が導入し易い



中価格帯のロボットとして開発された。ロシアにはロボット開発を学べるロボットクラブや、「クヴァンタリウム」と呼ばれる中高生むけのテクノパークが存在する。アダムの顧客となるのは、これら教育機関である。

アダムの価格は、2020年9月時点で12,000米ドルとなっているが、ロット生産や大量生産ができるになると、さらにコストを抑えることができる。ロボットの製造原価に大きく影響を及ぼすのは駆動関節の数だが、ロボット社はこの関節の数を抑えながら、ロボットの動作の柔軟性を担保する独自の設計ノウハウを有しており、アダムの低コストを実現している。2020年には最初の出荷が行われ、4台が教育機関に導入されている。同社は創業後5年間で1,400万ルーブルの資金調達を行っている。

ロボット社はいくつかの特許技術を有しているが、その中でもVRを活用したロボット制御技術がある。これら技術はアダムを通して、開発が行われた。ロボット社が目指しているのは、アダムを通して中高生が、同社の様に、新しい発見や、研究開発を行える環境を整えることにある。

#### 4. ウラジオストクならではの研究開発スタートアップ

今回、ご紹介した三社はそれぞれ独自の研究開発や特許技術を持っている。ここにはウラジオストクならではの地域性が色濃く反映されている印象を受けた。豊富な海洋資源に恵まれたウラジオストクだからこそ生まれた、Pentakanの海洋研究開発や、ライフトラッカーの東洋医学の応用はもちろん、アダムが1,400万ルーブルというロシアの地方都市におけるスタートアップシーンでは比較的大型の資金調達を行うことができたのも、ウラジオストクには、連邦政府の肝いりで、その開発に莫大な資金供給が行われていることも、無関係とは言えないだろう。

2018年に筆者が訪れた時と比べると、スタートアップのレベルも格段に上がった様に感じる。当時は、プレゼンを何度聞いても、何をしたいのかが理解できない様なプロジェクトが散見されたが、今回のインタビューを通して、プロジェクトの課題設定などはかなり洗練された印象を受けた。モスクワなどから人材を紹介できるスコルコヴォの存在が、ウラジオストクのスタートアップシーンに与えた影響は大きかったと思われる。

## 1-4. トムスクのイノベーションエコシステム

先日、筆者は仕事の関係でシベリアの町トムスクを訪れる機会があった。シベリアの中心地といえば、ノヴォシビルスクが挙げられる。ここには、つくば学園都市のモデルにもなったアカデムガラドクがある。ノヴォシビルスクは、シベリアにおける学術研究の中心地であり、ロシアにおけるイノベーション産業を考える上では重要な都市でもある。

一方で、モスクワやサンクトペテルブルクなどの大都市を中心に、ロシアのイノベーション産業と関わっていると、トムスクの出身者というのは意外に多い。スタートアップ関係者からもトムスクには技術力の高い企業が多いと聞く。こういう経緯もあり、筆者は以前からトムスクという町に興味を持っていた。

出張中は、トムスクのイノベーション産業に関わる様々な人々に話を聞くことができた。今回は、トムスクにおけるイノベーション産業のエコシステムについて、紹介したいと思う。

### 1. 木造建築と学生の町トムスク

トムスクは人口約57万人の都市で、シベリア西部に位置している。モスクワから飛行機で東に4時間の距離であり、また、日本との時差は2時間となっている。トムスクの歴史は古く、17世紀初頭に建てられた要塞がその起源となっており、シベリア最古の町の一つだ。もともと、この地域にはタタール人が住んでいたこともあり、現代においてもタタール人が住み、町中にはタタールの文化を垣間見ることができる。19世紀中頃に金鉱が発見され、町は経済的に大きく発展した。これ以降、非常に多くの木造建築が建てられており、今でも市内では多くの歴史ある建築物を見ることができる。また、19世紀末にシベリア鉄道が建設された時、鉄道がこの町を通らなかった為、他のシベリアの都市に比べ発展が遅れてしまったという歴史がある。

歴史的建造物「寄棟造の家」



現代においては、トムスクはシベリアの「カレッジタウン」として、その地位を築いている。市内には9つの大学と15の国立研究機関があり、人口57万人に対して、約1/3が学生・大学関係者となっている。市内中心部には多くの学生寮が建っている。

### 2. トムスクのボトムアップ型イノベーションエコシステム

ロシア最大のイノベーションハブであるスコルコヴォによれば、トムスクには、前述した学術機関に加え、6つのインキュベーション施設がある。また、建設、エネルギー、製造、採掘の分野で200社以上のイノベティブな企業があり、IT企業に関しても200社以上が活動を行なっている。

筆者は、今回のトムスク渡航で、4大学、30社（コワーキングスペース、経済特区含む）以上の話を聞くことができた。関係者の話を踏まえると、トムスクのイノベーションエコシステムにおける最大の特徴は、産・学・官が絶妙な距離感で有機的に連携している点にあると思われる。

まず産業界について、筆者が驚いたのは、今回話を聞いた企業のうち、実に多くの企業が海外との取引を行っており、かつ、海外売上が国内売상을大きく上回っていたことである。海外取引実績の多くが、誰もが一度は名前を聞いたことあるような欧米を代表するようなテクノロジー企業からのソフトウェアの受託開発であり、また、自社インターネットサービスで開発している場合、ユーザーの多くが海外からの流入だという。もちろん話を聞いた企業の多くがソフトウェア開発や関連サービスの提供をメインで行っており、比較的モノの移動を必要としない事業を行なっているという前提があるものの、特にソフトウェアの受託開発において、世界中の先端プロジェクトに関わることができるというのは、エンジニアにとって大きな魅力であることは間違いない。

次に大学を含む学術機関であるが、非常に印象的だったのが、話を聞いたトムスクの主要大学（トムスク国立大学、TUSUR(トムスク国立制御システム・無線通信大学)、トムスク工科大学）が、それぞれお互いを非常に意識しており、良い意味で競争環境が整っているということである。これらの大学は、市のメインストリートである通り沿いの1km程の距離に、集中して立地している。

また、上記の技術者を輩出する大学とは一線を画して、シベリア医科大学では、病院で利用している医療システムのデジタル化や、患者が自宅にいながら医学的な見地でリハビリテーションをサポートしてもらえるようなシステムの構築を行なっている。シベリア医科大学では、前述の技術系大学の学生・研究者たちに依頼して上記のようなシステムの開発を行なっている。彼ら曰く、こうした学学連携ができるのは、大学が非常に狭い地域に物理的に隣接しており、人材交流などが極めて緊密に行われていることによって、共同プロジェクトを立ち上げやすいのだそうだ。

そして、最後に行政の役割であるが、まずは行政と大学・研究機関の間で非常に密に人材交流が行われていることが挙げられる。州政府内部には前述の大学出身者が非常に多く、また、州政府の官僚が大学の上位ポストに転職するといったケースも見られる。ここまで来ると、州政府としてもトムスクの産学連携の魅力や海外取引実績などをアピールして、外資誘致を呼び込むべく、積極的に政府が関わって、様々な制度や予算がつけられるように想像できるが、実際の状況は異なるようだ。州政府の担当者曰く、前述の大学は、予算元はロシア連邦政府となっており、州政府のこれら大学に対する影響力は実際には大きくないそうだ。とはいえ、筆者が企業や大学を訪問すると、現場レベルでは、州政府担当者が大学教授の元教え子だったり、非常に距離が近い。また、州政府担当者は企業の事業活動についても非常によく把握しており、良い関係性があるように感じられた。ロシアは逆行しているものの、

世界的にはトップダウンのイノベーション施策はほとんどがうまくいっていない。有機的なイノベーションエコシステムが形成されているのは、民間主導のボトムアップ式なエコシステムである。これでいうと、トムスクのエコシステムは、まさにこのボトムアップ式のエコシステムと言える。州政府はサポーターな立場を取り、制度や箱物ではなく、人的交流を通して、このエコシステムに関与しているのである。

### 3. トムスクのイノベティブ企業

ここでは、今回実際に訪問したトムスクのイノベティブな企業を2社紹介する。

#### (1) ユニジャイン(<https://unigine.com/>)

(ユニジャイン社でデモを体験)

ユニジャイン（英：UNIGINE）は2005年創業で、3Dエンジンを自社開発している。ユニティやアンリアル・エンジンの競合企業である。本社はルクセンブルクにあるが、開発はトムスクで行なっており、従業員数は、全体では約50人、開発者は30人程の小規模なチームである。サンクトペテルブルクにマーケティング・セールスオフィスをもつ。



ビジネスモデルは、ソフトウェア開発キット（英：SDK）の提供と、ユニジャインエンジンを活用した3Dアプリケーションの受託開発である。主な顧客は一般企業や行政で、プラントや製品の設計などを行う企業のR&D事業部へのダイレクトセールスが基本だそうだ。プラント設計（BIM）などの広大な領域を3Dモデリングする際に非常に精度が高く、前述の2社に対しても競争優位があるそうだ。海外企業へのカスタマーサポートも全て自社で行なっているというから驚きである。創業以来、自己資本で確実に成長し、250社以上のB2Bクライアントを抱える。コミュニティ育成のために、個人のエンジニア向けにフリーのSDKも提供しており、2021年1月時点では、一万人以上のエンジニアがコミュニティに参加しているそうだ。

#### (2) ルビウス(<https://rubius.com/>)

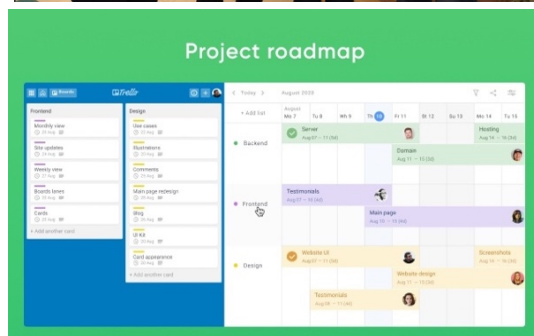
(創業者セルゲイ・ドロフェエフ氏)

ルビウス（英：Rubius）は2008年創業のIT開発会社。共同創業者の三人は、前述のトムスクの主要大学の卒業生達である。トムスクに開発拠点をおき、150人以上の従業員を抱える。モスクワ、サンクトペテルブルク、アスタナ（カザフスタン）、ニューヨークにもオフィスを持つ。世界中にクライアントを抱え、売上の50%以上が海外売上となっている。AIを

活用した開発に強みを持っており、特に①コンピュータービジョンと機械学習、②ビッグデータ解析、③AR/VR/MRでの知見が深い。

ルビウスではこれら受託開発の他に、自社でもプロダクト開発を行なっている。中でも、プロジェクトマネジメントツールのトレロ（英：Trello）のプラグインであるプランニウエイ（英：Planyway）は、50万人以上のユーザーを抱えている。今でこそ、プロジェクトマネジメントツールにタイムライン表示機能を実装するのは、当たり前になったが、数年前トレロにはこの機能がなかった。筆者もプロジェクトマネジメントにトレロを使っていた時期があり、メンバーのタスクをタイムライン形式で見るためにプランニウエイを使っていた。

また、ルビウスは、トムスクの学生・エンジニアコミュニティへの貢献度も高い。彼らは州政府や TUSUR と共同で「トムスクハブ」という独自のアクセラレーションプログラムを開催している。2.5ヶ月の起業家育成プログラムを経て、プログラムの最終日にはデモデイと呼ばれる発表会を行う。優秀チームには10万ルーブルの賞金が与えられ、投資家から資金調達のチャンスがある。



（画像提供：プランニウエイ）

#### 4. 自由と再現性

今回の渡航で忘れられないフレーズがある。それは、TUSURに訪問した際のことだ。

TUSURでは、2006年からプロジェクト型授業を取り入れている。学生が5～7人のグループを組み、企業や研究機関が提供する課題をプロジェクト形式で解決していくというものだ。また、必要に応じて、イノベーション協業基金など、外部からグラント資金なども調達する。この授業から毎年10件ほどが、TUSURが運営する学生向けのビジネスインキュベーターへ登録されている。これまでに1200件以上のプロジェクトが実施され、1100人以上の学生が参加しているそうだ。また、授業内で実際に取り組みされる課題の提出元は、約半数が企業によるもので、実生活の課題を解決するものとなっている。この授業の中で生まれたプロジェクトは、企業がその後スピンオフとして別会社を作る場合もあるし、学生たちがスタートアップとして起業するケースもある。実際に、直近4年間で30社以上の企業が設立されたそうだ。

弊社のオフィスがあるサクトペテルブルクのITMO大学にも似たような仕組みがある。大学内で生まれた研究開発をもとに法人を設立し、その法人に知財を移管する。その代わり

に大学は、当該法人に対し一定の持分をもつ。これらの法人は通常、大学付属のテクノパークの登録企業となり、大学の設備などを自由に使うことができる。

しかし、前述の TUSUR には、プロジェクト型授業で生まれた知財の移管などに関して、参加企業や学術機関との間に決まりはないのだそうだ。また、このプロジェクト型授業には、トムスク域内に限らず、学生であれば誰でも参加が可能で、また高校生でも参加できる。一見、この仕組みだと、プロジェクトがビジネス化したときにどのステークホルダーが最終的に権利を持つかについて、問題が起きそうである。筆者が、この問題について担当者に率直に質問したところ、「もし TUSUR がそのような制度を作って、この事業を運営していたら、今 TUSUR に関わってくれている 200 社以上の民間企業は集まっていなかっただろう。協業を生むためには、ある程度の自由が必要だと考えている」との回答を得た。筆者には、この一言がトムスクのイノベーションエコシステムを象徴しているように思われた。すなわち、トムスクのイノベーションエコシステムとは、共創における自由と再現性のバランスが、長年積み重ねられた人的交流という確固たる基盤の上に立脚しているのだ。これは、トムスクがシベリア鉄道の恩恵にあやからず、独自に発展する道をたどったこと、50 万人というコンパクトな町で、大学同士が物理的に隣接していること、ソ連時代の原子力開発により、強固な研究開発基盤に支えられていることなども影響しているに違いない。

前述のルビウス社に訪問すると、玄関に入ってすぐの応接スペースは、イベントスペースにあるような花段に小さな暖炉が備え付けられ、ビーズクッションが置かれている。スペースの反対側はカフェスペースになっており、スタッフの方々が仕事の合間にコーヒーを飲んでいた。それはまさに、若者が憧れるクールな IT 企業の雰囲気だ。創業者のセルゲイ氏は、「トムスクにいながら世界と仕事ができる、そんなクールな会社にしたいんだ」と語り、「僕は仕事で世界を回るけど、でもトムスクが好きなんだ。だからここを離れるつもりはないよ。」という。

トムスクにあるのは、ベンチャーキャピタリスト達が大きな役割を果たす米国シリコンバレーのエコシステムではない。ここにあるのは、地元を愛するシベリア人たちが自由と再現性という絶妙なバランスの中で、独自に作り上げた産学官の共創の仕組みであり、モノづくりの魂あふれる穏やかなイノベーションのエコシステムだと感じた。

## II. コロナ危機とロシア医療の動向

衣川 靖子

当初は新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられていたロシアだが、2020年3月末から感染者が急増し、7月末現在、累計感染者数は80万人を超え、米国、ブラジル、インドに次いで世界第4位となっている。

普段、日本でロシアの医療に関する報道を目にする機会は少ないが、新型コロナウイルスを巡っては、ミシュスチン首相をはじめとする政府閣僚の感染、モスクワなど大都市を中心に感染が爆発的に広がったこと、しかしその割に低い致死率、医療現場の疲弊と当局の圧力など、国内マスコミでも様々な報道がみられた。

新型コロナウイルスは未知の病原体であり、ロシアだけでなく世界中で刻々と状況が変化し予断を許さない現段階で無責任に論じることはできないが、本稿では、ロシアの医療事情、制度および政策について、前提条件であるコロナ以前の最新の状況を概観した上で、現状と今後の見通しを考察したい<sup>1)</sup>。

### 1. 人口と国民の健康状態

**人口動態** ソ連崩壊時のロシアの人口は1億4,850万人であったが、1995年以降減少が続く、2009年には1億4,270万人まで落ち込んだ。2020年初時点では1億4,670万人となっているが、近年の増加の大部分はクリミア併合に伴う社会増加によるものである（図表1）。

このような人口減少の主な要因は、1992年以降、死亡数が出生数を上回る自然減少が続いていることだ。2000年代半ば以降は出生率、死亡率ともに改善し、2013年～2015年の3年間はおおむね自然増加が達成されたものの、2016年以降は出生数の減少により再び自然減少の一途を辿っている（図表2）。

深刻なのは少子化だけではない。ロシア国民、とくに男性の平均寿命は低水準である。ソ連崩壊後の急降下、上昇、再びの低下を経て、2005年には回復傾向に入ったが、最新のデータ（2018年）でも男性が67.75歳、女性が77.82歳で先進諸国に比べると依然として低く、男女差も10歳以上開いている（図表3）。

性別・年齢別の死亡率も、ソ連崩壊後はほぼ全世代で上昇し、とりわけ20～54歳の男性の死亡率が急上昇した。2000年代後半からはようやく回復したものの、2018年時点でも全年齢の平均値および35～44歳の死亡率が男女ともに1990年の水準を上回っている（図表4）。

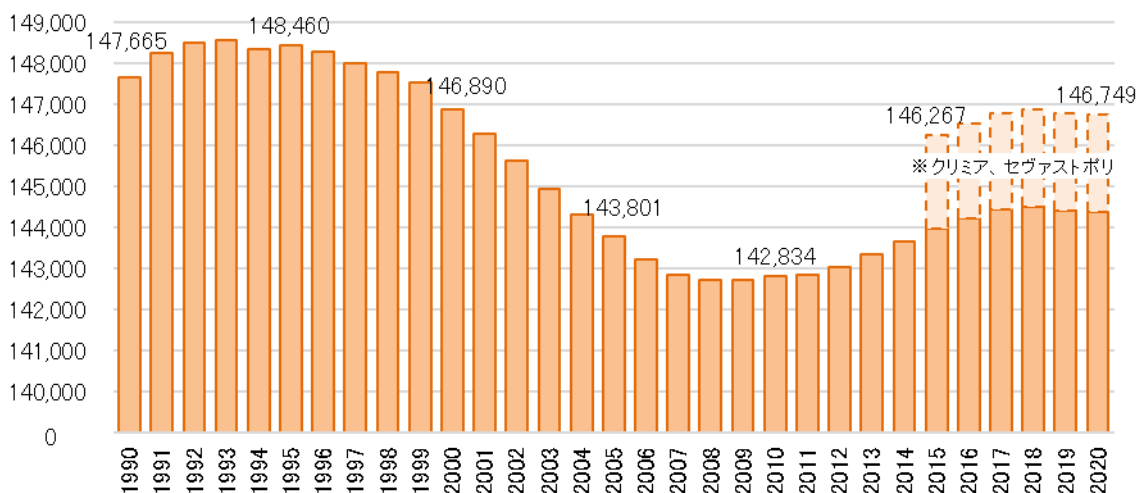
一方、乳児死亡率はソ連時代からほぼ一貫して低下し続けており、体制転換による大きな影響はみられない（図表5）<sup>2)</sup>。つまり、ソ連崩壊の混乱に伴い保健医療の水準が著しく低下したわけではないことがわかる。

主要死因の構造をみると、長年にわたり全死因の50%以上を占めてきた循環器系疾患の割合は近年徐々に減少しており、2019年には全死因の46.8%になったが、死亡者数は84万人と

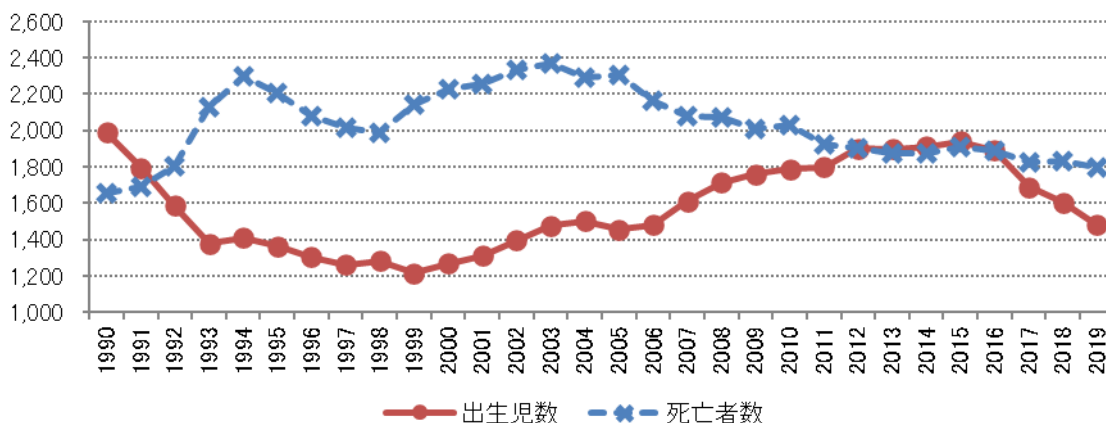
依然として多い。第2位の新生物は13～17%の範囲で推移している。第3位の外因は10～15%で推移してきたが、2019年には7.6%まで下がった。次いで消化器系疾患（5.5%）、呼吸器系疾患（3.3%）、感染症および寄生虫症（1.8%）となっている。また、その他の死因の割合が大幅に増えている（図表6）。

より詳細な死因構造は、図表7の通りである。アルコールに起因する死亡の多さは積年の課題であるが、近年はアルコール消費量の減少に伴い改善傾向にある。とはいえ、最新の2018年のデータでもアルコールに直接起因する死亡者は約4万8,800人に上り、全死因の2.7%（男性は4%）を占めている。ウォッカなど度数の高いアルコール飲料の消費量は減少しているものの、ロシア国民にとってアルコールが相変わらず死亡の重要なリスク要因であることは明らかである。

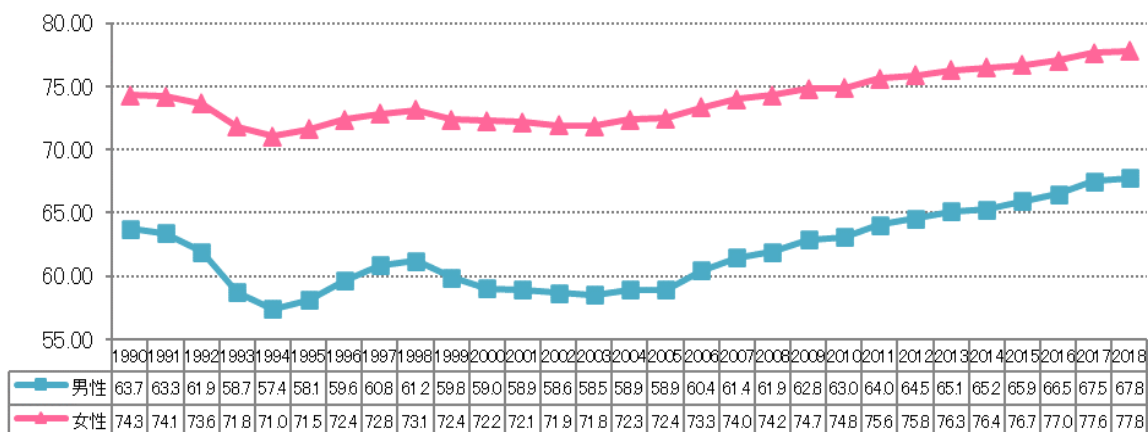
図表1 ロシアの人口(各年初、1,000人)



図表2 ロシアの出生数と死亡数(1,000人)



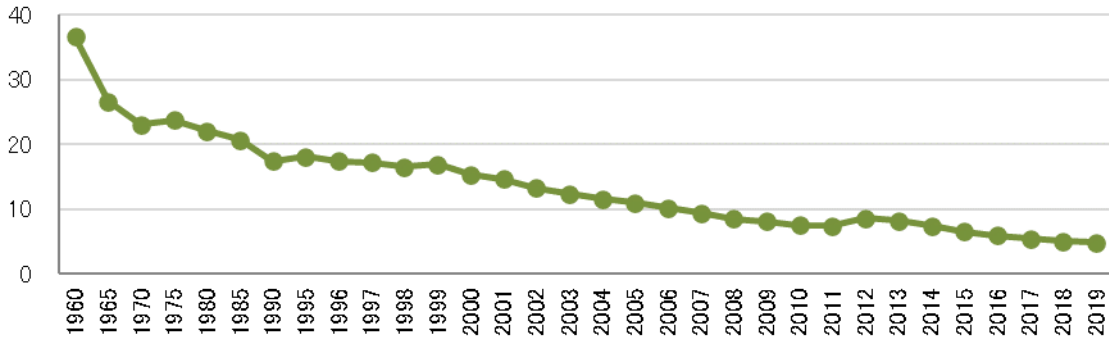
図表3 ロシアの出生時平均余命(年)



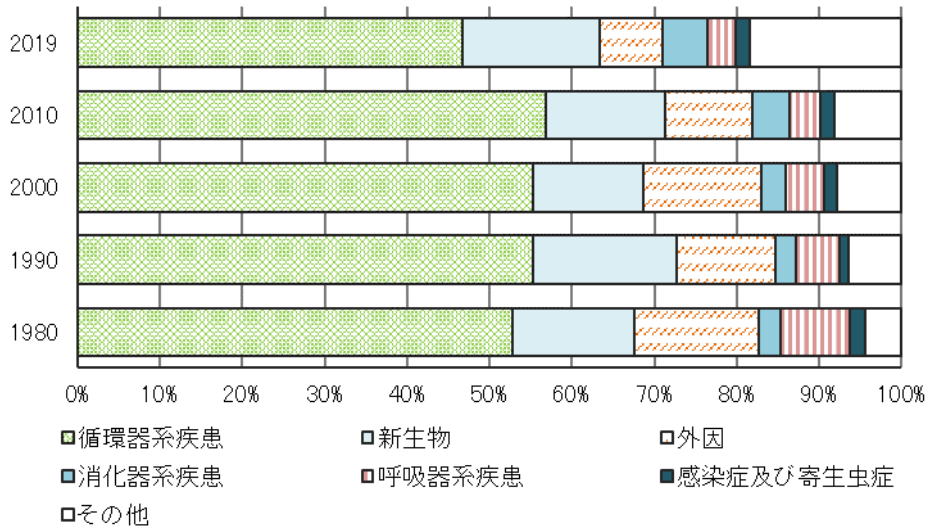
図表4 ロシアの性・年齢別死亡率(人口1,000対)

	1990年		1995年		2000年		2005年		2010年		2015年		2018年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
全年齢	11.6	10.8	16.9	13.3	17.3	13.5	18.7	13.7	15.9	12.7	14.2	12.0	13.4	11.6
0-4歳	4.4	3.3	4.6	3.5	4.4	3.3	3.3	2.5	2.3	1.9	1.8	1.5	1.3	1.0
5-9歳	0.7	0.4	0.7	0.4	0.6	0.4	0.5	0.3	0.4	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2
10-14歳	0.6	0.3	0.7	0.4	0.6	0.3	0.5	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2
15-19歳	1.6	0.6	2.4	0.9	2.1	0.8	1.6	0.7	1.2	0.5	1.0	0.4	0.8	0.4
20-24歳	2.6	0.7	4.4	1.0	4.9	1.1	3.9	1.0	2.5	0.8	1.9	0.6	1.4	0.5
25-29歳	3.3	0.8	5.6	1.3	6.0	1.3	6.5	1.6	4.5	1.3	3.1	1.0	2.2	0.8
30-34歳	4.3	1.1	7.4	1.8	7.0	1.7	8.2	2.2	6.8	1.9	5.1	1.7	3.7	1.3
35-39歳	5.6	1.5	10.1	2.5	9.1	2.3	10.3	2.9	7.9	2.4	7.3	2.4	5.9	2.1
40-44歳	7.7	2.4	14.3	3.9	12.7	3.4	14.4	4.0	9.8	3.2	8.6	2.9	7.9	2.8
45-49歳	11.7	3.8	19.5	5.8	17.9	5.1	19.4	5.6	13.4	4.2	10.8	3.7	9.6	3.5
50-54歳	16.1	5.4	27.5	8.5	24.4	7.6	26.7	8.1	18.6	5.9	15.0	5.0	13.4	4.6
55-59歳	23.5	8.6	34.3	11.5	33.4	11.4	33.9	11.7	26.3	9.1	21.4	7.4	19.2	6.8
60-64歳	34.2	13.5	46.4	17.2	44.5	15.8	46.3	16.4	37.1	13.1	31.6	11.0	29.3	10.0
65-69歳	46.6	22.0	60.6	26.0	59.5	25.6	58.1	23.6	49.9	20.1	41.5	16.6	40.4	15.9
70歳以上	103.7	77.9	112.7	85.6	104.0	79.9	105.8	78.1	95.2	69.8	91.9	70.8	85.4	67.7

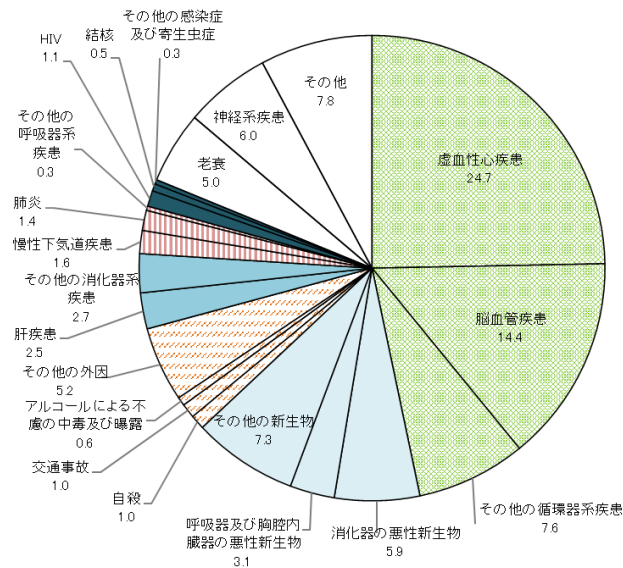
図表5 ロシアの乳児死亡率(出生1,000対)



図表6 ロシアの主要死因別死亡数の割合(%)



図表7 2018年のロシアの死因別死亡数の割合(%)



図表8 ロシアの傷病分類別総患者数・有病率

傷病名	総患者数 (1,000人)				有病率 (人口1,000対)			
	1990年	2000年	2010年	2018年	1990年	2000年	2010年	2018年
感染症および寄生虫症	7,610	8,985	6,898	6,404	51.4	61.7	48.3	43.6
新生物	3,246	4,456	5,847	7,355	21.9	30.6	40.9	50.1
血液および造血器の疾患ならびに 免疫機構の障害	469	1,279	1,742	1,837	3.2	8.8	12.2	12.5
内分泌、栄養および代謝疾患	2,930	5,550	8,494	12,168	19.8	38.1	59.5	82.9
神経系の疾患	15,246	6,524	8,163	8,569	103.0	44.8	57.1	58.4
眼および付属器の疾患		13,549	15,803	15,235		93.1	110.6	103.7
耳および乳様突起の疾患		4,695	5,883	5,562		32.2	41.2	37.9
循環器系の疾患	14,626	20,089	32,436	36,549	98.8	138.0	227.1	248.9
呼吸器系の疾患	56,416	53,514	54,187	60,140	381.3	367.7	379.3	409.6
消化器系の疾患	12,874	15,385	16,070	16,918	87.0	105.7	112.5	115.2
皮膚および皮下組織の疾患	6,687	8,024	8,794	8,331	45.2	55.1	61.6	56.7
筋骨格系および結合組織の疾患	8,616	12,736	18,306	19,612	58.2	87.5	128.2	133.6
尿路性器系の疾患	6,352	11,484	15,776	17,310	42.9	78.9	110.4	117.9
周産期に発生した病態	1,539	2,495	3,759	3,250	42.7	63.3	100.5	93.4
先天奇形、変形および染色体異常	424	758	991	1,171	2.9	5.2	6.9	8.0
損傷、中毒およびその他の外因の 影響	12,822	12,736	13,293	13,075	86.7	87.5	93.1	89.0

図表9 ロシアの傷病分類別罹患者数・罹患率

傷病名	罹患者数 (1,000人)				罹患率 (人口1,000対)			
	1990 年	2000 年	2010 年	2018 年	1990 年	2000 年	2010 年	2018 年
感染症および寄生虫症	5,165	6,448	4,690	3,971	34.9	44.3	32.8	27.0
新生物	820	1,226	1,540	1,705	5.5	8.4	10.8	11.6
血液および造血系の疾患ならびに 免疫機構の障害	195	551	705	628	1.3	3.8	4.9	4.3
内分泌、栄養および代謝疾患	539	1,234	1,462	1,927	3.6	8.5	10.2	13.1
神経系の疾患	6,778	2,227	2,345	2,168	45.8	15.3	16.4	14.8
眼および付属器の疾患		4,638	4,715	4,612		31.9	33.0	31.4
耳および乳様突起の疾患		3,191	3,867	3,748		21.9	27.1	25.5
循環器系の疾患	1,662	2,483	3,734	4,784	11.2	17.1	26.1	32.6
呼吸器系の疾患	49,734	46,170	46,281	52,833	336.1	317.2	324.0	369.8
消化器系の疾患	4,026	4,698	4,778	4,856	27.2	32.3	33.4	33.1
皮膚および皮下組織の疾患	5,178	6,407	6,886	5,915	35.0	44.0	48.2	40.3
筋骨格系および結合組織の疾患	3,669	4,452	4,789	4,382	24.8	30.6	33.5	29.8
尿路性器系の疾患	2,897	5,470	6,842	6,582	19.6	37.6	47.9	44.8
周産期に発生した病態	1,315	2,085	2,889	2,204	36.5	52.9	77.2	63.3
先天奇形、変形および染色体異常	105	214	295	290	0.7	1.5	2.1	2.0
損傷、中毒およびその他の外因の 影響	12,609	12,544	13,096	13,072	85.2	86.2	91.7	89.0

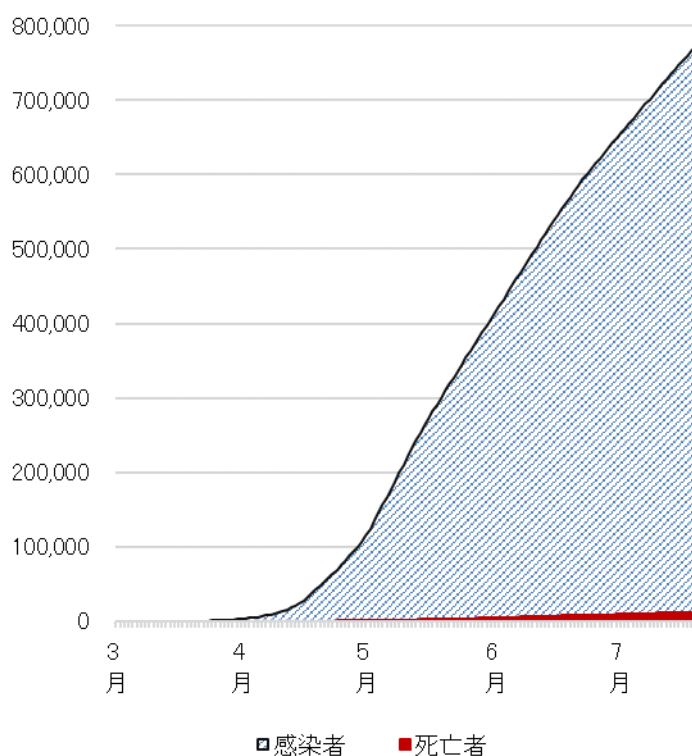
**国民の健康状態** 傷病分類ごとの有病率と罹患率は図表8、9の通りである。1990年から2018年までの28年間で、ロシア国民の有病率（人口1,000人あたりの全傷病の総患者数（延べ））は53%、罹患率（人口1,000人あたりの全傷病の新規登録患者数（延べ））は20%も上昇した。

傷病分類別にみると、近年とくに有病率、罹患率ともに上昇傾向にあるのは、循環器系疾患、呼吸器系疾患、新生物、内分泌、栄養および代謝疾患である。高血圧、肥満、糖尿病といった生活習慣病の罹患率が高まっていることから、受診・受療率が向上しているものと考えられ、罹患率の上昇が必ずしも国民の健康状態の悪化を示すわけではない。ただし、多くの傷病において患者数や罹患者数が相対的に多いことは問題である。

**パンデミックと低い致死率** 新型コロナウイルスが2020年の世界各国の人口・保健指標に何らかの影響を及ぼすことは間違いなく、もちろんロシアも例外ではない。

広く報じられている通り、ロシアでは3月末頃から感染が急拡大し、感染者数は4月末に累計10万人、5月末には40万人に達した。5月前半は1日の新規感染者が1万人を上回る状態が続いたが、同月半ば以降徐々に減り、7月末現在は5,500人前後で推移している。公式発表によると、7月20日時点の累計の感染者数は77万7,486人、死亡者数は1万2,427人とされている（図表10）。同日時点で首都モスクワ市と周囲のモスクワ州の感染者が全国の累計感染者数の38%を占めており、総人口に占める人口の割合でも、感染者数の割合でも、日本の東京都と似たような状況となっている。

**図表10 ロシアの新型コロナウイルス感染者・死亡者数の推移(累計、人)**



冒頭でも言及した通り、ロシアでは感染者数の多さに比して死亡者が少ないことが疑問視されている。5月、『ニューヨーク・タイムズ』、『フィナンシャル・タイムズ』、ロイター通信などの欧米メディアは、ロシア当局が死亡者数のデータを故意に低く抑え隠ぺいを図っているとこぞって批判した<sup>3)</sup>。

6月には世界保健機関（WHO）緊急事態対応責任者のマイク・ライアン氏が、ロシアの新型コロナウイルスによる死亡者の統計データは「異常」であり「理解し難い」と発言した<sup>4)</sup>。

実際、感染者が多い他の国々に比べ、ロシアの致死率（感染者における死亡者の割合）は

1.6%と低い（図表11）。その背景には、複数の要因があると思われる。

第一の要因は、ロシアが積極的に検査を実施していることだ。7月20日時点の実施件数は約2,540万件で、対照的に検査を絞ってきた日本（同日時点で約90万件）の28倍に上る。したがって、ロシアでは致死率の母数である感染者数に無症状や軽症の人が多数含まれ、「隠れた感染者」が多い国に比べて致死率が低くなるのは当然である。

第二に、上述の通り、コロナ以前の前提条件として、ロシア国民は死亡率が高く、平均寿命が短いため、新型コロナウイルスで重症化および死亡しやすい高齢者の人口が比較的少ない。この点でも対照的な日本の総人口に占める高齢者（65歳以上）の割合は28.4%だが<sup>5)</sup>、ロシアでは15.5%である。そして、4月半ば時点のデータだが、感染者に占める高齢者の割合も同程度とされている<sup>6)</sup>。

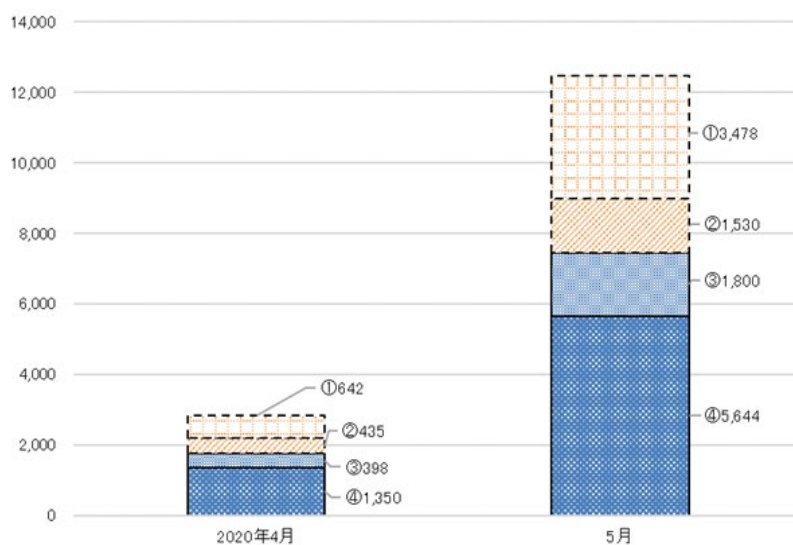
第三に、ロシアでは、新型コロナウイルスによる死亡の定義が多く国と異なる。ロシア保健省は、「新型コロナウイルスの予防、診断、治療に関する臨時勧告」において、感染者が死亡した場合には必ず解剖医が病理解剖を行い、直接の死因を特定するよう定めている。同勧告によると、「COVID-19が主な疾病（死因）である場合には、COVID-19による死亡とみなし、COVID-19に感染しているが、直接の死因となり得るようなCOVID-19の臨床的および形態学的症状がみられない場合には、他の疾病による死亡とみなす」こととされている。まさしくこの定義こそが、ロシアの致死率を低く抑えている最大の要因である。この手法が正しいか否か筆者には判断できないが、データは公開されており（図表12）、「隠ぺい」というよりは、国が「直接の死因を精査すべき」という方針を明示し、全国の医療機関がこれに従っているのが実情ではないだろうか。ただし、医師を対象とする調査で、公式統計の感染者および死亡者数は少なく抑えられており、信用できないという回答が50%近くを占めたという結果も発表されており、死亡した患者の主治医と解剖医の見解は異なるのかもしれない。他の多くの国で、感染者が死亡した場合は原則として全て集計しており、そうした国と比較してロシアは致死率や死亡率が低く、したがってうまく対処できていると結論付ける傾向は、あまりに楽観的であろう。

**図表11 主な国の新型コロナウイルス  
感染・死亡状況 (2020年7月20日時点)**

国名	感染者数 (人)	致死率 (%)	死亡率 (人口 1,000対)
米国	3,773,206	3.72	0.44
ブラジル	2,098,389	3.79	0.38
インド	1,077,781	2.49	0.02
ロシア	770,311	1.60	0.08
南アフリカ	364,328	1.38	0.09
英国	296,358	15.31	0.67
イラン	273,788	5.18	0.17
スペイン	260,255	10.92	0.61
イタリア	244,434	14.34	0.58
ドイツ	202,735	4.48	0.11
中国	83,682	5.54	0.003
日本	25,096	3.92	0.008

(出所) 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の現在の状況  
と厚生労働省の対応について (令和2年7月20日版)」

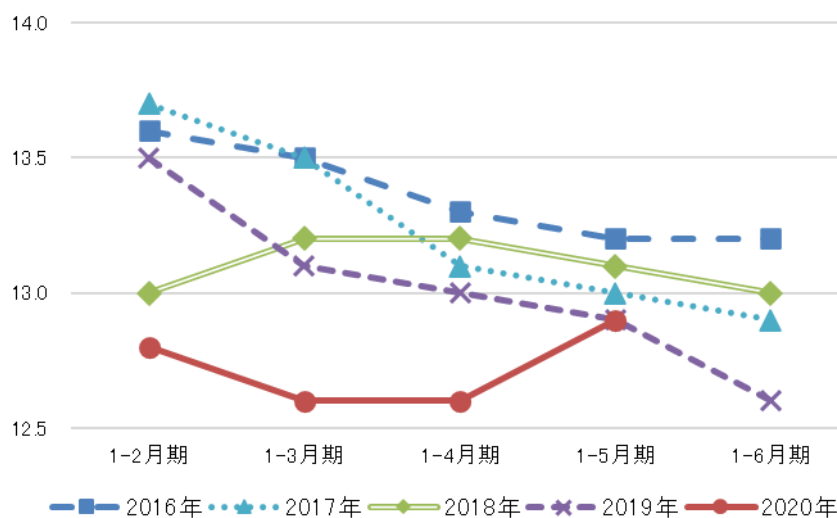
**図表12 ロシアの新型コロナウイルス感染者で死亡した人の数(人)**



- ①他の疾病による死亡者(COVID-19は主な死因ではなく、疾病の致命的悪化に多大な影響を及ぼさなかった)
- ②他の疾病による死亡者(COVID-19は主な死因ではないが、疾病の致命的悪化に多大な影響を及ぼした)
- ③COVID-19による死亡者(ウイルスは検出されていないが、主な死因である可能性が高い)
- ④COVID-19による死亡者(ウイルスが検出され、主な死因である)

(注) 感染者には、感染が疑われる者も含まれる。

図表13 ロシアの全死因による期間死亡率(年換算、人口1,000対)



図表12にみられる通り、今年4月に死亡した感染者2,825人(①+②+③+④)のうち、新型コロナウイルスによる死亡者と認定されたのは1,748人(③+④)で、5月も同様に、1万2,452人(①+②+③+④)のうち7,444人(③+④)である。仮に4～5月に死亡した感染者1万5,277人を全て新型コロナウイルスによる死亡者とみなすこととした場合、その数は公式発表の1.66倍に上り、致死率は世界平均に近い約3.76%ということになる。いずれにしても、「間接的」であれ、新型コロナウイルスにより死期が早まった人が一定数いることは明らかだ。

今年1～5月期の死亡率(全死因)は昨年と同じであるため、自然動態に影響なしとの強気の見方もある。しかし、前述および図表13の通り、近年、死亡率は概して年々低下傾向にある。また、例年は冬から夏に向けて低下する死亡率が今年1～5月期には上昇したことがわかる。6月以降のデータはまだ発表されていないが、新型コロナウイルスがロシアの人口動態に影響を及ぼしはじめていることは事実である。

なお、感染率や致死率、死亡率に関わるその他の要因として、遺伝的要因やBCGワクチン接種有効説なども聞かれるが、これらについては今後の研究により解明されるであろう。

## 2. 医療提供体制

**医療施設** ソ連時代、二次医療施設（病院と病床）の数は世界最高水準にあったが、ソ連崩壊後は財政難と合理化のために大幅削減された。現在も漸減しているが、人口1,000人あたりの病床数は2018年時点で7.99床と比較的多く、OECD諸国平均の4.7床を大きく上回る。民間施設も増えているが、2018年時点でも90%以上が公立施設である（図表14）。

一次医療施設（外来診療所）については、公立施設が削減される一方で、民間施設が増え続けている。民間部門では歯科、内科、婦人科、美容外科など小規模の単科診療所が大部分を占め、保健統計には反映されない施設も多い。

公立医療施設は大幅に減少しているが、ソ連時代からの基盤と民間部門の成長により、数の上では人口に比して充実しているといえる。しかし、質的な改善を伴わない量の削減による合理化が進められてきた結果、歪みも生じた。連邦構成主体間の格差はそれほど大きくないが、都市部と農村部の格差が広がっている。また、多くの医療施設が建物や設備、医療機器の老朽化や故障、財源不足、医薬品不足などの問題を抱えている。ここ数年、合理化の名の下に進められてきた統廃合や予算削減に対する医療従事者や患者の抗議デモが各地で続いている。

図表14 ロシアの医療施設数

	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2018年
病院	12,762	12,064	10,704	9,479	6,308	5,433	5,257
公立病院	...	12,035	10,617	9,186	6,084	5,188	4,938
その他の病院	...	29	87	293	224	245	319
病院病床(1,000床)	2,037	1,850.5	1,671.6	1,575.4	1,339.5	1,222.0	1,172.8
人口1,000人あたり病院病床	13.7	12.6	11.5	11.1	9.38	8.34	7.99
救急病院	58	55	49	45	49	48	49
救急ステーション	3,042	3,172	3,172	3,276	2,940	2,561	2,276
外来診療所	21,527	21,071	21,254	21,783	15,732	18,564	20,228
公立診療所	...	20,368	19,044	17,172	12,173	13,985	14,424
その他の診療所	...	703	2,210	4,611	3,559	4,579	5,804
准医師・助産施設	47,700	45,800	44,600	43,100	37,700	34,300	33,600
予防診療所	1,814	1,601	1,532	1,433	1,048	702	640

**医療従事者** 医師の数はソ連時代から多く、人口に対する医師数は世界最高水準を誇っていた。2018年時点でも人口1,000人あたりの医師数は4.8人と比較的多く、OECD諸国平均の

3.5人を上回っている（図表15）。

看護師の数は2018年時点で人口1,000人あたり7.25人とOECD諸国平均の8.8人を下回っており（図表15）、医師に比べて看護師、准医師、助産師、臨床検査技師などの数が少ないことが指摘される。とくに、遠隔地医療の担い手である准医師の数は減少傾向にある。

一般に、医師および医療従事者の賃金や社会的地位は他の職業と比べて高くない。近年、政府は医師の賃金の引き上げを課題として掲げてきた。公立施設で働く医師の2019年の平均賃金は月額80,756ルーブル（約12万円）となり、数年前に比べて改善されたが、地域格差は極めて大きい。また、各施設の長（院長）が絶大な権限を持ち、職員の賃金や待遇に関しては政府もコントロールできていないのが現状である。施設の統廃合や院長との意見対立により、医師やスタッフが突然解雇されるケースも多い。

**図表15 ロシアの医師・看護師数**

	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2018年
医師	667,300	653,700	680,200	690,300	715,800	673,000	703,700
人口1,000人当たり医師	4.50	4.44	4.68	4.88	5.01	4.59	4.79
看護師	1,046,030	1,003,300	1,013,600	1,045,800	1,038,500	1,069,100	1,064,300
人口1,000人当たり看護師	7.08	6.84	6.98	7.39	7.27	7.30	7.25

**コロナ危機下の医療提供体制** 2020年3月以降、ロシア政府は新型コロナウイルス感染対策として以下のような措置を講じている<sup>7)</sup>。

- 感染者を受け入れるための病床を最大約18万床確保
- 医師8万人以上、准医師および看護師18万人以上が感染者に対応
- 医療従事者43万人以上が感染者に対応
- 医療従事者140万人以上に研修を実施
- 医療機器、病床などの整備のため、各地域に総額約800億ルーブルを拠出
- 迅速検査、抗体検査を開発
- 690以上の機関で検査を実施
- 7機関がワクチン開発に従事
- 感染者に対応する医療従事者に月額2万5,000～8万ルーブルの特別手当を支給
- 感染者が必要とする人工呼吸器などの医療機器や医薬品の製造、調達、供給、備蓄を拡充
- 消毒剤の生産量を3月の6倍に拡大
- 医療従事者が職場で感染した場合、6万8,000ルーブル以上の保険金を給付
- 医師に対する精神的サポート提供システムを開発

- 防護服、シューズカバー、マスク、手袋など約40種類の医療用品につき、国家登録手続きを簡略化
- 各地域向けに救急車1,200台以上を新たに調達
- 医療ボランティアの活動に2億4,200万ルーブル以上の補助金を支給
- 新型コロナウイルスの影響により強制医療保険の診療報酬が減少した医療機関に対する補償金を支給

感染拡大のピークを越えた6月後半以降、プーチン大統領は、新型コロナウイルスによる死亡率および致死率の低さを根拠として政府の緊急対策を高く評価する発言を繰り返している。実際、検査態勢は日本よりはるかに充実しているし、国防省が1～2カ月の突貫工事で全国各地に感染者を受け入れるための新たな病院を建設するなど、予想以上の動員ぶりが発揮されたことは事実である。

しかし、世界各国と同様、ロシアでも防護服、マスク、CTや人工呼吸器などの医療機器、検査能力の不足が伝えられた。また、医療現場の窮状を公表した医療従事者が捜査当局の取調べを受け、罰金を科されるという報道もあった。

4月にはプーチン大統領が自ら新型コロナウイルスと闘う医療従事者に特別手当を支給することを約束し、感染者の治療にあたる医師には8万ルーブル、看護師、救急医などには5万ルーブル、准医師、救急車運転手などには2万5,000ルーブルを支払うことが発表された。しかし、同月の給与とともに手当を受け取った医療従事者は少なく、インターネットなどで不満を訴える声が相次ぎ、5月には政府がこの問題を認めた。その後状況は改善され、当初4～6月の3カ月の予定であった支給期間も8月まで延長されている。

5月には、モスクワとサンクトペテルブルグの病院で人工呼吸器からの出火により火災が発生し、入院していた感染者が亡くなった。筆者はこのニュースを聞き、ロシアの医療施設には老朽化または故障したまま放置された医療機器が大量に存在するため、このような事故が起きるのも全く不思議でないと思合点したのだが、実は、2件の火事の火元は、政府が今年4月に緊急対策の一環としてウラル機器製造工場（ロステク傘下）から大量購入したロシア製人工呼吸器「Aventa-M」であった<sup>8)</sup>。

院内感染も多発しており、多くの医療従事者が亡くなっている。7月13日、国際人権NGO アムネスティ・インターナショナルは、新型コロナウイルスにより死亡した医療従事者は世界79カ国で3,000人を超え、そのうち最も多いのはロシアの545人であるとの調査結果を発表した。この数字は、新型コロナウイルスによりロシアで亡くなった医療従事者をインターネットで有志が集計している「記憶のリスト」<sup>9)</sup>に基づくものと思われる。7月23日現在、このリストに記載された医療従事者は606人に達しているが、現役でない高齢の元医療従事者なども若干含まれるようだ。また、公式には新型コロナウイルスが「直接」の死因とされていない死亡者も含まれるであろう。一方、政府は医療従事者の感染・死亡数を公表していない。

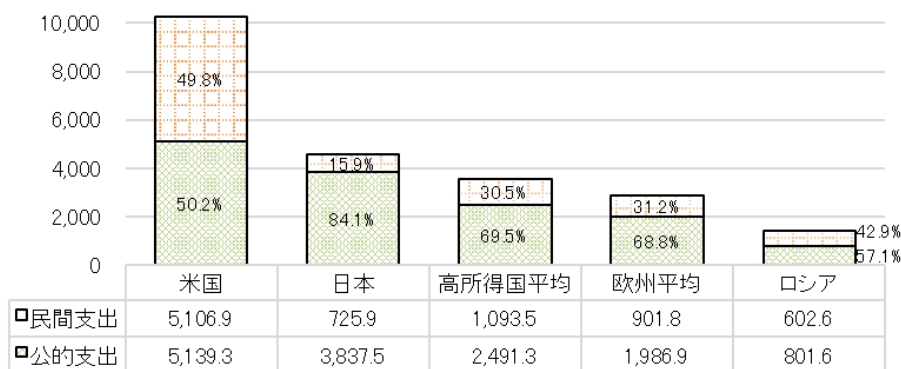
### 3. 医療制度

**保健医療支出** WHOによると、2000～2017年のロシアの総保健医療支出はGDPの5%前後で推移している。この間の経済成長率を考慮すると、名目値では大幅に増えたことになる。しかしながら、2017年も対GDP比5.3%でOECD諸国平均の8.8%と比較すると低い。国民一人あたりの保健医療支出（PPPベース）も1,404国際ルで、高所得国平均（3,585国際ドル）や欧州平均（2,889国際ドル）を大きく下回る（図表16）。総保健医療支出の内訳は、公的支出が55～65%、民間支出が35～45%程度とされている。

公的支出は、予算外基金（強制医療保険基金）、連邦予算、地方予算から成り、2018年には3兆3,316億ルーブルに達した（図表17）が、対GDP比では2000年以降3%前後で推移しており、高所得国平均（対GDP比5.4%）や欧州平均（4.9%）に比べて低い。

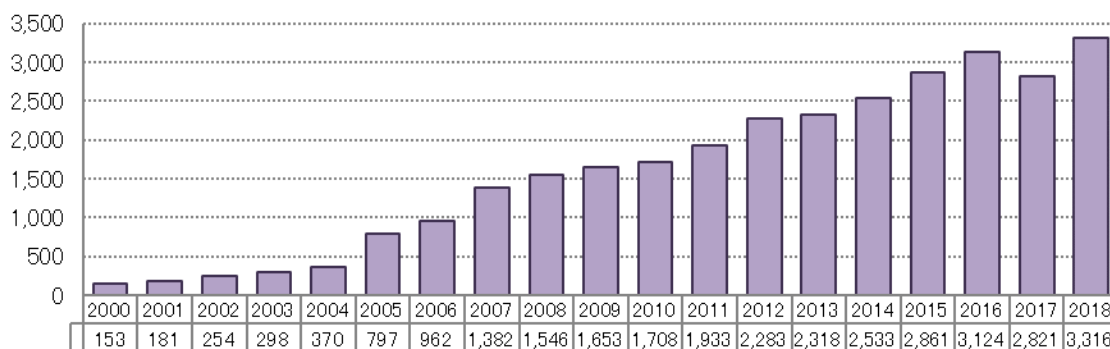
民間支出は、強制医療保険による無償診療ではカバーされない有償の診療費、薬剤費、任意医療保険によって支払われる診療費から成る。

**図表16 2017年のロシアの国民一人あたり保健医療支出(PPPベース、Intドル)**



(出所)WHO Global Health Observatory data

**図表17 ロシアの公的保健医療支出(10億ルーブル)**



2019年以降、ナショナルプロジェクトの実施などにより公的保健医療支出は若干増加して対GDP比3.5%程度になる計画であったが、2020年はGDPの落ち込みと新型コロナウイルス緊急対策により上昇する可能性がある。

**強制医療保険** ソ連時代から医療は無償、医薬品は有償で、現在も基本的にこのシステムが継承されている。医療費の財源として1993年に導入されたのが強制医療保険制度で、原則として全国民が加入を義務付けられており、就労者については雇用者、非就労者については各連邦構成主体の行政府が保険料を全額負担する。運営主体は連邦強制医療保険基金で、その支部である各連邦構成主体強制医療保険基金が民間保険会社と契約を結び、それらの保険会社が医療機関に診療費を支払う。2011年には民間医療施設にも強制医療保険の適用が開始され、2019年時点で全国3,000以上の民間施設が適用を受けている。

新型コロナウイルスについては、検査、医師の往診、救急搬送、入院を含む治療費が全て強制医療保険により無償でカバーされることになっている。ムラシコ保健大臣は、ロシアでは医療崩壊が起きず他国に比べて致死率も低い理由の一つは強制医療保険制度であると発言しており、コロナ危機の影響により現行制度に大規模な変更が生じることはないものと思われる。

**任意医療保険** 任意医療保険とは、民間の保険会社が提供するサービスで、強制医療保険に加えて自由意志で加入するものである。BusinessStatによると、2019年の任意医療保険の市場規模は1,810億ルーブルに達している<sup>10)</sup>。現在は約90%が法人契約だが、今後はコロナ禍による企業の業績悪化で法人加入が減少する可能性がある一方で、オンライン診療などを含む低額の個人向けパッケージの加入が増加する可能性がある。

**薬剤給付制度** 前述の通り、原則として医療は無償、医薬品は有償である。医療施設における投薬は無償で提供されることになっているが、患者が薬局で購入する場合には、医師の処方箋の有無にかかわらず100%自己負担である。ただし、国や地方の予算により、特定層の国民や特定の疾病の患者を対象として医薬品の無償給付や一部自己負担による給付が実施されている。2005年以降、全国で以下の2つの給付プログラムが実施されている。

#### ① 必須医薬品給付 (ONLS)

- 対象者は社会特典受給者（退役軍人やその遺族、障がい者など）
- 実施主体は各連邦構成主体
- 対象者は年1回、医薬品か現金給付のいずれかを選択
- 医薬品給付を選択した場合、医師の処方箋があれば、給付対象医薬品を無償で受給できる
- 幼児、妊婦、がん患者などを対象者に追加している地方もある

② 高額疾病薬剤給付（VZN）

- 対象者は7種類の特定疾病（造血リンパ組織悪性腫瘍、ゴーシェ病、成長ホルモン分泌不全低身長症、血友病、多発性硬化症、膿胞性線維症、臓器・組織移植後）の患者であったが、2019年から溶血性尿毒症症候群、全身型若年性関節炎、ムコ多糖症I型、ムコ多糖症II型、ムコ多糖症VI型、2020年から再生不良性貧血、遺伝性欠乏症（第II因子、第VII因子、第X因子）が追加され、合計14種類の希少疾病の患者が対象となった
- 実施主体は連邦政府

なお、薬剤給付の対象者でない場合、処方箋があっても自己負担なので高額医薬品は購入できないといったケースや、入院中の投薬は無償という建前だが、実際には医療施設の資金不足のため患者に購入させているケースなども多い。そのため、医薬品の保険償還を導入する方向性で長年議論が行われてきたが、実現には至っていない。

**図表18 近年のロシアの医療政策・法整備の主な動き**

2005年	国家優先プロジェクト「保健」発足(実施期間:2006~2014年頃)
2007年	連邦課題プログラム「社会的に重要な疾患の予防と対策」発足(2007~2011年)
	「2025年までのロシア連邦人口政策構想」承認
2008年	「2020年までのロシア連邦長期社会経済発展構想」承認
2009年	「2020年までのロシア連邦国民のアルコール過剰摂取の低減およびアルコール依存症予防にかかる国家政策構想」承認
2010年	連邦法「ロシア連邦における医薬品の運用について」採択
	「2010~2015年の喫煙防止国家政策推進構想」承認
	連邦法「ロシア連邦における強制医療保険について」採択
	「国民の健康的食生活に関する2020年までのロシア連邦国家政策の原則」承認
2011年	地域医療近代化プログラム発足(2011~2013年)
	連邦法「ロシア連邦における国民の健康保護の原則について」採択
	「保健医療分野統一国家情報システム創設構想」承認
2012年	施策計画(ロードマップ)「保健の効率向上のための社会分野の変革」承認
	「2025年までのロシア連邦における医学発展戦略」承認
2013年	「2025年までのロシア連邦における国民に対する医薬品供給戦略」承認
	連邦法「受動喫煙および喫煙の影響からの国民の健康の保護について」採択
	国家プログラム「保健の発展」発足(2013~2020年→2017年)
2018年	国家プログラム「保健の発展」発足(2018~2025→2024年→2030年)
2019年	「2025年までのロシア連邦保健発展戦略」承認
	ナショナルプロジェクト「保健」、「人口」発足(2019~2024年→2030年)

## 4. 医療政策

**政策の動向** ロシア政府は、油価上昇を追い風に経済が好調に推移した2000年代半ば頃から出生率の向上と死亡率の低下を喫緊の課題として認識し、その一環として、法整備、医療制度改革、薬剤給付、医療機器・設備の更新、健康的なライフスタイルの啓発などに取り組んできた。換言すると、この頃からオイルマネーで税収が増え、ようやく積年の問題に着手する余裕ができたともいえる。転換期となった2005年以降の政策・法整備関連の主な動きは、図表18の通りである。

とくに、2006年から実施された国家優先プロジェクト「保健」は、ソ連崩壊後のロシアで初めて医療分野に大規模な資金が投じられ、幅広い施策が実現された点において、一定のインパクトがあったといえる。一方で、多額の医療機器調達に伴う汚職問題も表面化した。また、せっかく購入された高度な機器も、点検費、修理費や消耗品購入費が足りないため有意義に活用されないケースが非常に多かった。この問題については、2020年1月の政府決定により、医療機器の公的調達においてフルメンテナンス契約を結ぶことが可能になった。

本格的な医療制度改革が開始されたのは、連邦法「ロシア連邦における強制医療保険について」が採択された2010年頃である。それ以前は、居住地域以外で無償診療を受けることは事実上できなかったが、保険診療の基準が定められて診療報酬制度が導入され、被保険者は自分で保険会社や医療施設を選ぶことができるようになった。財源を診療報酬に一本化することにより、非効率な医療施設が淘汰されるため、コストが最適化されるという計画であった。

しかしながら、実際には、地方を中心に多くの医療施設が深刻な資金難に陥り、そうした施設の閉鎖のほか、医療従事者の事務作業の煩雑化、賃金削減や解雇、有料診療の増加などの問題が全国で生じ、改革は「失敗」との批判に晒されるようになった。したがって、最近では、これまで合理化、最適化の名目で削減されてきた医療施設や医療従事者の数を増やし、とくに農村部において医療アクセスを改善する方向性が強化されつつある。

その他には、2019年10月、プーチン大統領が、原子力部門におけるロスアトムのように保健医療部門にも国家コーポレーションを設立し、部門全体を運営させてはどうかと提案したことが注目される。その場合は強制医療保険を廃止すべきとの議論も聞かれたが、大統領自身は、保険制度は継続すべきであると述べていた。

**国家プログラム「保健の発展」** 図表18の通り、同じ名称のプログラムが2013年～2020年の8年間の予定で実施されていたが、2018～2025年の8年間を実施期間として改編され、新たなプログラムが発足した。さらに、2019年に発足したナショナルプロジェクトに合わせて実施期間が2018～2024年に変更され、ナショナルプロジェクト「保健」および「人口」の一部が本プログラムに組み込まれる形となっている。

本プログラムの7年間（2018～2024年）の予算計画は31兆8,120億ルーブル（2020年3月

時点)である。各年の予算はこれから変更される予定なので詳細は記さないが、2020年以降は年間4兆8,000億～5兆ルーブルが計上されている。つまり、本プログラムの予算は公的保健医療支出(強制医療保険基金を含む)とほぼイコールになる。

構成は図表19の通りで、8つのサブプログラムの下で連邦プロジェクト10件、課題別プログラム24件が実施されている。

**図表19 国家プログラム「保健の発展」の構成**

サブプログラム	連邦プロジェクト
疾病予防と健康的なライフスタイルの形成を含む医療サービス提供の改善	一次医療保健サービス提供制度の発展
	心血管疾患との闘い
	がんとの闘い
	子ども向けの現代的な医療サービス提供インフラの整備を含む、子どもの保健の発展
	パブリックヘルスの強化
	シニア世代
革新的な診断・予防・治療手法および個別化医療の基盤の導入	国立医療研究センター・ネットワークの発展と革新的医療技術の導入
子どもを含む医療リハビリテーションと保養の発展	
保健人材開発	保健制度医療機関に対する高度技能人材の提供
保健分野の国際関係の発展	医療サービスの輸出拡大
保健分野の監査・監督機能	
特定のカテゴリーの国民に対する医療・衛生サービス提供	
情報技術と保健部門の発展の管理	統一国家保健情報システムを基盤とする統一デジタル回路の整備

(注) 連邦プロジェクト10件のうち、「パブリックヘルスの強化」と「シニア世代」の2件はナショナルプロジェクト「人口」の一部で、その他の8件はナショナルプロジェクト「保健」を構成する。

(出所) Постановление Правительства РФ от 27 марта 2020г. №351

図表20 ナショナルプロジェクト「保健」の主な目標設定

指標	基準値(2017年)	目標値 (2024年→2030 年)
就労可能年齢の国民の死亡率(人口10万対)	484.5	350
循環器系疾患による死亡率(人口10万対)	587.6	450
新生物による死亡率(人口10万対)	200.6	185
乳児死亡率(出生1,000対)	5.6	4.5
医師の充足率(%)	79.7	95
中級医療従事者の充足率(%)	88.8	95
予防健診の年1回以上の受診率(%)	39.7	70
一次医療サービスへのアクセス圏外の居住区(人口10万~20万人)の数	788	0
医療サービス輸出額(100万ドル)	250	1,000

(出所) Будущее России. Национальные проекты

**ナショナルプロジェクト「保健」** ナショナルプロジェクトとは、2018年5月の大統領令に従って策定され、2019年から実施されている13分野のプロジェクトである。その1つが「保健」で、連邦プロジェクト8件から構成され、その全てが国家プログラム「保健の発展」に組み込まれている。

「保健」の6年間(2019~2024年)の予算計画は1兆7,259億ルーブルで、主要な目標は図表20の通りである(国家プログラムの目標値もこれに合わせて修正された)。

なお、ナショナルプロジェクト「人口」の予算計画は3兆1,052億ルーブルで、そのうち国家プログラム「保健の発展」に組み込まれた連邦プロジェクト2件の予算は1,025億ルーブルである。

**コロナ危機の影響** ロシアでは新型コロナウイルスの感染爆発が起きたものの、国全体として医療は崩壊せず、非常事態にあたっての動員力と機動力が発揮され、医療従事者の自己犠牲的奮闘もあり、まずは国民皆保険の強みを活かすことができたといえる。検査態勢も充実している。患者、医療従事者、病床、医薬品、防護具などに関する情報を一元管理するデータベースも整備され、以前からロシア政府が推進してきた医療のデジタル化、情報化が進展した。また、治療薬(「アビガン」後発薬)が異例のスピードで開発、承認されたほか、複数の研究機関でワクチン開発が進められ、世界に先駆けて承認される可能性もある(安全性や有効性は疑問視されているが)。今後は医療の安全保障の観点強化され、これまでも

推し進めてきた医療情報のデジタル化と統合管理、輸入代替が加速する可能性が高い。

その一方で、医療提供体制の地域格差、医療従事者の負担と待遇、国産医療機器の品質など、コロナ以前から存在する多くの問題が顕在化した。7月22日にはミシュスチン首相が下院で政府活動報告を行い、コロナ危機による負荷が最も大きかった一次医療部門について、各地域の一次医療の近代化は当初の予定より遅れるが、計画通り実施されるとした上で、「診療所や新たな准医師・助産施設の設置だけでなく、(近年の)最適化によって生じた問題の解消に努めなければならない」と強調した。

7月以降、新型コロナウイルス専門となっていた病院や病棟における通常診療や、全国で中止されていた健診が再開されつつある。

ナショナルプロジェクトも中断や変更を余儀なくされ、「保健」だけでなく全分野について、実施期間を当初の2024年から2030年までに延期する方針が決定された。これに合わせて各分野の指標や予算の修正が10月末までに行われる予定である。「保健」に関しては、今回の危機を受け、感染症対策に関する新たな連邦プロジェクト1件が追加される可能性が浮上しており、現在保健省が策定中である。その他の点については、最終的な目標値は変更されず、各年の目標値や実施項目を少しずつ修正して後ろ倒しにする形になるものと思われる。今回の危機で改めて医療の重要性が認識されたことから、予算が大幅に削られることはないものと思われるが、財源不足により、当面の各年予算は当初の計画より少なくなる公算が高い。

## おわりに

現段階では、新型コロナウイルスが世界およびロシアの人口動態にどの程度の影響を及ぼすことになるのか計り知れない。今後、より長期の超過死亡データを分析する必要がある。

医療制度、政策の動向も流動的ではあるが、おそらくこれまでの方向性を踏襲しつつ、今回改めて表面化した課題への対応が加わることになるだろう。国民の医療アクセスを改善し、国の威信をかけて平均寿命を延ばすという目標を掲げるからには、これまで練りに練られてきた政策枠組みを実現するしかない。さりとて財源がなければ、最大の問題である医療費不足を解消することはできない。コロナ禍と油価下落は手痛い打撃である。

## 【注】

- 1) 特記しない限り、本稿における統計データ（図表を含む）は全てロシア連邦国家統計局（ФСГС）から引用している。なお、2015年以降のデータについては、クリミアとセヴァストポリが含まれる。
- 2) 2012年に乳児死亡率が若干上昇したのは、同年4月1日以降、出生の定義が国際基準に近づく方向で改定され、従来に比べて拡大されたためである。
- 3) Financial Times, May 12, 2020  
The New York Times, May 11, 2020  
Reuters, May 19, 2020
- 4) Tass, Jun 12, 2020
- 5) 総務省統計局
- 6) РБК. 20.04.2020
- 7) Стопкоронавирус.рф
- 8) Forbes.ru. 12.05.2020
- 9) Список памяти
- 10) BusinessStat

## 【参考文献】

- 衣川靖子 2016 「ロシアの医療事情と政策の動向—改革の歪みが表面化した2015年—」『ロシアNIS調査月報』2016年2月号 ロシアNIS経済研究所 pp.28-42
- 厚生労働省 「新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和2年7月20日版）」  
([www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_12545.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_12545.html))
- 総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1211.html>)
- Amnesty International, July 13, 2020 (<https://www.amnesty.org/en/latest/news/2020/07/health-workers-rights-covid-report/>)
- Financial Times, May 12, 2020 (<https://www.ft.com/content/77cd2cba-b0e2-4022-a265-e0a9a7930bda>)
- OECD Stat ([stats.oecd.org](http://stats.oecd.org))
- Reuters, May 19, 2020 (<https://www.reuters.com/article/us-health-coronavirus-russia-casualties/russia-says-many-coronavirus-patients-died-of-other-causes-some-disagree-idUSKBN22V1Q7>)
- The New York Times, May 11, 2020 (<https://www.nytimes.com/2020/05/11/world/europe/coronavirus-deaths-moscow.html>)
- Tass, Jun 12, 2020 (<https://tass.com/society/1167115>)
- WHO Global Health Observatory data ([apps.who.int/ghodata/](http://apps.who.int/ghodata/))
- BusinessStat (<https://businessstat.ru/catalog/id14583/>)
- Forbes.ru. 12.05.2020 (<https://www.forbes.ru/newsroom/obshchestvo/400449-oborudovanie-opasno-dlya-pacientov-vrachirasskazali-o-nedostatkah>)
- Coronavirus-monitor.ru (<https://coronavirus-monitor.ru/coronavirus-v-rossii/>)
- Будущее России. Национальные проекты (<https://futurerussia.gov.ru/zdravooхранenie>)
- Министерство здравоохранения РФ. 2020. Временные методические рекомендации: профилактика, диагностика и лечение новой коронавирусной инфекции (COVID-19)
- Постановление Правительства Российской Федерации от 27 марта 2020г. №351
- РБК. 20.04.2020. (<https://www.rbc.ru/rbcfreenews/5e9d8f9e9a79475af044a191>)
- Список памяти (<https://sites.google.com/view/covid-memory/home>)
- Стопкоронавирус.рф ([https://стопкоронавирус.рф/what-is-done/measures/mobilizacija\\_sistemy\\_zdravooхранenia.html](https://стопкоронавирус.рф/what-is-done/measures/mobilizacija_sistemy_zdravooхранenia.html))
- ФСГС ([www.gks.ru](http://www.gks.ru))

### Ⅲ. ロシア・NIS諸国の輸送の諸問題

辻久子

#### Ⅲ-1. 「中欧班列」の動向

2011年3月、「新シルクロード鉄道」の名称で、重慶～デュイスブルグ間でヒューレット・パカードをメイン顧客とするブロックトレインがカザフスタン経由で運行されたのが始まりだった。同年10月にはライプチヒ～瀋陽間でBMWの部品輸送が始まった。都市間で競うように、成都～ウッジ、鄭州～ハンブルグ、武漢～チェコ/ドイツなどの路線が次々と開設され、列車数及び輸送量は幾何級数的成長を遂げた（図1、2）。

2014年には308本（対前年比285%）のコンテナ専用列車が2万6,070TEUを輸送した。内訳は西行280本、東行28本と西行に偏っていた。

2015年は815列車、6万8,902TEUに拡大した。

「新シルクロード」の位置づけは「海運と航空の中間的需要を掘り起こす」というものだった。鉄道は海運よりも高いが速く、航空よりも遅いが安いという位置づけだ。一方、運賃は補助金の適用により海上輸送と同程度に抑えられている。

中欧班列には3つのルートが利用されている。カザフスタン経由の西ルート、モンゴル経由の中ルート、ザバイカルスク経由の東ルートである。何れのルートもシベリア鉄道に合流し、モスクワ近辺を通過してポーランドで標準軌への積み替えを行っている。近年は西ルートが太宗を占めている（図4）。

政策面では2013年、習近平政権により提唱された「陸のシルクロード」と「21世紀の海のシルクロード」建設構想が2015年に「一帯一路」構想としてまとめられ、中欧班列は国の重点項目に位置づけられた。以後、政府の手厚い支援の下で急成長を続けている。中国鉄道傘下の中鉄集装箱運輸（CRCT）の管理下で、2016年6月に「中欧班列」と名付けられ、統一ロゴ入りコンテナが主要駅に配置された。

2016年には1,702列車が運行され、14万5,794TEUが輸送された。東行と西行の比率は1：2で片荷傾向が慢性化したため、欧州発中国向けの貨物開発が課題となった。

2017年には前年比2.2倍の3,673列車が31万7,930TEUを運んだ。発着駅も拡大を続け、中国発38都市、欧州着13カ国36都市となった。また、欧州側積替え駅であるブレスト/マワシェヴィチェ国境における混雑が問題点として指摘されるようになった。

2019年の中欧班列の運行実績は8,225列車（前年比+29.0%）、72万5,312TEU（前年比+33.5%）に達した。増加率は緩慢になってきたとはいえ、2桁成長を継続している。路線は中国51都市に広がり、欧州はドイツ、ポーランドを中心に20都市余りと繋がっている。中国は2020年までに年間5,000便を目標に掲げていたが既に達成し、次の目標は何か。

図1 中欧班列の列車数の推移

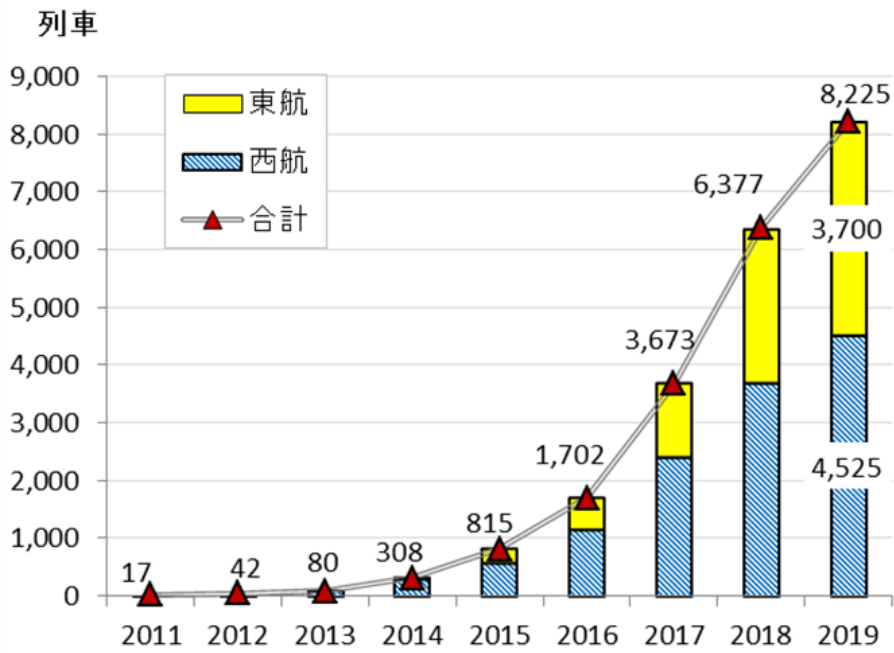


図2 中欧班列のコンテナ輸送量の推移

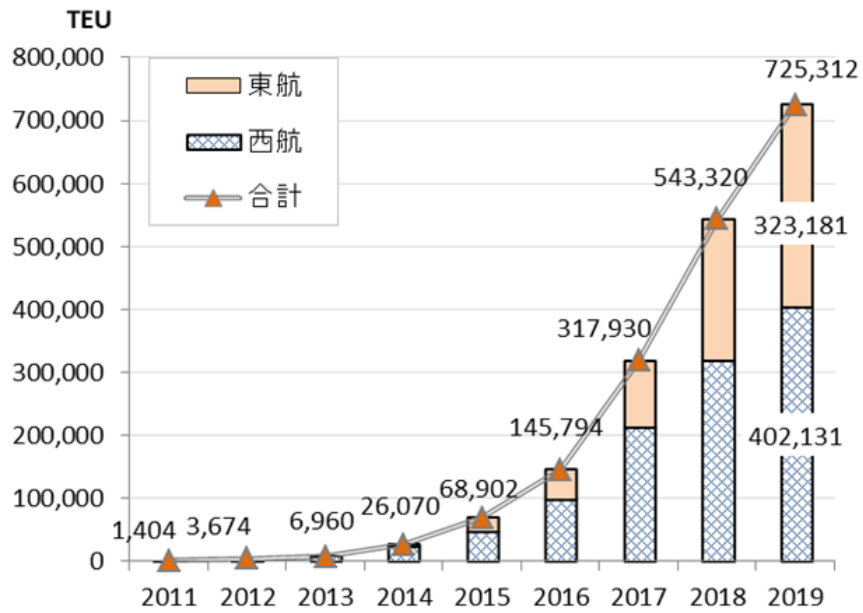


図3 コンテナ発着地の比率(2019年)

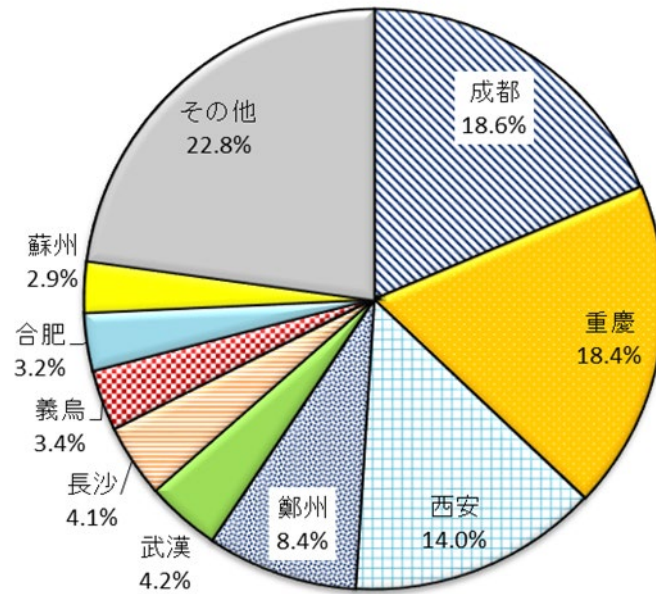


表1 中欧班列輸送実績(2020年1~4月)

	西航	東航	合計
列車数	1638(+36%)	1282(+11%)	2920(+24%)
コンテナ(千TEU)	148(+40%)	114(+14%)	262(+27%)
実入り率(%)	99.9%	95.5%	98.0%

図4 シベリア鉄道と中欧班列



西行貨物は電子機器、アパレル、機械、消費財など、東行貨物は自動車部品、完成車、化学品、飲料、食品、ワイン、木材等である。中国の貿易構造を反映して、西行に比べて東行貨物の不足が指摘されてきたが、近年はギャップが縮小されつつあり、2019年は55:45であった。

日系フォワーダーで熱心に中欧班列に取り組んでいる日本通運は、西安～欧州の中欧班列「長安号」に加えて同路線に西安～上海・寧波の中国内鉄道を繋ぐサービスも提供している。中国で活動する日系企業の電機・電子部品等を華東から中欧へ輸送しているとのことだ。輸送日数は上海・寧波～西安～デュイスブルクで計23日程度。リードタイムは航空輸送の5～6倍だが、海上輸送の約半分とのことだ。

2020年は中国、とりわけ武漢における新型コロナウイルス蔓延の影響を受け、中欧班列の運行も1月後半から2月前半の長期春節中は停止された。1～2月の運行便数は前年比6%増に留まった。2月半ばに運行を再開後は輸送貨物が急増し、3月、4月ともに前年を上回った。2020年3月は809便（前年比+30%）、7万3,000TEU（+36%）、4月は979便（前年比+46%）、8万8,000TEU（前年比+50%）が輸送された。1～4月合計では、列車数で+24%、コンテナ数で+27%の増加であった。特に西行（中国の輸出）増加が目立った（表1）。

中欧班列がコロナ禍で急増したのは航空貨物の代替需要である。今回のコロナ禍の特色は世界中で旅客機の運航が停止されたことである。そのため、旅客機の貨物室（ベリースペース）の供給が逼迫し、溢れた貨物の一部が海運より速い中欧班列に流れ込んだというわけだ。鉄道輸送が売り込んできた航空と海運の中間的位置づけが役立つ例と言える。航空貨物のスペース逼迫は世界的問題で、貨物チャーター機の利用や、旅客機に貨物を乗せて飛ぶといった工夫が日本発着でも行われている。旅客機が正常に運航するようになるまでは鉄道の出番が増えることになる。

新型コロナとの関連では、中欧班列は3月後半からは中国発欧州向け防疫物資輸送にも利用された。医療品専用のブロックトレインがスペインなどへ向かった。

中欧班列の課題の一つは、欧州への積替え施設（マワシェヴィチェ国境）における遅れであったが、施設の改善などでほぼ解決された。

残された課題は経済競争力である。中国地方政府から30～40%に上る補助金が払われており、中欧班列の成功を支えていると関係者は口を揃える。中国政府は既に補助金の削減計画を表明しているが、実行に移されたという話は聞かれない。国家の重要プロジェクトである一帯一路の模範的プロジェクトとの位置づけである以上、補助金を削減して貨物が減ったという結末は避けたいところなのだろう。

## III-2. 大陸横断コンテナ列車の動向

### 1. TSRコンテナ輸送に底入れの気配

コンテナ流動量はロシアの景気のパロメーターである。主に原油安に起因して2014年終盤以来顕著となった景気後退を反映して、2015年のコンテナ流動量は大幅に減少した。しかし2017年後半に来て底入れの気配が漂っている。

2015年のロシア全国港湾における港湾貨物量は、TEUベースで前年比▲25.4%、トンベースで▲14.4%の減少となった（図1）。しかし、状況は好転しつつあり、2017年1～9月のロシア全港湾のコンテナ流通量は、+4.8%（トンベース）と増加に転じた。

極東のTSRコンテナ港であるヴォストーチヌィ港のコンテナ取扱量も2015年は年間を通じて前年を下回り、前年比▲25.6%の減少となった。2017年1～9月も前年同期比▲19.1%と前年を下回ったが、月々の動きを見るとゆっくりと上昇しており、9月には前年を上回る水準まで回復した（図2）。ヴォストーチヌィ港に揚げられるコンテナの太宗はシベリア鉄道に搭載されてロシア西部や中央アジア方面へ向かっている実情を考えると、シベリア鉄道が輸送するコンテナも同じような回復基調にあるものと推測される。

ロシア鉄道が公表したシベリア鉄道のコンテナ輸送実績も似たような底入れの兆候がみられる。2015年のTSRコンテナ輸送量は50万3,870TEU（前年比▲16.7%）と落ち込んだが、2017年1～8月の実績を前年同期と比較すると▲6%と減少幅が縮小している（図3）。なお2015年のコンテナ発着国の内訳は、中国63.4%、韓国23.5%、日本9.0%、その他のアジア太平洋諸国4.0%となっている。中国がロシアの最大の貿易相手国であることを裏付ける数字である（図4）。

各国の荷動きには特徴がある。ロシアから見ると、中国発の輸入貨物、韓国発中央アジア向けトランジット、日本向け輸出が多いという構造になっている（図5）。ロシアから日本向けにTSRで輸出している品目はアルミなどの非鉄金属、木材（製材）などである。一方、日本からの輸出やトランジットにTSRはほとんど利用されておらず、今後開拓の余地がある。

図1 ロシア港湾のコンテナ取扱量の推移

(出所:ロシア港湾統計)

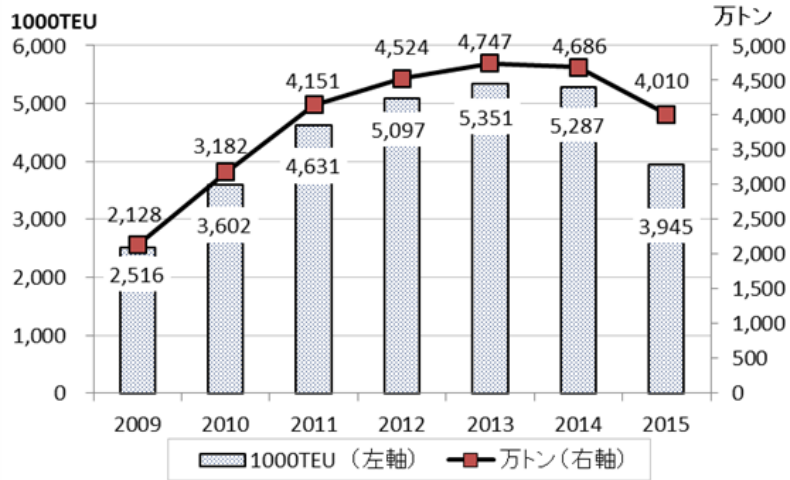


図2 ヴォストーチヌイ港の月別コンテナ取扱量

(出所:VSC)

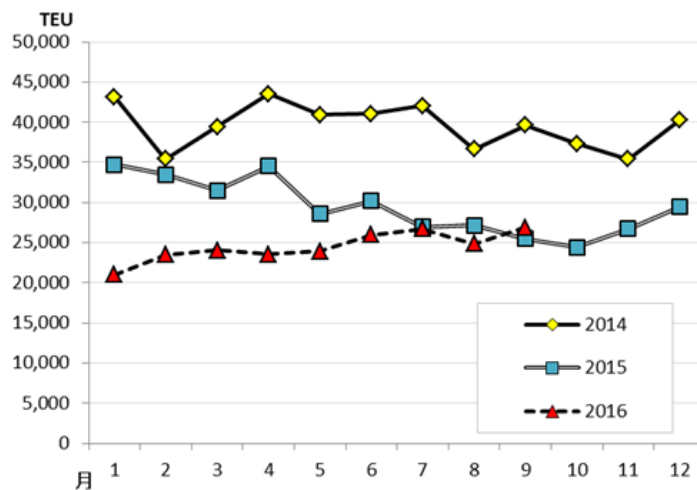


図3 TSR国際コンテナ輸送量の推移

(出所: CCTT)

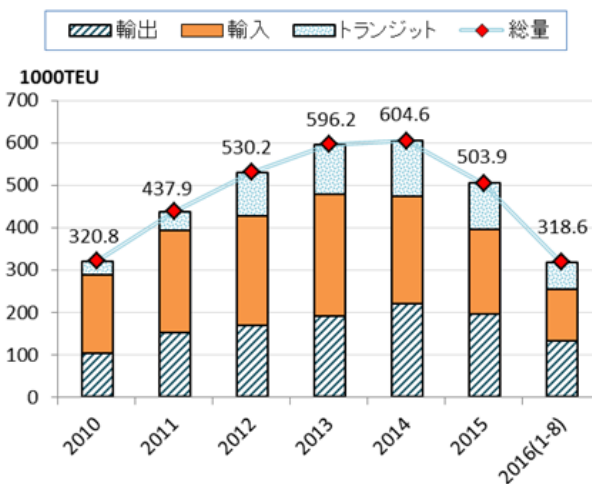


図4 TSR国際コンテナの発着国内訳 (2018)

(出所: CCTT)

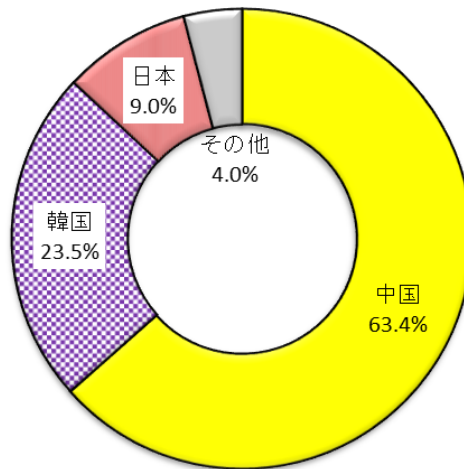
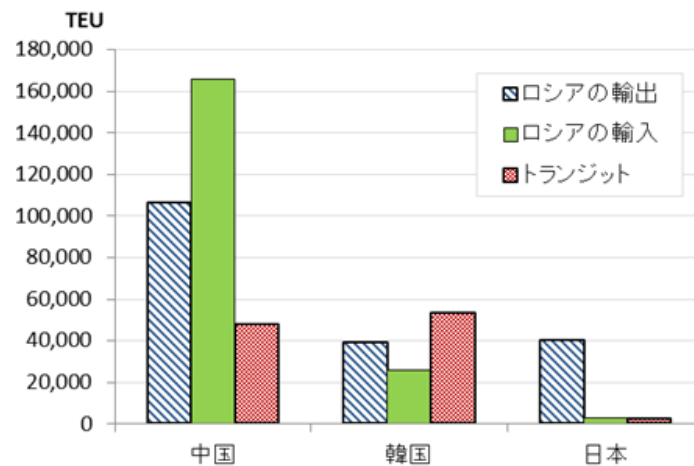


図5 TSR国際コンテナの発着国別特徴 (2018)

(出所: CCTT)



## 2. TSRに吹き始めた追い風

今、日系・韓国系フォワーダーや荷主の間で TSR を再評価する動きが見られる。その背景にあるのは、①欧州航路のタリフ上昇、②韓進海運の経営破綻、③ロシア鉄道の柔軟な運賃政策、④日系企業のロシア内陸部での現地生産の本格化などの市場の変化である。

欧州航路のタリフは船腹の供給過多を背景に 2015 年中は低迷を続け、TSR 輸送の割高感の原因となってきた。しかし、2017 年 3 月に \$ 200/TEU という採算無視の低価格を付けた後はスポット価格が緩やかな上昇に転じた (図 7)。

一方、価格競争で疲弊した海運業界では 8 月に韓国・韓進海運の経営破綻が発生し、その影響で海上運賃は上昇し、一部のロシア西部向け船積みコンテナが TSR に回るといふ漁夫の利もあった。

韓国の現代・起亜自動車グループの中核物流会社、現代グロービスはトランスコンテナと連携し、ヴォストーチヌイ発サンクトペテルブルグ向けブロックトレインの試験運行を9月初旬に行った。40フィート型コンテナ50本を輸送し、サンクトペテルブルグ市内のシュシヤーリ駅までのトランジットタイムは10日であった。

現代自動車は2005年ごろ、当時委託生産を行っていたタガンログ工場向けにTSRを本格的に利用していたことがある。また起亜自動車も内陸のイジェフスク向けにTSRを利用した経験があるが、サンクトペテルブルグ工場までは専ら欧州航路を利用してきた。サンクトペテルブルグまでの場合は料金面でTSRは不利であることは明白であるが、スピード面では揺るがぬ優位性があり、緊急輸送時には活用の可能性がある。

また、ロシア鉄道は重要顧客に対して戦略的運賃設定を行うことがあり、前述の現代自動車のタガンログ向け輸送の場合も欧州航路と比較して競争力を発揮できる運賃が提供されていた前例がある。今回、現代・起亜自動車向けにどのような条件が提示され、今後の本格的利用に結びつくのかという点に関心が向く。

ロシア内陸部に進出した日系企業もTSRの顧客として有望である。モスクワとウラル山脈に挟まれたタタルスタン共和国などには日系完成車メーカー、タイヤを含む部品メーカーが進出しており、稼働期を迎えている。これらの企業の需要を組織的に取り込んで極東からブロックトレインを走らせる計画が水面下で進められている。日本発のまとまった量の輸出にTSRが利用される日が待たれる。

日本のフォワーダーも前向きな姿勢を見せている。TSR利用促進のためのロシア鉄道の外郭団体、「シベリア横断鉄道調整評議会」(CCTT)は9月にウランバートルで年次総会を開催した。日本の業界団体、「日本トランスシベリヤ複合輸送業者協会」(TSIOAJ)を代表して参加した協会幹部は、TSIOAJとして近く日本からモスクワへの試験輸送を実施する計画を明らかにした。同幹部は、確実な輸送日数とサービス、競争力ある運賃を追求することで日本発のTSRサービスを再構築してゆきたいとの抱負を述べている。

初めてTSRを利用する企業には納得がゆくまでトライアルを行い、複合輸送に対する信頼を築き上げてゆく辛抱強さが求められる。

### 3. 中国～欧州間コンテナ列車の拡大

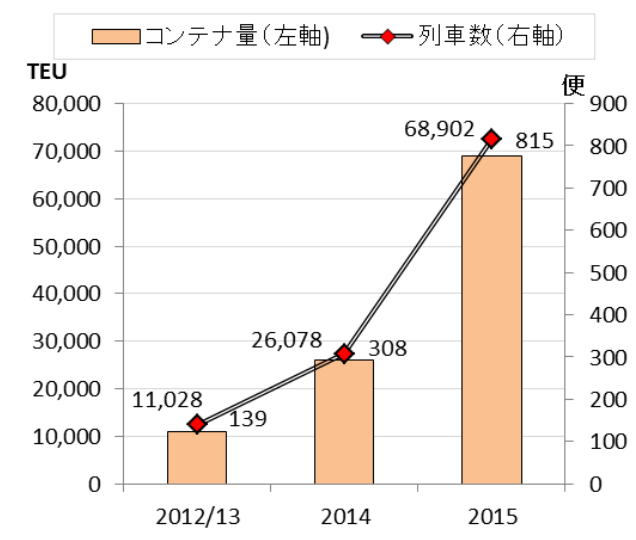
ロシア国内の景気の波にもまれて伸び悩んでいるTSRに対し、中国と欧州を結ぶTCRは「一帯一路」政策の支援を受けて拡大期を迎えている。

中欧間コンテナ列車の運行は2011年に重慶～デュイスブルグ間でヒューレットパッカードをメイン顧客として始まり、成都～ウッジ、鄭州～ハンブルグ、武漢～チェコなどが続いた。2017年7月時点で、中国16都市から欧州12都市に開通し39路線が定期運行されている。中国側は、重慶、武漢、鄭州、成都の内陸4都市が筆頭格で、長沙、蘇州、東莞、義

烏、合肥、南昌、西安、瀋陽、長春、ハルビン、大連、營口が続く。欧州側ではドイツが一番多く、ポーランド、チェコ、スペイン、オランダ、フランスなどが続く。

中欧間コンテナ列車の運行便数とコンテナ数は年々拡大し、2015年には815列車、6万8,902TEUに達した（図6）。2017年は10万TEUを超える見込みとのことである。

**図6 中国～欧州間鉄道コンテナ輸送の推移**



主な貨物は西航がPC、自動車部品、アパレル、家電、機械類、日用品など、東航が自動車、自動車部品、ワイン、ビールなどである。

運行列車の方向を見ると、西航（中国⇒欧州）が68.4%に対し、東航（欧州⇒中国）が31.6%と西航に偏った流れとなっている。

中国～欧州を結ぶ鉄道ルートとしては、北ルート（満洲里－ザバイカルスク）、モンゴルルート（二連浩特）、南ルート（阿拉山口、ホルゴス）の3つがあり、中国側都市の地理的条件を考慮して使い分けが行われている。3つのルートの使用比率は、南ルート70.6%、北ルート20.3%、モンゴルルート（6.1%）となっている（表1）。

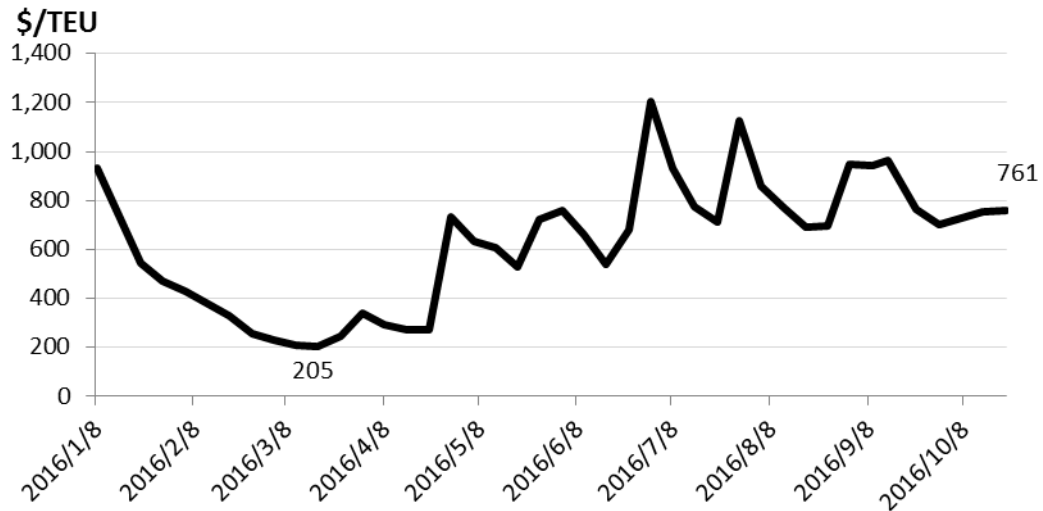
**表1 中国～欧州間鉄道コンテナの内訳（2018）**

（出所：中国鉄道／CCTT）

	列車数	コンテナ量 (TEU)	比率 (%)
中国⇒欧州	550	47,132	68.4
欧州⇒中国	262	21,770	31.6
北ルート	155	14,006	20.3
モンゴルルート	76	6,270	6.1
南ルート	584	48,626	70.6

図7 上海⇒欧州主要港コンテナ料金(スポット)

(出所：上海航運交易所)



#### 4. TSRとTCRの協力と融合の可能性

急成長中の中欧大陸横断鉄道と悩める大先輩シベリア鉄道は互いに学び協力することができないのか？

日本通運は中国～欧州間で鉄道輸送サービスを提供しているが、新たにコンテナ1本に満たない小口貨物の混載輸送を開始した。中国側が武漢と重慶、欧州側はドイツ・デュイスブルグを起点に両国間を15日程度で鉄道輸送し、従来は航空輸送を利用していた自動車部品、電子機器、高級アパレルなどの安価な代替輸送手段として売り込むという。いわばカイゼン型イニシャチブであるが、このような知恵と行動をTSRにも持ち込めないものか。伸び悩むTSR対元気なTCRを比べた時、2つのレールネットワークを融合させて双方を活性化するという夢を考えたい。

### III-3. シベリア・ランドブリッジの利用促進へ向けて

#### 1. シベリア・ランドブリッジの失速

2015年以後、油価低迷やロシアへの経済制裁に起因するロシア経済の失速は国際コンテナ流通量の減少を招き、TSR輸送にも及んできた。特に自動車生産の低迷によるロシアや中央アジアの輸入コンテナの減少が目立った。

ロシア鉄道の発表によると、2015年のTSR輸送コンテナ量は前年比▲16.7%、2017年も前半（1～8月）は▲6%と減少傾向が続いた。

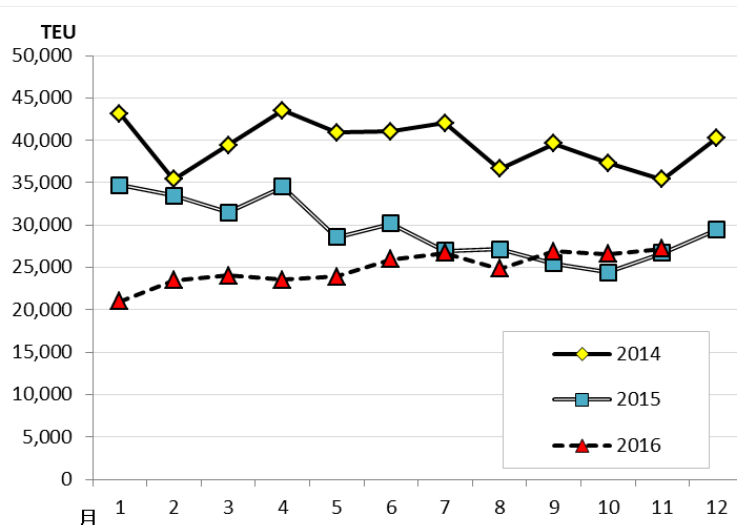
極東のTSR輸送のゲートウェイ、ヴォストーチヌイ港のコンテナ取扱量も2015年は前年比▲25.6%、2017年（1～11月）は前年比▲15.2%と減少傾向が続いた。ただし、2017年は徐々に増加しており、直近の9～11月に限定すると5.4%増と底を打った様子が窺われる（図1）。

減少要因は経済不況だけではない。代替ルートである欧州航路の海上運賃低迷が続いた。さらに、中国が一带一路政策を掲げ、中国内陸～ロシア～欧州を結ぶコンテナルート（チャイナ・ランドブリッジ：TCR）を開発し、国の補助金を武器に取扱量を伸ばしてきた。TCRの一部がロシア鉄道を利用することからロシア側は表向き歓迎の姿勢を示しているが、中国発着貨物がTSRからTCRへとシフトすると極東港湾は打撃を受けるため、TCRの台頭には神経を尖らせている。

これらの代替ルートの攻勢にロシア側は危機感を感じており、競争力強化に乗り出した。①競争力ある運賃の設定、②ブロックトレインのスピードアップ、③物流ターミナルの整備、④「バイカル・シャトル」の運行等のプロジェクトが動き始めた。

図1 ヴォストーチヌイ港の月別コンテナ取扱量

（出所：VSC）



## 2. 価格競争力を増したTSR

ロシア鉄道がまず手を付けたのは競争力のある運賃水準の提示であった。現在、日本のフォワーダー各社は日本～モスクワ間では欧州航路と TSR とで運賃の差はないとして TSR の売り込みに前向きだ。昨今のルーブル安に加え、欧州航路の運賃が最近上昇傾向にあるという事情もあり、荷主にとって魅力的な運賃設定になってきた。最近まで TSR 輸送の最大の問題が海上運賃に比べて割高なことであったことを考えると驚きですらある。

ロシア鉄道による TSR の位置づけも、欧州航路に比べて輸送日数が短縮できるのだからプレミアム運賃は当然というものだった。例えば、2014年3月に東京で開催された日露投資フォーラムにおいて、ロシア鉄道のラピドゥス氏は「スピードの代償として TSR は欧州航路よりもコンテナ1本当たり\$1,000のプレミアムを上乗せする」と述べた。また2017年2月に東京で開催された日ロ貿易・産業対話において、ベロジョロフ・ロシア鉄道社長が、新たに導入予定の「バイカル・シャトル」について触れ、TSRの運賃は欧州航路よりも\$1,200高く1.6倍と試算した。

しかし日本の荷主は大幅なプレミアム料金を受け入れようとはしない。今回、ロシア鉄道が荷主の意向を理解して値下げに踏み切ったのか、それともルーブル安を反映した一時的現象なのかは不明である。

## 3. ブロクトレインのスピードアップ

対欧州航路で見た TSR の優位性はスピードにある。日本～モスクワの総輸送日数は約25日で欧州航路利用の半分以下である。TSRのスピードメリットをさらに強化しようと考えたロシア鉄道は、極東港湾～モスクワ間を従来の11日から7日へと短縮することを目指して、2009年から“TSR in 7 Days”プロジェクトに取り組んできた。

試行錯誤を経てコンテナ専用列車の1日当たり走行距離は徐々に伸びている（図2）。

しかし、スピードアップを実現するには多くの技術的課題が立ちだかる。

ロシア鉄道は当初、輸送日数短縮が荷主に歓迎され、貨物需要が増加すると期待していた。しかし、東アジアの荷主にとってわずかの日数短縮の対価として追加的なコストを払うほど魅力的ではないことが分かってきた。荷主が数日間の日数短縮にいくら払う用意があるかを突き止めた上で、改めてプロジェクトの優先度を考える必要がある。

## 4. 物流ターミナルの整備

首都モスクワ周辺には複数の鉄道コンテナ駅が存在する。市内ではクンツェヴォ-2、パヴェレツカヤ等が知られているが、2014年にモスクワの南西60kmのヴォルシノに最新鋭のコンテナターミナルが開設された。

ヴォルシノ駅は総敷地面積26haで、年に35万TEU取り扱い可能なコンテナターミナル、7本の引き込み線、税関、保税倉庫等が配置されている（図3）。また、隣接する工業

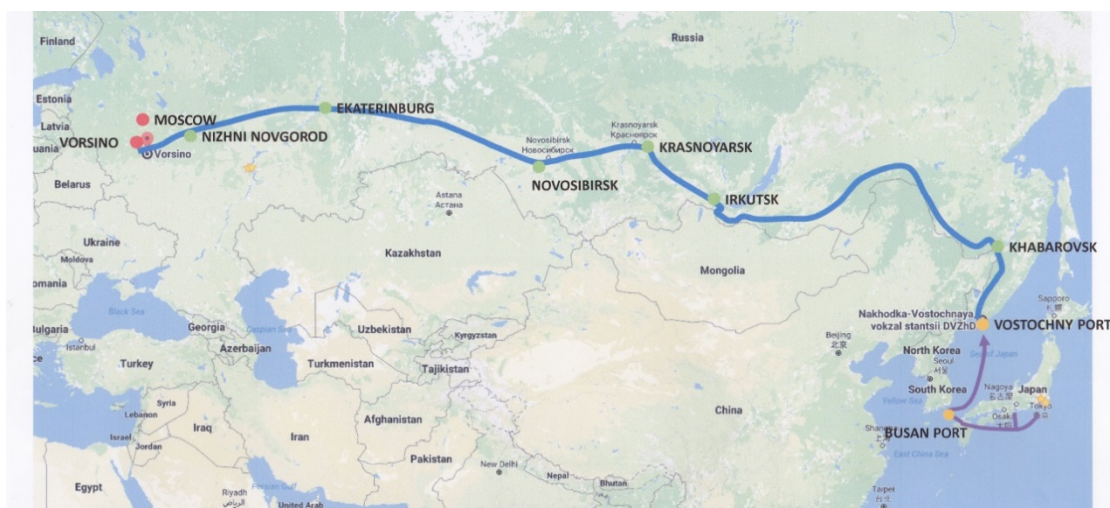
団地にはサムスン、ロレアル、ネスレ、リンデなどの外資系企業が立地している。鉄道ターミナルは極東のヴォストーチヌィ、ザバイカリスク、中国の蘇州、瀋陽、大連、ラトビアのリガ、スロバキアのドブラ、バルト海沿岸のウスチルガ等と定期コンテナ列車で結ばれている。ヴォルシノにブロックトレインで到着したコンテナは近辺のモスクワ、カルーガ（97 km）、トヴェリ（230 km）、ヤロスラヴリ（424 km）、リペツク（450 km）、ニジニノヴゴロド（518 km）等へトラック輸送されている。

東アジアからの輸送では、ヴォストーチヌィ～ヴォルシノ間のブロックトレインが定期運行されており、所要時間は10日12時間7分である。韓国の大手フォワーダーUNICO Logisticsは2014年より同社独自のヴォルシノ向け合積みブロックトレインのサービスを実施している。韓国の荷主（家電、タイヤ、自動車部品等）をベース貨物として毎週1～2便の列車を運行している（図4）。

図3 ヴォルシノ・ターミナルの完成予定図



図4 ヴォストーチヌィからヴォルシノまでの輸送路



## 5. 日本発バイカル・シャトルの試験輸送

ロシア鉄道は主として日本の顧客を対象として国際複合一貫輸送サービス「バイカル・シャトル」を企画した。日本からロシア各地向けに Door-to-door で TSR 輸送サービスを行うものである。既存の船便でヴォストーチヌイ港へ運び、トランスコンテナの合積みブロックトレインでヴォルシノ等各地へ運ぶ。トランスコンテナ保有のコンテナを使用できる。

2017年11～12月、ロシア物流を手掛ける物流会社9社が加盟する「日本トランスシベリヤ複合輸送業者協会」(TSIOAJ)はモスクワ向けバイカル・シャトルの試験輸送を行った。

11月28日にFESCO船に40ftコンテナを積み込んで横浜港を出港、清水、名古屋、神戸、富山の国内4港を経て12月5日にヴォストーチヌイ港に到着後、9日に近くのナホトカ・ヴォストーチナヤ貨物駅でモスクワ向け「バイカル・シャトル」に積載されて出発した。列車は予定通り17日にヴォルシノ駅に到着した。ブロックトレインは通常の定期列車よりも早い8日で到着した。横浜を出港してから3週間足らずでモスクワに到着したわけで、もしヴォストーチヌイまで直航船が利用できればさらに短縮することも可能である。

40年以上の歴史を持つシベリア・ランドブリッジの経験を思い起こすと、モスクワまでの輸送を試験するというのは「何をいまさら」の印象がある。しかし今回、国内の国際物流各社が試験輸送の成果を共有できたことの意義は大きい。国内に多くの顧客を持つ各社が積極的に集荷に動けば、TSRに対する日本企業の理解が深まり利用が広がる可能性がある。(図4)。

## 6. 日本側地方港のアクセス拡大

バイカル・シャトルは主として日本の主要港を対象とするサービスであるが、日本通運は地方港を含む国内38港からモスクワ向けの国際複合一貫輸送サービス「Sea and Rail Moscow」の販売を2018年1月から開始した。新サービスは地方各港から釜山経由でウラジオストクへ海上輸送後、TSRでモスクワまで輸送する。なお海上輸送には主に韓国船を利用し、船社コンテナが利用可能である。

日程は日本各港→3日→釜山(3日)→2日→ウラジオストク(7～10日)→12日→モスクワで輸送日数は合計27～30日となっている。なお、日本各港での出港および釜山到着曜日、ウラジオストクでの税関手続きなどでリードタイムは前後するとしている。同社の担当者のお話では荷主の関心は高く、リーファーや帰り便の問い合わせも来ているという。

新サービスの取扱港は次の38港である。

舞鶴、苫小牧、石狩湾新港、釧路、秋田、酒田、新潟、直江津、富山新港、金沢、敦賀、境港、浜田、八戸、塩釜、東京、横浜、名古屋、清水、大阪、神戸、水島、広島、大竹、岩国、徳山下松、中関、高松、松山、高知、門司、博多、志布志、大分、細島、熊本、八代、薩摩川内。

## 7. 広がる可能性

日本発着貨物のすべてがモスクワを目指すわけではない。ロシア側仕向け地の地理的拡大も求められよう。

今後注目されるのは、日系企業の進出が目立つ自動車産業の集積地、トリヤッチ、ウリヤノフスク、イジェフスク方面向けブロックトレインの運行である。

2017年11月、トランスコンテナはウラジオストクからトリヤッチ近郊のジグリョフスコエ・モーレまでを9日間で結ぶ新サービスを開始した。韓国発の貨物は圧延鋼、ワイパー、産業機械などで、荷受人はトリヤッチ、サマラ、ウリヤノフスク、ペンザ、ニジネカムスク等の企業だった。近い将来、日本からの貨物が同ルートに加わることも考えられる。

### III-4. ロシア物流の実績

#### 1. 資源輸出が牽引する港湾物流

2017年のロシア港湾は概ね好調を継続した。ロシア港湾協会が発表した速報値によると、総取扱貨物量は前年比6.7%増の7億2,190万トンに達し、17年連続の増加となった。内訳は乾貨物3億3,580万トン(+7.5%)、液体貨物3億8,610万トン(+5.9%)と乾貨物の高成長が続いている(図1)。

輸出入別では全体の79%を占める輸出が+5.3%、7%を占めるトランジット貨物が+5.8%、10%を占める内航が+27.4%と増加したのに対し、僅か4%の輸入貨物は▲5.0%減少でさらに細くなってしまった。市場が縮小した自動車関連貨物の減少、輸入代替の進行などが影響していると推察される(図2)。

品目別では、原油(+12.8%)、石油製品(▲3.7%)、石炭(+10.5%)の3大エネルギー品目が総じて好調であった。なお、原油と石油製品の輸出は相反関係にあり、その時々々の税制、石油精製能力、国際価格などが関係して振れていると言われる。2017年は原油が大きく伸びた分石油製品に回る量が減少したものとみられる。

その他、コンテナ(+6.5%)、穀物(+3.3%)、鉄類(+7.8%)、フェリー(+3.5%)、化学肥料(+1.1%)、鉱石(+29.6%)、LNG(+5.5%)など増加品目が目立った(図3、4)。

図1 ロシア港湾の取扱量の推移

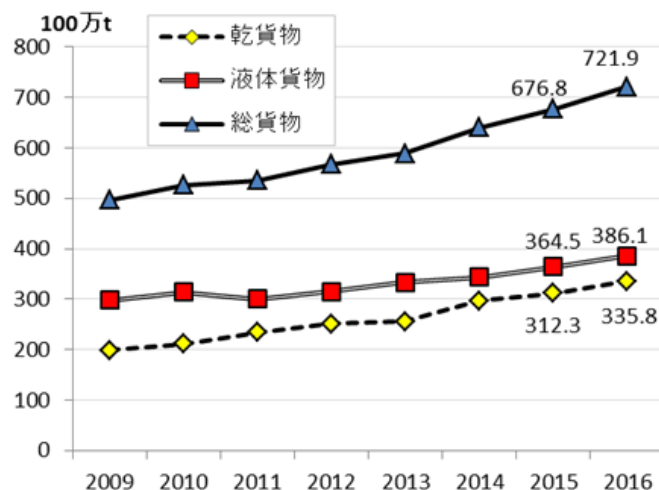


図2 港湾貨物の輸出入別内訳 (2014~2018)

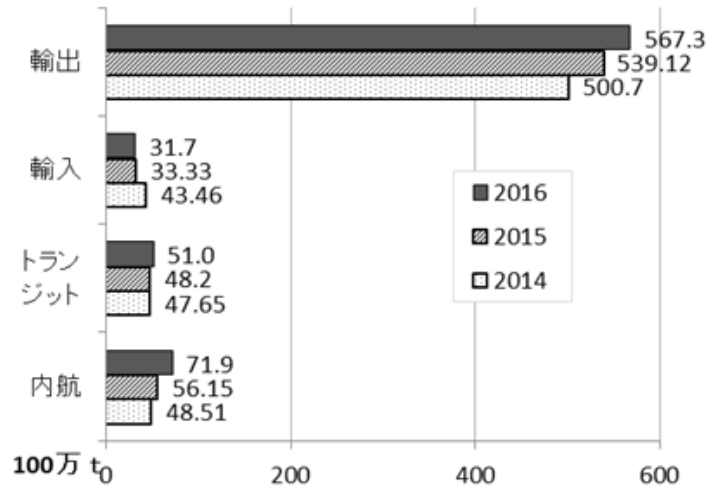


図3 原油と石油製品の港湾取扱量

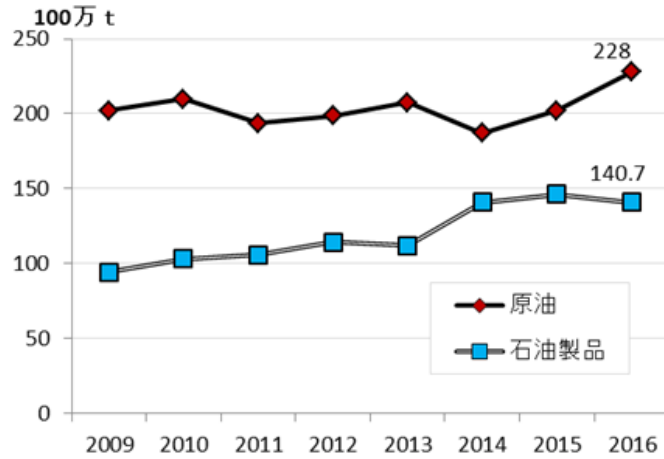
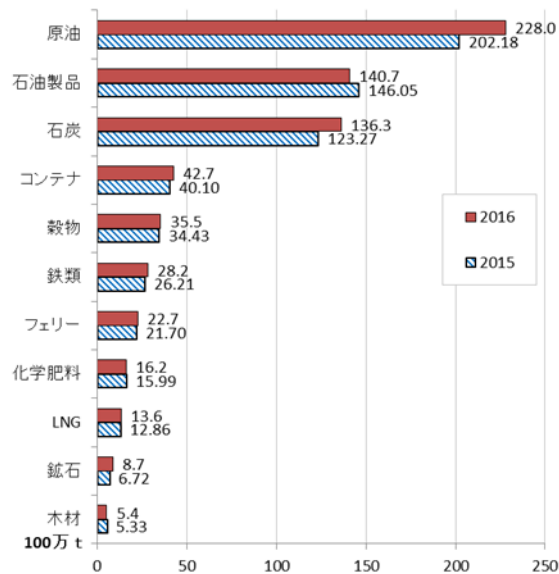


図4 ロシア港湾の主要取扱品 (2015~2017)

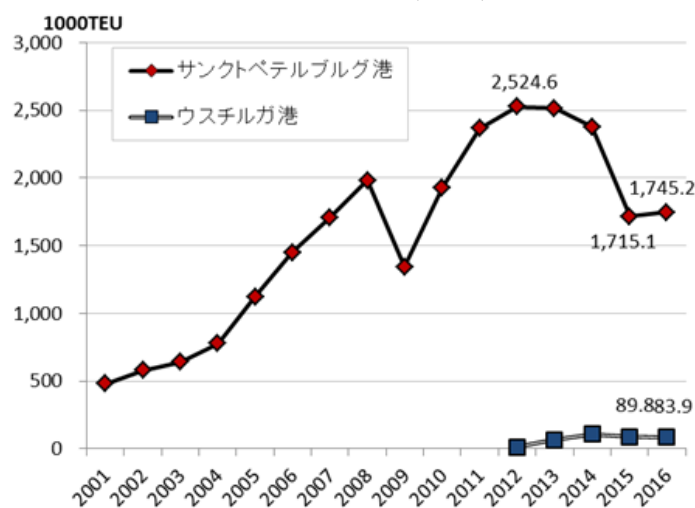


## 2. コンテナも回復基調に

コンテナ貨物は2015年には重量ベースで▲14.4%、TEUベースで▲25.4%減少したが、2017年は重量ベースで+6.5%と増加に転じた。主要コンテナ港の月別実績を見ても年間を通じて増加傾向を続け、下半期は前年同期を上回った。

また、ロシア最大のコンテナ港であるサンクトペテルブルグ港の実績では、コンテナ取扱量は重量ベースで+4.9%、TEUベースで+1.7%の微増となった。なお競合関係にあるウスチルガ港のコンテナ取扱量は開港以来低迷を続けており、2017年も前年比▲6.6%の8万3,900TEUに留まり、未だにサンクトペテルブルグ港に影響を与えるような存在になり得ていない(図5)。

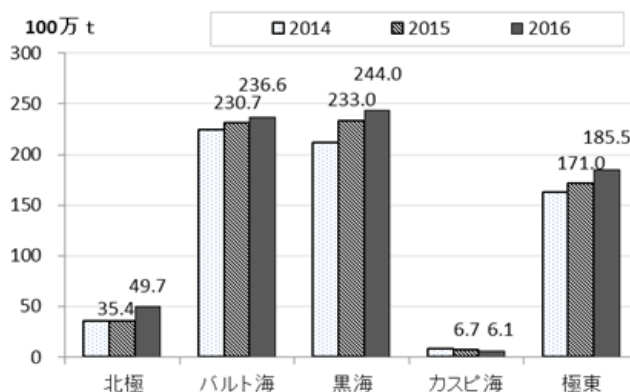
図5 サンクトペテルブルグ港とウスチルガ港のコンテナ取扱量(TEU)



## 3. 水域別・港湾別

港湾貨物量を水域別に見ると、黒海(+4.8%)、バルト海(+2.5%)、極東(+8.3%)の主要水域では順調に取扱量を伸ばした。北極はマイナーな水域であるが、2017年は+40.6%と飛躍的に伸びた。(図6)。

図6 水域別港湾貨物量の推移



主要港湾では、ノヴォロシースク港 (+3.4%)、ウスチルガ港 (+6.3%)、ヴォストーチヌイ港 (+5.2%)、プリモルスク港 (+8.1%) と揃って貨物量を増やした。いずれもベースカーゴは鉱物資源である (図7)。

ウスチルガ港の場合、原油 (+12.4%)、石炭 (3.6%)、LNG (+30.1%)、化学肥料 (+68.3%) などが増加に寄与した。

しかしサンクトペテルブルグ港は▲5.6%の減少となった。要因は石油製品 (▲31.9%) と化学肥料 (▲13.5%) の落ち込みであった。

図7 ロシア主要港の取扱量 (2018)

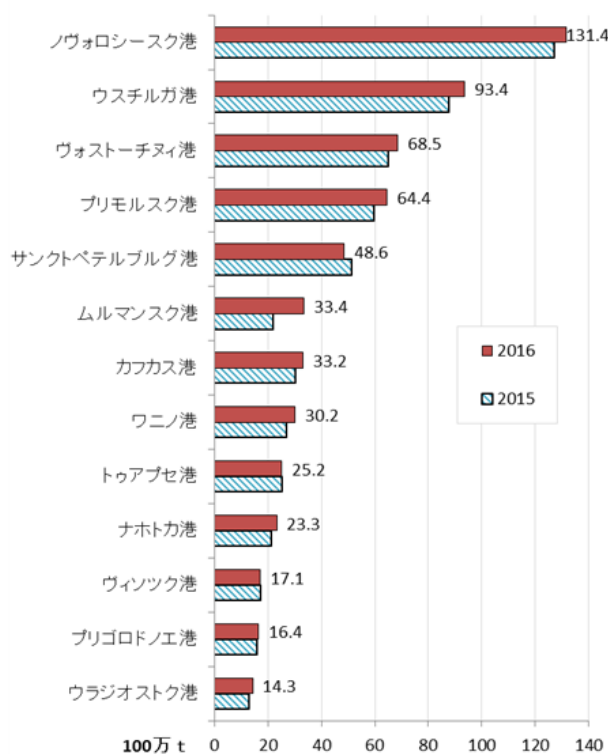
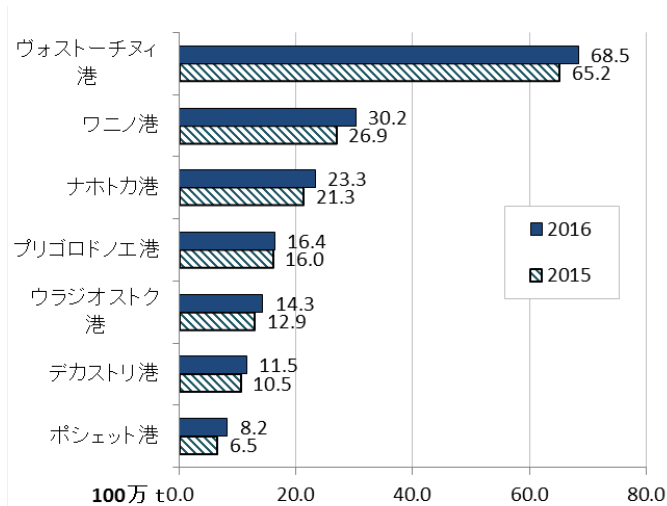


図8 極東主要港の取扱量 (2018)



2017年に極東水域はバルト海水域や黒海水域よりも高い成長率（+8.3%）を示した。内訳は乾貨物（+13.0%）、液体貨物（+2.1%）で石炭の伸びが極東港湾の原動力となっていることが窺える。ヴォストーチヌィ港（+5.2%）、ワニノ港（+11.6%）、ナホトカ港（+9.4%）、ポシエツト港（+26.6%）など石炭をベースカーゴに持つ港湾は揃って貨物を増やした。日本は石炭輸入の有力国の一つであり、2017年にロシア炭を1,796万トン（+6.8%）輸入しており、極東港湾との縁が深い。

また、ウラジオストク港（+11.2%）も2015年の落ち込みから回復した。

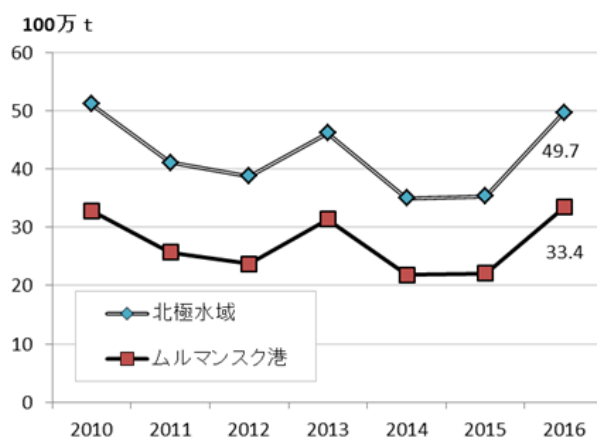
#### 4. 北極水域港湾の躍進

2017年には北極水域（+40.6%）が貨物量を伸ばした。起爆剤は石油類（2.2倍）である。中でもムルマンスク港（+51.8%）が大躍進を遂げた。ムルマンスク港は北極水域最大の港湾で約2/3を占めている（図9）。

他にも石油基地のあるヴァランディ港（+21.6%）、ヤマルLNGプロジェクトで建設が進むサベッタ港、なども取扱量を増やした。ヤマル半島の開発は北極水域を活性化する牽引役となっている。

港湾物流については後日詳細なデータが公表されるのを待つて改めて紹介する。

図9 ムルマンスク港を含む北極水域の取扱量



#### 5. 鉄道輸送は貨物・旅客ともに微増

2017年の輸送貨物量は前年比0.6%増の12億2,230万t、トンキロベースでは1.6%増となった。品目別では、建材（+7.9%）、木材（+6.9%）、石炭（+1.7%）などが増加した半面、石油（▲6.1%）、セメント（▲6.9%）などは減少した。

旅客輸送は1.6%増の10億3,710万人で、内訳は長距離部門が3.6%増、近郊部門が1.4%増となった。人キロベースでは、3.4%増、長距離部門が4.5%増、近郊部門が0.3%増となった（図10、11、12）。

図10 ロシア鉄道の貨物輸送量の推移

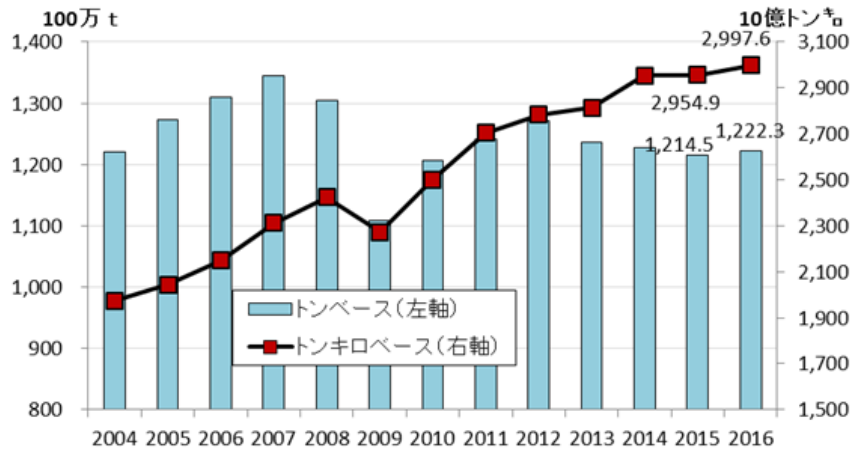


図11 長距離部門旅客量の推移

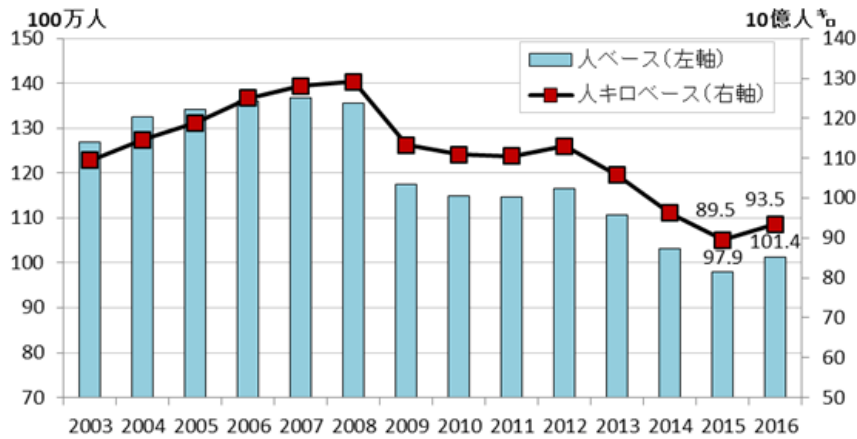
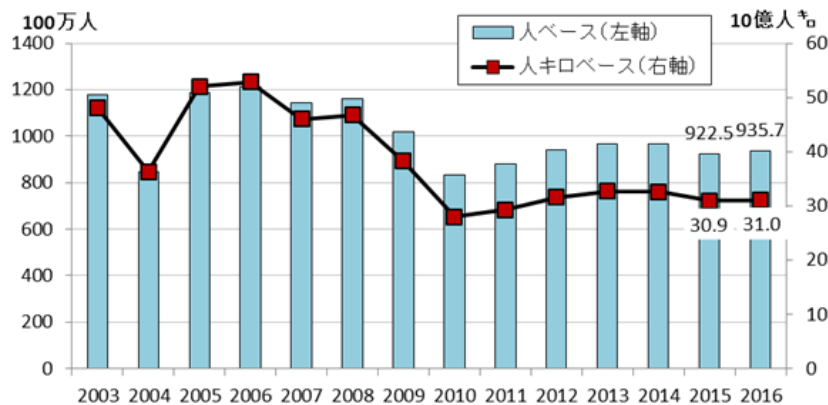


図12 近郊部門旅客量の推移



### III-5. シベリア鉄道と極東港湾(5月)

#### 1. 満杯のシベリア鉄道

2017年のシベリア鉄道は資源を中心とした輸出貨物で大いに賑わった。国際貨物量は1億2640万t(+11.8%)に達し、輸送能力の限界に近づいている。2007年からの9年間に1.5倍に増加したことになる。方向別内訳は輸出94.5%、輸入4.0%、トランジット1.5%で極度に輸出(東航)に偏っている。西航貨車は殆どが空で産地へ戻っていることになる(図1)。

品目別では石炭が7,970万tで63.2%を占め、その存在感は年々高まる一方だ。ロシア鉄道全体の石炭のシェアが26.9%であることを考えると、シベリア鉄道がいかに石炭に偏っているか分かる。石炭の多くはシベリアのケメロヴォ州で採掘され、バム鉄道も併用して極東港湾まで約6,000km輸送される。石炭には低運賃が適用されるが、輸出石炭価格の半分は鉄道運賃と言われている。

石炭に次ぐのが木材(13.2%)、石油・石油製品(7.3%)、鉄鋼(4.6%)、鉱石(4.1%)などである(図2、3)。石炭の輸送需要増大に対応すべく、ロシア鉄道は総額5,624億ルーブルの予算を投じてシベリア鉄道とバム鉄道の輸送力増強に取り組んでいる。

図1 シベリア鉄道の国際貨物量の推移

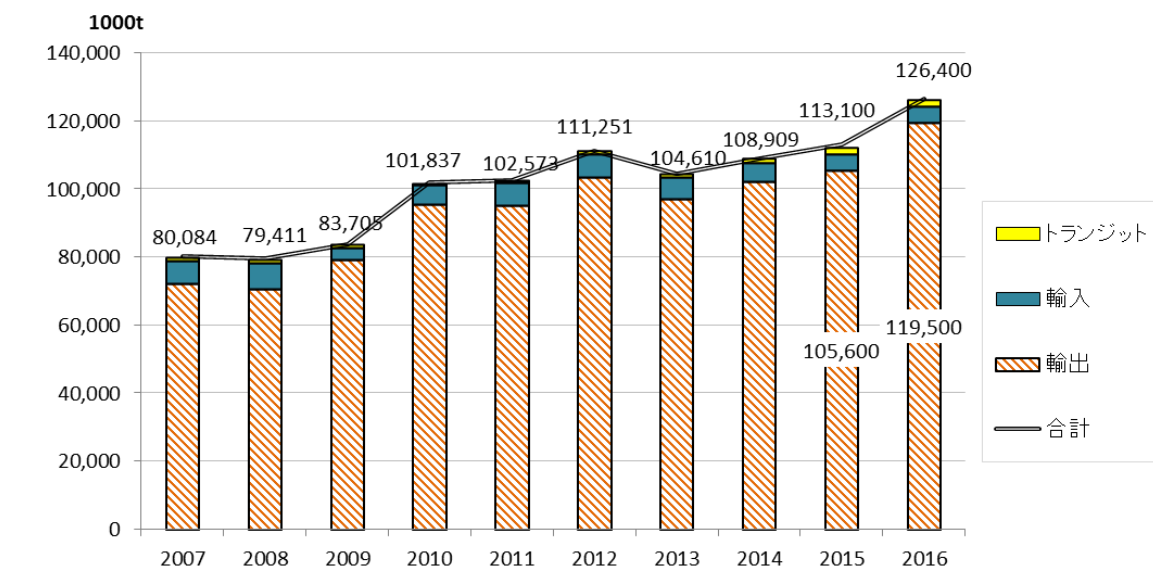


図2 シベリア鉄道の国際貨物品目構成

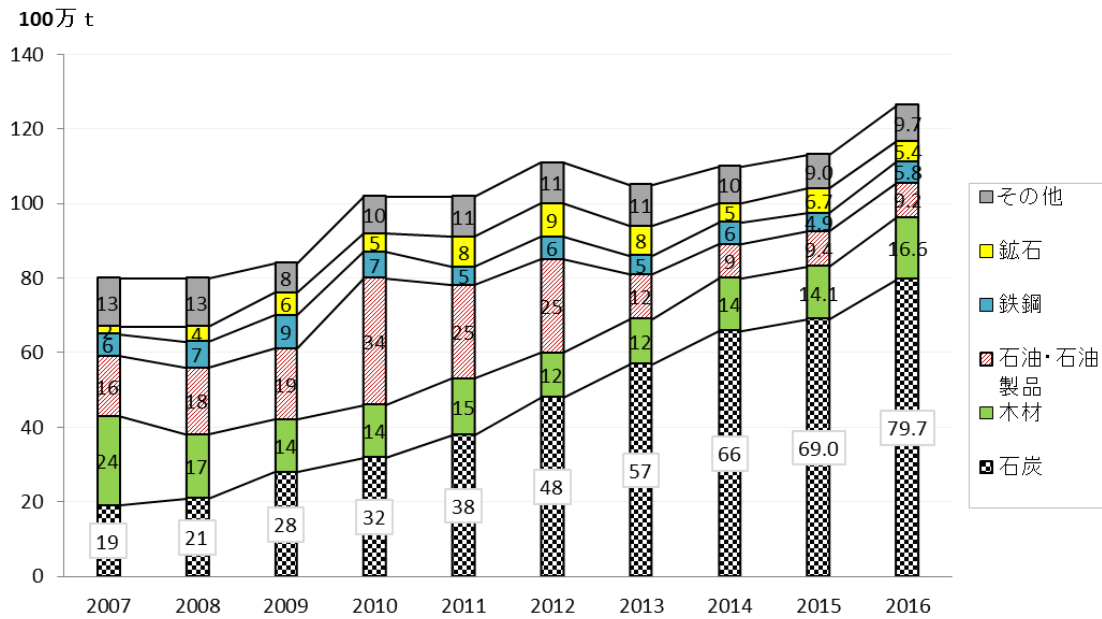
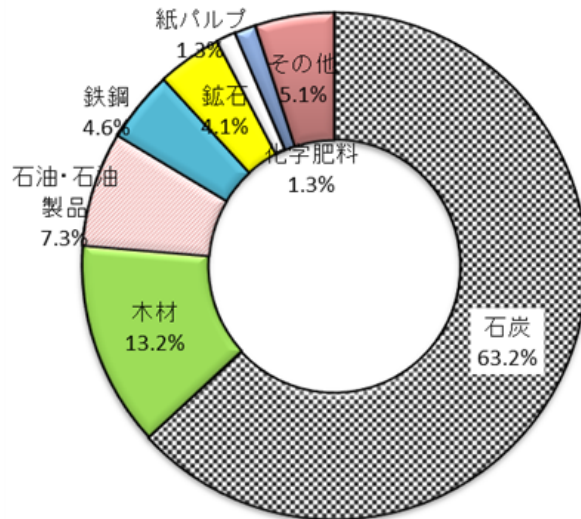


図3 シベリア鉄道の国際貨物品目 (2018)



## 2. 好調な極東港湾

極東港湾の取扱貨物量も右肩上がりだ。2017年は1億8556万t (+8.3%) に達し伸び率は全国港湾平均 (+6.7%) を上回った。2009年からの7年間に倍増したことになる(図4)。

極東港湾も石炭に牽引されている。2017年の石炭は前年比15.1%増加し、極東港湾貨物に占める比率は44.1%に達した(図5)。

図4 極東港湾の発展と品目構成

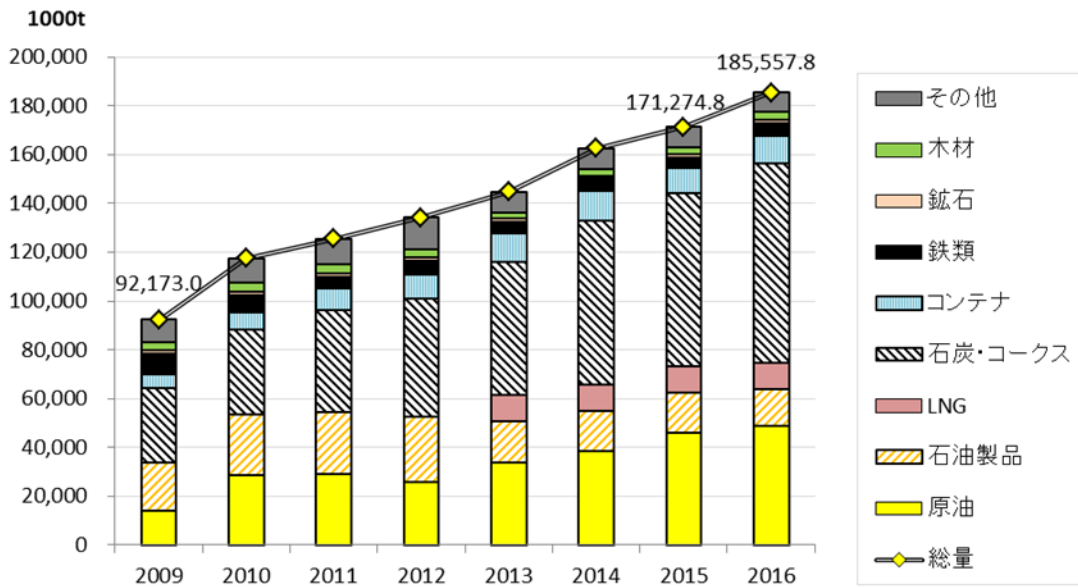
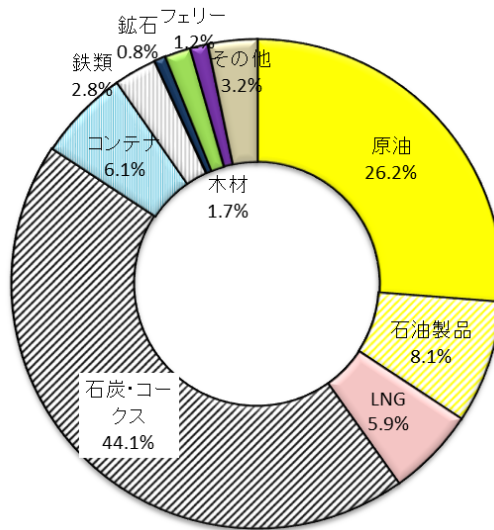


図5 極東港湾の取扱品目 (2018)



石炭に原油、石油製品、LNGを加えた燃料合計は港湾取扱量の84.3%に上る。極東港湾はロシアの燃料資源輸出の東のゲートウェーなのだ。極東港湾取扱貨物の内訳は、輸出が87.7%、輸入は3.0%、トランジットは0.3%に過ぎない。極東水域では沿海地方港湾をハブとしてサハリン、カムチャッカ、マガダン諸港と結ぶ海上輸送網が形成されており、内航が9.0%を占める。2017年は輸出とトランジットが伸びたのに対し、輸入、内航は減少した。国内経済不況が影響している。

港湾別では、最大規模のヴォストーチヌイ港を筆頭に主要港湾全てで貨物量が増加した。2015年に縮小したウラジオストク港のような非資源港も好調に転じた。26%以上増加したポ

シェット港は取扱貨物の86.1%を占める石炭が40.0%増加したことによる。唯一ホルムスク港（サハリン州）が前年割れとなったがコンテナの減少が一因と推測される（表1）。

### 3. 石油と原油

極東港湾が取扱う貨物の太宗を占める石炭と原油について補足する。

極東港湾の石炭取扱量は8,184万t、全国港湾取扱量の60.1%を占めている。2009年からの7年間に2.6倍に膨れ上がった。東アジア諸国の旺盛な石炭需要を取り込んだ結果だ。石炭取扱量は、ヴォストーチヌイ港がロシア最大、ワニノ港が第2位、ナホトカ港が第5位と有力港が競い合う（図6）。

各港には大小さまざまな石炭ターミナル会社があり、それぞれが石炭産出企業と系列関係にある。各ターミナルの2014-2017年の2年間の処理量を見ると、既存の大規模ターミナルよりも小規模の新興ターミナルの急成長が目立つ。ヴォストーチヌイ港では、ウラルターミナル、VSC（コンテナターミナル）、ナホトカ港ではアスタフェバ、アティス、サハリンのシャフチョルスク港などが1.5倍以上に伸ばしている。増え続ける需要に追いつけない処理能力が中小ターミナルにもビジネスチャンスを与えている状況だ（表2）。

**表1 極東主要港湾の取扱量(2018)**

	総貨物 (1000t)	前年比(%)
ヴォストーチヌイ港	68,533.7	105.2
ワニノ港	30,188.7	111.6
ナホトカ港	23,303.6	109.4
プリゴロドノエ港	16,398.0	102.4
ウラジオストク港	14,364.1	111.3
デカストリ港	11,546.5	110.4
ポシェット港	8,202.5	126.6
シャフチョルスク港	3,987.3	105.6
コルサコフ港	1,614.9	112.3
オリガ港	1,529.9	113.4
ペテロパブロフスク・カムチャッキー港	1,365.1	105.1
ホルムスク港	1,363.3	90.6
マガダン港	1,262.0	109.3
その他港湾	1,898.2	134.8
<b>極東港湾計</b>	<b>185,557.8</b>	<b>108.3</b>
輸出	162,740.5	110.9
輸入	5,510.1	98.6
トランジット	610.2	113.8
内航	16,697.0	90.5
ロシア全国	721,979.9	106.7

図6 極東港湾の石炭取扱量の推移

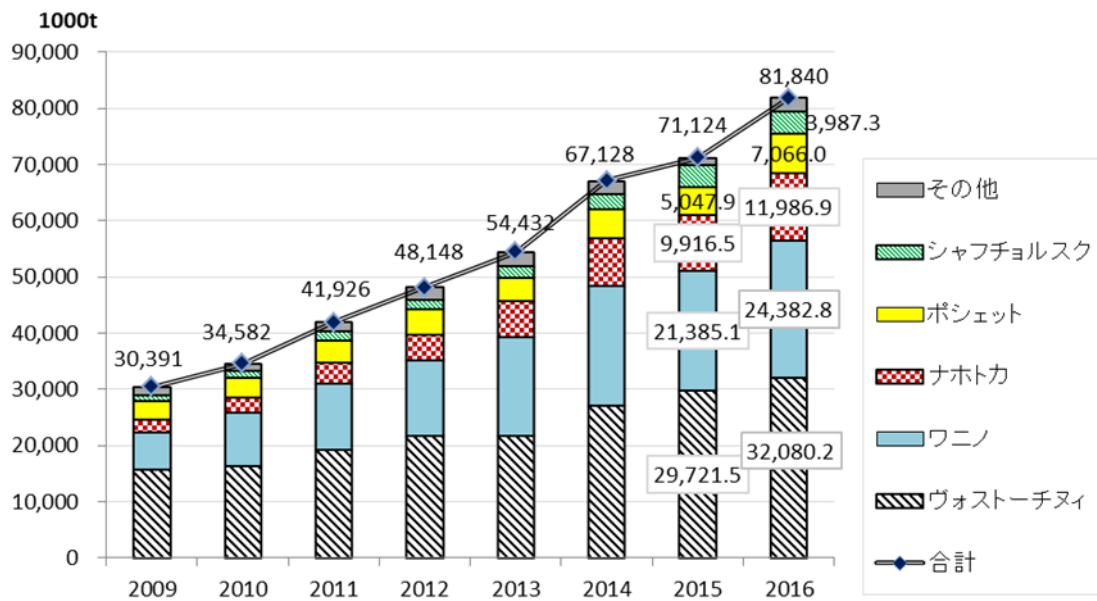


表2 極東の主要石炭ターミナルの実績 (1000t)

ターミナル名	所属港湾	2014	2016	伸び率
ヴォストーチヌイ・ポルト	ヴォストーチヌイ	21,708.7	23,579.8	108.6
ダルトランスウゴル	ワニノ	17,000.0	19,583.7	115.2
ポシェット商業港	ポシェット	5,124.8	7,066.0	137.9
ナホトカ商業港	ナホトカ	5,556.1	6,666.8	120.0
ワニノ商業港	ワニノ	4,375.6	1,799.1	109.7
ウラルターミナル	ヴォストーチヌイ	2,104.1	4,127.9	196.2
シャフチョルスク石炭港	シャフチョルスク	1,937.1	3,086.0	159.3
マールイ・ポルト	ヴォストーチヌイ	2,606.6	2,820.4	108.2
アスタフェバ	ナホトカ	1,270.5	2,132.0	167.8
アティス	ナホトカ	770.4	1,643.6	213.3
VSC	ヴォストーチヌイ	93.8	1,234.8	637.2
ダリモルモンタージュ	ナホトカ	414.6	1,090.3	263.0
極東全港湾		67,128.3	81,840.0	121.9

強気の石炭輸出予測に対応すべく、既に複数のターミナル建設計画が具体化している。

最大手、ヴォストーチヌイ・ポルトでは拡張工事（フェーズ3ターミナル）が進んでおり、2018年秋に供用が開始される。完成すれば、同ターミナルの処理能力が2019年までに年間3,900万tへ引き上げられる。

さらに、ヴォストーチヌイ港に Summa グループが新たに年間2,000万t規模の石炭ターミナルを建設する計画がある。2019年に1,200万t規模で供用を開始するシナリオだ。また、ワニノ港でも複数のターミナル建設計画が検討されている。例えば、サハトランス等の投資で、ムチカ湾に年間2,400万t規模の新ターミナルが建設される予定である。既に政府の認可を得ており、建設期間は2019年-2021年と発表された。

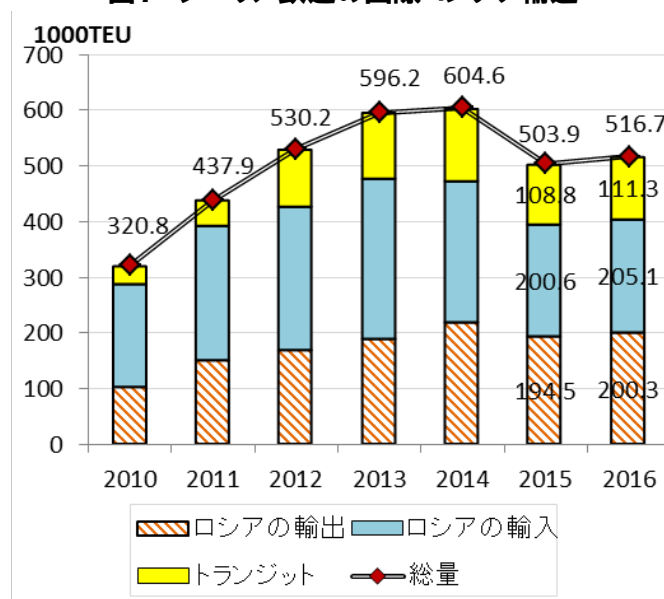
原油はヴォストーチヌィ港（コズミノ埠頭）、デカストリ港、プリゴロドノエ港から積出される。2017年の合計は前年比5.9%増となった。このうち最大のコズミノ埠頭からの輸出先は、中国（69.8%）、日本（12.3%）、韓国（7.5%）、マレーシア（5.0%）などで中国が存在感を強めている（表3）。

#### 4. シベリア鉄道のコンテナ輸送

国内の経済状態に関係なく伸び続けている燃料資源の輸出と異なり、コンテナの流動量は不安定で経済状況に敏感に反応する。ロシア鉄道の資料によると、2015年に下落した国際コンテナ輸送は2017年には下げ止まり微増となった。ロシアの輸出、輸入、トランジットのいずれも好転の兆しがうかがえる（図7）。

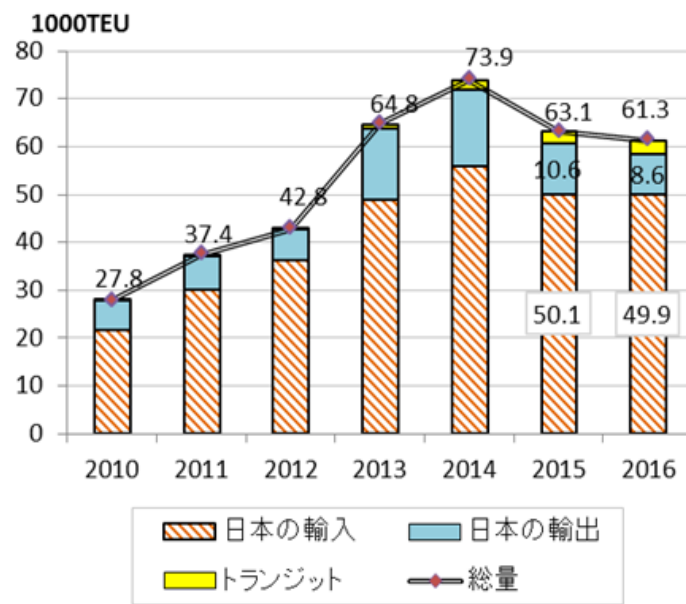
日本発着コンテナは2015年の下落の勢いは鈍ったものの2017年通年での回復は遅れている。なお、日本の輸入コンテナが輸出を大きく上回る状態が久しく続いている。輸入コンテナは非鉄金属、木材などに利用されている。

図7 シベリア鉄道の国際コンテナ輸送



しかし、ロシア向け輸出コンテナのシベリア鉄道利用は停滞が続く。ロシアにおける自動車生産の減少などコンテナを利用した輸出全体に活気が乏しい。日本からモスクワ方面向けコンテナ輸送において、シベリア鉄道経由は欧州航路に遜色ない料金となっているにもかかわらず、日本港湾出しでシベリア鉄道に搭載されるコンテナは伸び悩んでいる（図8）。ロシア向け貨物が少ない時には欧州向けトランジットを見据えた料金設定をするなど、柔軟な戦略が必要なのではないだろうか。

図8 シベリア鉄道の日本発着コンテナ輸送



(出所) 図4、5、6、表1、2、3:ロシア港湾統計  
 図1、2、3、7、8:ロシア鉄道

## IV. ロシアにおける工業団地の現状と展望

大橋 巖

### IV-1. ロシアにおける工業団地とは

本稿では、ロシア各地で創設・操業している工業団地を読者とともに探訪し、ロシアにおける工業インフラの進展状況や企業誘致のための課題などを浮き彫りにしてみたい。今回はロシアにおいてそもそも工業団地とは何なのか、ロシア全土に工業団地はどれほど存在するのか、ロシアにおける工業団地の状況を概観しよう。

#### 1. 工業団地の誕生

ロシアにおいてまともな工業団地が初めて出現したのは2005年。当時のゲルマン・グレフ連邦経済発展・商業相（現・スベルバンク総裁）が鉄鋼業の都市リペツクとタタルスタン共和国のエラブガにロシア初の「工業生産型経済特区」を開設した時である。この両特区を嚆矢として、ロシアの各地域に開発公社が設立され、両特区に構築された生産インフラをモデルにした工業団地の整備が始まった。それ以前に外国企業がロシアに工場立地する場合には、老朽化した遊休工場を自社で改装するか、原野や山林を与えられて自ら整地し電力や水道を引っ張ってきて工場を建てるか、合弁の形で現地企業が保有するインフラの上で製造工程を構築させてもらうしか方法がなかったのである。

2000年代に入ってロシア経済が回復基調に乗ると、自動車や家電などの外国メーカーがロシア国内でのノックダウン生産に取り組み始めた。現地生産を拡充するには部品の現地調達が不可欠であり、諸外国の部品メーカーが進出できる立地環境の整備がロシアにも必要になってきた。当時は日本の中堅・中小企業が円滑に工場を立ち上げられるだけの立地環境はまったくなく、それが日本からの裾野産業のロシアへの進出を妨げる要因のひとつであった。こうした問題は他国も抱えていた。たとえばイタリアの家電メーカー「メルローニ」（現「インデシット」）はソ連時代末期にノヴォリペツク冶金コンビナートに「スチノール家庭用冷蔵庫冷凍庫工場」を建設するプロジェクトに参加した縁から2000年に同工場を買収して自らの製造拠点とし、2004年には工場を拡充して洗濯機の製造も開始したのだが、この工場向けのサプライヤを誘致するためにメルローニの本社があるイタリアのマルケ州から専門家が派遣され、リペツク州の関係者とともに工業団地の構想が練られたことがリペツクにおける経済特区の創設につながったのである。

現在でもロシアにおける工場建設を前提として不動産紹介業者に用地を照会すると、何もない野原や廃墟と化した旧工場も含め、実に様々な物件が製造拠点の候補地として上がってくる。それらの多くは「工場用地」「産業地区」「技術団地」「工業団地」など様々に自称され、不確かな通訳・翻訳も相まって外国企業側の認識の混乱を招くことも少なくない。

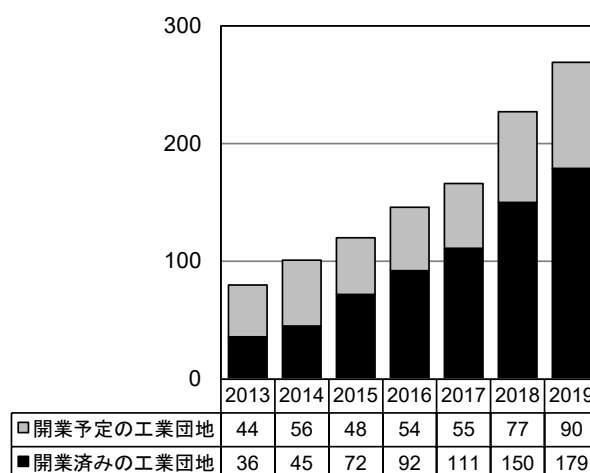
2000年代後半には工場の誘致による地域経済の活性化と雇用機会の創出、新たな不動産市場の形成に向けた工場立地環境の整備・近代化が地方における官民共通の課題になってきた。そうした状況を背景に、ロシアにおける非資源分野の製造業の振興を目指す経済団体「実業ロシア」、フォルクスワーゲンの誘致に成功し工業団地の整備と企業誘致のノウハウ構築に目覚めたカルーガ州政府、投資誘致を通じてイヴァノヴォ州の繊維産業資産の再活性化を目指すノルドテクス社などが率先し、近代的な工業団地の整備と企業誘致の活発化を目的に2010年に創設されたのがロシア工業団地協会である。

ロシア工業団地協会が最初に取り組んだのは、それまで不明確であったロシアにおける「工業団地」の定義であった。協会は工業団地の自主規格を制定し、2011年から工業団地認証制度を開始した。その後は連邦経済発展省、連邦産業・商業省との連携を強め、工業団地振興の政策の策定と円滑な施行に積極的に関与した。その結果、2014年から開始された国家プログラム「産業の発展と競争力の強化」では「工業団地の振興」がサブプログラムとして政策の柱のひとつに加えられた。同年には連邦産業政策法も制定され、政府による産業振興政策の対象としての工業団地に初めて法的根拠が付与されるとともに、その整備のための諸条件がGOST-R56301-2014として国家標準化されたのである。

## 2. ロシアに工業団地は約180か所

ロシア工業団地協会は2013年から毎年、ロシアの工業団地全体の動向を概観するとともに個々の工業団地を目録化した「ロシア工業団地年鑑」を公開している。2020年6月発表の最新刊によると、ロシアには「広い意味での工場用地」が1,208件ほど存在するが、実態として認められる工業団地は国内63地域の269件（開業している団地が179件、開業を予定している団地が90件）である。過去1年で19件の増、2013年時点で開業していた工業団地は36件であり、6年間で5倍に増えた。これら工業団地に立地する企業数は3,271社で、合計163,653人の雇用を創出している。総面積は34,035ヘクタール、入居率は61%となっている。開業している工業団地のうちグリーンフィールド（更地を整備）の工業団地が103件、ブラウンフィールド（旧工場を再利用）が76件である。2018年のデータだが、合計227件の工業団地のうち公営は83件、民営は144件である。地理的分布を見ると中央連邦管区（125件）に46%が集中し、次いで沿ヴォルガ連邦管区（59件）が多い。北西連邦管区、極東連邦管区はそれぞれ17件、9件である。

図 ロシアにおける工業団地の件数の推移 (2013~2019年)



(出所) ロシア工業団地協会「ロシア工業団地年鑑」(2020年)

2019年末時点までにロシアの工業団地全体で総額1兆2,540億ルーブルの投資が行われた(工業団地整備への投資と立地企業による投資の合計)。このうち約6割の7,230億ルーブルが外国企業による投資である。国別で見るとドイツが1,912億ルーブルと最大で、それに米国(740億ルーブル)、日本(556億ルーブル)、トルコ(550億ルーブル)が続いている。投資の受け入れではカルーガ州が他を圧倒して3,450億ルーブルとなっており、それにタタールスタン共和国(1,880億ルーブル)、リペツク州(1,737億ルーブル)、モスクワ州(1,064億ルーブル)が続く。ロシアの工業団地における外国企業の誘致件数は2,995社を数え、これら企業が58,660人の雇用を生んでいる。業種別に見ると自動車関連が全体の35%と最大で、それに食品(10%)、ゴム・プラスチック加工(9%)、木材(8%)が続く(投資ベース)。

ロシア工業団地協会では、ロシアにおける工業団地の件数は今後、300件程度までは現在のような速いペースで拡大し、その後600件に至るまでは緩慢に増えていくことになると予想している。

表 ロシアの工業団地における内外企業のプレゼンス(2019年)

	ロシア企業	外国企業
立地企業数	2,995社	316社
投資総額	5,310億ルーブル	7,230億ルーブル
雇用者数	104,993人	58,660人

(出所) ロシア工業団地協会「ロシア工業団地年鑑」(2020年)

## IV-2. グラフツェヴォ工業団地

ロシア工業団地の最初の探訪先としてカルーガ州のグラフツェヴォ工業団地を選びたい。ロシアで地方政府が主導して初めて本格的な工業団地として整備されたのがこの工業団地である。同工業団地の探訪を通じ、ロシアにおいて工業団地という新しい概念がどのように形成されたのかにも眼を向けてみたい。



### 1. 企業誘致のあり方を考え抜いた州政府

2000年代に入ってロシア経済が回復基調に乗ると、外国メーカーがロシアでの現地生産を模索し始めた。当時のロシアには日本企業が理解しているような工業団地の概念はなく、外国企業に立地先として提供されたのは大半が単なる地目上の産業用地（あるいは農地や原野）であり、地目変更も土地の造成も進出企業が自費で行うのが当然とされた。そこに道路や電気、水道、ガスなどのユーティリティーインフラを立地先の地方政府が整備してくれるかも個別交渉の結果次第であり、財政が不十分な地方では往々にして新工場の操業開始後の納税額と相殺の条件で進出企業にインフラ整備の費用が求められることも少なくなかったのである。



産業の9割が軍需関連と言われ、天然資源が賦存しないカルーガ州は、ソ連邦崩壊後の90年代には経済が最も疲弊したロシアの地方のひとつだった。2000年に就任したアナトリー・アルタモノフ知事（当時）は、州経済の再生には州外から企業を誘致するしかないと考えたが、そのための政策ノウハウは当時のロシアにはまだなかった。国外の様々な企業誘致策を調べるうちに、企業が工場建設に必要なのは単なる空間としての土地だけでなく、その土地が法的にも工場用地として確定していること、その土地に企業が必要とするすべてのユーティリティーが整備されていること、そのような土地の整備には行政の役割が重要であることが分かってきたという。カルーガ州は2006年、ロシアの地方で初めて投資誘致戦略を策定した。ドイツのフォルクスワーゲンがロシア工場の立地先選定のため11の地方の70か所の候補用地を比較検討した時にカルーガ州が最終的に残ったのはまさにこのタイミングであった。フォルクワーゲンが連邦経済発展商業省と投資協定を締結したのは2006年5月、カルーガ市グラ

フツェヴォ地区に建設された工場が稼働したのは2007年11月である。この自動車工場を中核に同地区にインフラを完備した州最初の工業団地が整備されることになった。

次に必要とされたのが、州の予算規模ではまかない切れない工業団地の整備資金の調達だった。ここで開発されたのが「カルーガ方式」と後に呼ばれる、当時前例のなかった資金調達法である。同方式をロシア初のTIFによる資金調達だとロシアの専門家は論じているが、特別用途地域が設定されていないので正確にはTIFではない。しかし、将来の州税増収を返済財源に資金調達を行う手法は当時、画期的だった。2007年にカルーガ州開発公社が設立された。政府系の対外経済活動銀行（現・VEB.RF）が同公社の株式25%を保有し、「カルーガ州工業団地のインフラ整備と自動車産業クラスターの形成」を目的として、第1期に23.9億ルーブル、第2期に32.2億ルーブルの融資枠を設定した。フォルクスワーゲンが立地した土地はグラフィツェヴォ工業団地として総合的に整備された。それは同時に、ロシアにおいて工業団地とは何かを定義するプロセスでもあったのである。

## 2. ハードだけでなくソフト面の充実も目指す

グラフィツェヴォ工業団地はモスクワから約160キロのカルーガ市郊外に位置し、モスクワとキエフを結ぶ連邦幹線道M-3からカルーガ市中心街をバイパスしてアプローチできる。ヨーロッパ側から来るとモスクワ首都圏の手前に当たる。鉄道の引き込み線もあるが、近隣のロスワ工業団地に整備された新たな鉄道コンテナターミナルの活用も可能である。中型機が離着陸できるカルーガ空港は工業団地の区画内にある。工業団地には76MWの電力、2.9万立米/時の天然ガスが供給可能であり、上下水道も完備されている。

さらに州政府が怠らなかったのがソフト面でのインフラ整備である。グラフィツェヴォ工業団地の入口には、かつて州で唯一だった国際級のビジネスホテルがある。工業団地から5キロ離れた地点に近代的な住宅地とインターナショナルスクールが整備されている。州内の16の工業団地に立地した外国企業とその従業員家族の相互交流にも積極的で、イベント開催や定期刊行物の発行が行われている。州政府は立地企業の要望を受けた現地労働力の育成に対する補助や立地企業の増加にともなう労働力確保のための州外からの移住者の住宅補助にも力を入れている。カルーガ州開発公社がインフラ整備を担当し、一元的な窓口としてカルーガ州地域開発機構が企業の進出と進出後の操業を支援している。カルーガ州の企業誘致策で特に優れていると思われる点は、知事～担当副知事～開発公社～地方開発機構～州政府モスクワ代表部からなる企業誘致体制のチームワークとネットワークの良さである。カルーガ州では企業の進出に係る部局間の連携が高度にとれている印象がある。照会した案件にはいつもかなりの早さと的確さで反応してくれる。

今回ここに書いてきた企業進出環境は、欧米やアジア諸国への進出に馴染んできた日本企業にとって特に珍しいことではないだろう。しかし、ロシアではその当たり前のことが近年まで成立しておらず、そのあり方を模索し、初めて構築したのがカルーガ州だったのである。

### グラフツェヴォ工業団地の概要

所在地	カルーガ州カルーガ市
事業主体	カルーガ州開発公社（州営）
開設年	2009年
取得認証	ロシア工業団地協会認証 GOST-R56301-2014適合
全体面積	689ヘクタール うち募集面積 21.7ヘクタール
立地企業	13社 うち外資企業の立地 12社 （フォルクスワーゲン、マグナ、ベンテラー、ゲスタン プ、福耀玻璃工業、ベルリン化学、ノボノルディスク等）
投資総額	1,286億ルーブル（2018年末）
雇用総数	7,932人（2018年）

（出所）GISIP（連邦工業商業省）・他

### IV-3. 先駆的なリペツクの工業生産特区

ロシアにおける最初の工業生産型経済特区で先駆的な工業団地でもあるリペツク経済特区（グリャジ地区）を探訪したい。現在のリペツク経済特区は最初に整備された州都リペツク市郊外のグリャジ地区と州第2の都市エレーツ市郊外のエレーツ地区の2ヶ所に分かっているが、今回はグリャジ地区の経済特区を概観しよう。



#### 1. ロシア初の工業生産型経済特区

リペツク経済特区（グリャジ地区）は中央黒土地帯に位置するリペツク州の州都リペツク市に隣接したグリャジ地区にある。高速道路として整備が進むM-4連邦幹線道をモスクワから南に400キロ進んでエレーツ市まで下り、そこから東に100キロ、計6時間の距離である。現在建設中の中国とドイツを結ぶ高速自動車道「メリディアン」が開通すれば、そのインターチェンジへはわずか20キロになる。



経済特区の正面検問所  
写真提供：OEZ-PPTリペツク株式会社

この特区の総面積は約1,025ヘクタール。2005年の開設当初は175ヘクタールであったが、2010年に345ヘクタール、2014年にさらに504ヘクタールの区域が追加された。現在、外資企業30社を含む65社が登記されている。ただし、連邦産業・商業省のGIPSデータベースによると、実際に生産活動を行っているのはこのうち15社である。なお、当特区では日本の横浜ゴムが2012年から操業している。

リペツク経済特区（グリャジ地区）はロシアを代表する工業団地であり、工業団地に関するロシアの国家標準GOST-R56301-2014への適合認証をロシア工業団地協会から取得している。同時にこの区域は2005年第116-FZ号連邦法「ロシア連邦における特別経済区域について」および2005年第782号政令「リペツク州グリャジ地区における工業生産型特別経済区域の創設について」に則って創設されたロシア初の工業生産型経済特区でもある。

第116-FZ号連邦法によって規定される経済特区には「工業生産型」「技術導入型」「観光・レクリエーション型」「港湾型」があるが、工業生産型は現在、国内に17か所ある。経

経済特区に関する政策は連邦経済発展省が所掌し、連邦政府と州政府が共同で創設した管理会社によって整備・運営される。工業生産型経済特区は機能的には工業団地とほぼ同一である。

経済特区の特徴としては、第1に創設に連邦政府から予算が支出されたため、インフラが比較的しっかりしていることだ。たとえばロシアの工業団地の域内道路は単純な6メートル幅片側1車線が多いが、この経済特区の域内幹線道路では中央分離帯と環状交差点がきちんと整備されている。

第2に経済特区は全域が総合保税地域であるため、域内はフェンスで包囲されており、貨物の移出入は検問所でチェックされる。域内への貨物の移入は輸入関税、付加価値税とも免税なので、高額な設備を導入しての製造事業には特に有利な環境と言える。

第3に経済特区に立地する企業は、予め事業・投資計画について管理会社と合意し、それを遵守する必要がある。工業生産型特区の場合、立地企業に義務づけられる最低投資額は1.2億ルーブル、うち最低4,000万ルーブルの投資を合意後1年のうちに実行しなければならない。他方、立地企業は法人税（20%→事業黒字化後5～7年間2%など）、資産税・土地税（5～10年間免税）などの減免税措置で優遇される。

第4に立地企業は入居当初は域内の工場用地を賃借するが、事業が立ち上がれば安価な公定価格で用地を買収することができる。なお、経済特区の設置期間は49年間。制度としてのリペツク経済特区は2055年まで存続し、その後は一般的な工業団地としての実態が残る。

## 2. イタリアの専門家が構想策定を支援

リペツク経済特区とリペツク市街の間にはノヴォリペツク冶金コンビナートの広大な敷地がある。イタリアの家電メーカー「メルローニ」（現・ワールドプール）が2000年、この敷地にあった冷蔵庫・洗濯機工場「スチノール」を買収した。当初のリペツク経済特区は、同工場向けサプライヤの誘致先として構想され、構想案の策定にはメルローニの本社があるイタリア・メルケ州の専門家が加わっていた。

しかし実際にはリペツク経済特区における企業集積は家電工場のサプライヤに留まらず、より多岐に及んでいる。経済特区の整ったインフラ、モスクワ首都圏との交通の便、外国企業の受け入れに慣れた管理会社の立地企業へのサポート体制、冶金コンビナートや農業地帯などからの原料確保の可能性などが外国企業に好感されたと見られ、国際色豊かな工業団地として現在も成長し続けているのである。

### リペック経済特区(グリャジ地区)の概要

所在地	リペック州グリャジ地区
事業主体	リペック工業生産型経済特区株式会社(国・州営)
開設年	2005年
取得認証	ロシア工業団地協会認証 GOST-R56301-2014適合
全体面積	1,024.52ha うち募集面積 110.9ha
立地企業	65社 うち外資企業の立地 30社 (横浜ゴム、セストルーベ、ABB、ベカルト、シュルンベルガー、ハネウエル、ケミン、ヴィースマン、力帆等)
投資総額	633億ルーブル(2018年末)
雇用総数	4,470人(2018年)

(出所) 経済特区国家管理会社・他。

#### IV-4. ブラウンフィールド型カマ工業団地「マスチェル」

今回はタタールスタン共和国のユニークな工業団地を探訪したい。モスクワから東へ約1,000キロ、同共和国東部の主要都市ナベレジヌイエ・チェルヌイにあるカマ工業団地（KIP）「マスチェル」である。



ロシアにおける工業団地の分類に「グリーンフィールド型」と「ブラ

ウンフィールド型」がある。グリーンフィールド型工業団地とは、これまでの連載で見てきたように、公営または民営である工業団地の開発者が原野や農地から工業団地を造成したものである。これに対してブラウンフィールド型工業団地とは、既存する工場や工業用地を改造して外部の企業が立地できるように団地化したものを言う。ロシアにおける工業団地のうち3分の1強がブラウンフィールド型である。ナベレジヌイエ・チェルヌイ市はロシア最大のトラック・メーカーであるカマズ社の企業城下町だが、KIPマスチェルはそのカマズ社の敷地内にあったソ連時代の遊休生産棟のうち4棟を近代的な工業インフラに改修した工業団地なのである。

#### 1. 日本製の大型プレス機が並ぶ生産棟

KIPマスチェルの創設は2004年。ロシア工業団地草分け期の先駆的な団地のひとつである。カマズ子会社のレムジーゼリ社の遊休資産を活用して中小企業による機械工業クラスターを発展させるため、カマズ社がタタールスタン共和国政府の支援を得て4.5万平米の生産棟を改修したのが始まりである。今日、工業団地の総賃貸床面積は140万平米超まで拡大し、300社近い立地企業が1万人以上を雇用する規模に発展している。工業団地の第1生産棟を訪問すると、旧ソ連ゴルバチョフ時代に納入された三菱重工業の大型プレス機がずらりと並び、現在も活用されているのが見られる。

この工業団地に立地する企業は、一定の敷地を買収して自ら工場を建てるのではなく、既存の大型生産棟の一角を賃借して製造や物流に従事する形になる。多くの立地企業はカマズ社の下請けメーカーであり、外資系サプライヤーの進出も見られ、比較的 success 裡に自動車部品産業クラスターが形成されていることが分かる。

## カマ工業団地「マスチェル」の第1生産棟 (写真) KIP「マスチェル」社



ここでは独ダイムラー・トラックが2009年からカマズとの合弁の形でトラックの組み立て生産を行っている。カマズは国営公社ロスチエフの子会社だが、ダイムラーも15%を出資している。ダイムラー系列である三菱ふそうも2009年にKIPマスチェルで小型トラック「キャンター」の組み立てを開始したが、現在ではダイムラー・トラックと統合し、法人名「DKルス」として活動を継続している。

トラック製造以外の分野では中国のハイアールが2016年に冷蔵庫の製造ラインを稼働させている。ハイアールはその後、同じカマズ社の区域内に年産50万台の新鋭洗濯機工場を増設し、2019年に製造を開始している。

## 2. 開発促進区としての優遇税制も

KIPマスチェルにおける生産棟の基本仕様は1階構造で天井高12メートル、スパン割12メートル×24メートル、最大床荷重5トン/平米である。電力、ガス、熱、上水、産業用水、下水、通信、インターネットが完備しているほか、団地内には税関と保税倉庫がある。銀行、郵便局、診療所も揃っている。団地内に鉄道の引き込み線と貨物駅を有するほか、団地があるカマズ工業地区に隣接してモスクワとウラル地域を結ぶ連邦自動車道M-7号線が走っている。中小規模の機械加工工程を、時間を掛けず立ち上げる場合に検討に値する立地条件と言えよう。なお、最寄りの空港はニジニカムスク空港で工業団地から30キロの距離にあり、モスクワとの間で1日3～4便の定期便が就航している。

さらにナブレジヌイエ・チェルヌイ市は連邦政府によって企業城下町に指定され、KIPマスチェルを含む市全域が社会経済開発促進区に設定されている。この区域内に投資する企業は一定の条件下で事業計画の承認を得ることにより、法人税、土地税、資産税および従業員に対する社会・医療・失業保険の雇用者負担金の減免措置を受けることができる。また、タタルスタン共和国政府からインフラ整備と設備投資に補助金が付与される可能性も有する。

### カマ工業団地「マスチェル」の俯瞰図



### カマ工業団地「マスチェル」の概要

所在地	タタールスタン共和国ナベレジヌイエ・チェルヌイ市
事業主体	株式会社カマ工業団地「マスチェル」(準民営)
開設年	2004年
取得認証	連邦工業商務省工業団地登記簿(登記番号2180)
	ロシア工業団地協会認証
	GOST-R56301-2014適合
	209.3ha
	うち空地面積 22.4ha
	285社
全体面積	うち外資企業の立地 31社
	(ダイムラー・トラック、マグナ、クノール・ブREMゼ、ピルキントン、レ
立地企業	オーニ、ハイアール等)
投資総額	6,885.8億ルーブル(2019年)
雇用総数	10,024人(2019年末)

(出所) GISPデータベース・他

## V. ロシアの会計制度と労務管理の実際

小川 弘美

### V-1. ロシア会計:歴史と概観

筆者は日本の株式会社およびロシアでは駐在員事務所と現地法人において経理に携わり、2012年より現職として主に日本とロシアの会計を“つなぐ”業務を担当しています。“つなぐ”という言葉に、日本の経理担当者がロシアの帳簿を見て疑問に思うことを解決し、またロシアの担当者が日本の本社に理解してもらえないと悩む会計に関する情報を適切に伝えられるよう、橋渡しの役を担うという気持ちを込めています。ロシアの会計について多くの方が感じられる疑問点などをコラム形式でご紹介していきますので、お気軽にお付き合い頂けますと嬉しく思います。

#### 1. ロシアにも会計はあるの？

答えは「ある」です。ちなみにソビエト連邦の時代にも会計は存在していました。ご存じの通り、ソ連は非常に強固な中央集権的計画経済体制を敷いていましたので、その当時の会計は個々の企業（国有）の経営・財政の状況を表すのではなく、国家計画を実現するためのものという側面が強かったようです。1980年代、ソ連の経済が危機的状況になるとペレストロイカが始まり、市場経済への移行の試みとともに会計制度も改革されるのですが、成果をみないまま、ソ連は解体されてしまいました。なお1991年にソ連財務省によって承認された「勘定計画」なるものが基になり、補正や改正を重ねて今に至るのが現在のロシアの会計と言われています。またロシア会計にも貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書といった財務諸表も定められています。

#### 2. ロシアの会計処理の原則

次にロシアの会計の原則はどのようなものかを確認しましょう。ロシアの会計処理では基礎的前提として4つ、また6つの要請が以下のように規定されています。

##### 【前提】

1. 資産の独立性
2. 活動の継続性
3. 会計方針適用の継続性
4. 経済活動の事実の時期確実性

##### 【要請】

1. 完全性
2. 適時性

3. 慎重性
4. 形式に対する内容の優位性
5. 整合性
6. 合理性

ロシア語の直訳だと意味がよく分かりませんね（笑）前提の内容としては「企業実態の公準」、「継続企業の公準」、「継続性の原則」、「発生主義」となり、要請は「正規の簿記の原則」、「保守主義の原則」、「単一性の原則」などに該当するかと考えられます。

また1990年代後半に政府によって「国際会計基準への会計改革プログラム」が採択されて以来、IFRSとのコンバージェンスに向けた改革が続いています。こう見ると日本の会計ともさして変わりはなく、考え方の根本は同じであることが分かります。しかし実際にはなかなか理解が難しく、どうにも分かりあえない場面に遭遇するのはどうしてなのでしょう。

### 3. ロシアの会計の特徴は？

私たちにとって会計とは、外部の利害関係者への報告や企業内部の管理のために企業の経営・財政状態を正しく把握することを目的として作成されるものと考えられています。対してロシアの会計はソ連時代の名残の影響か、国への報告という要素が強いです。つまり、ロシアにおける会計とは「国に納める税金を計算するために作成」することが最重要課題であり、財務報告は二の次といったところです。そのため、費用などを細かく勘定科目によって記帳し、管理するのではなく、前出の勘定計画に沿って“損金算入するのか、しないのか（税金の計算に含めるか否か）”という趣旨のもと、税金計算の目的において正しいタイミングで作成されます。日本の経理担当者たちがロシアの財務諸表に初めて触れた時、「これでは経営・財務状態が全く分からない！」と嘆いたり、現地の担当者に月次決算報告を拒否されて驚いたり。ロシア会計に対する不信感が生まれてしまう原因はこのあたりにあります。でもご安心下さい。ロシアの会計を知ることで解決の糸口を見つけることができます。

**表1 ロシア会計の基本的な帳簿**

ООО "会社名"

Оборотно-сальдовая ведомость за "期間"

Счет	Сальдо на начало периода 期首		Обороты за период 期中		Сальдо на конец периода 期末	
	Дебет 借方	Кредит 貸方	Дебет 借方	Кредит 貸方	Дебет 借方	Кредит 貸方
01	3,000,000.00		255,000.00		3,255,000.00	
02		500,000.00		600,000.00		1,100,000.00
09			22,000.00	22,000.00		
10	920.00		150,000.00	100,000.00	50,920.00	
19			730,000.00	730,000.00		
26			19,000,000.00	19,000,000.00		
41			5,000.00		5,000.00	
50			909,526.53	904,026.83	5,499.70	
51	2,000,000.00		25,000,000.00	21,000,000.00	6,000,000.00	
52			4,400,000.00	500,000.00	3,900,000.00	
57			3,300,000.00	3,300,000.00		
60		2,500,000.00	9,000,000.00	5,000,000.00	1,500,000.00	
62	4,100,000.00		3,300,000.00	3,500,000.00	3,900,000.00	
68		44,896.00	6,262,648.12	6,372,425.12		154,673.00
69			960,000.00	960,000.00		
70			8,556,333.00	8,556,335.00		2.00
71			1,696,182.00	1,778,670.00		82,488.00
76	770,000.00		8,400,000.00	8,770,000.00	400,000.00	
80		10,000,000.00				10,000,000.00
84		180,000.00				180,000.00
90			36,000,000.00	36,000,000.00		
91			4,500,000.00	4,500,000.00		
97	(略)					
98						
99						
Итого						

**(1) 勘定科目は番号制！**

まず最初に財務諸表の基礎となるロシアの会計帳簿とは一体どのようなものかを少し具体的にみていきましょう。表1をご覧ください。これがロシアで会計担当者に会計書類の送付を依頼した際に提出される（であろう）帳簿「Оборотно-сальдовая ведомость」、通称「オーセーバー（OCB）」と呼ばれるロシア会計の基本的な帳簿です。直訳すると「売上・残高表」で、その名の通り、期中の収益と費用（損益計算書の情報）、期首・期末の残高（貸借対照表の情報）を表した表となっています。簿記を学んだ方ですと、「これは試算表みたいだぞ」と感じられると思います。基本的な見方はその通りで、ロシア会計帳簿理解への第1関門通過です。そして第2関門、「勘定科目がなくて、数字じゃないか！」となります。はい、これが1991年にソ連政府下で承認された「勘定計画（план счетов）」です。国が定めた勘定計画に沿って各法人が帳簿を作成するなんて、この国による管理の統一感はずがに半端ないと感動すら覚えます。一方、ロシアの市場経済が発展してくると色々と不具合も生じてきたため、2000年に勘定計画の大きな改正が行われ、勘定番号数の減少、それぞれの必要性に応じた自主的な補助勘定の設定などが可能になったのが現行の勘定計画で、銀行や政府系の金融機関を除くすべての法人が勘定計画に従い、複式簿記で帳簿を作成することになり

ます。この勘定計画では番号といわゆる勘定科目名とが対応しています。ここでは分かりやすいものをいくつかご紹介します。

( ) 内は補足情報

#### 【貸借対照表科目】

01：固定資産

02：固定資産の減価償却

50：現金（いわゆる小口現金）

#### 【損益計算書科目】

26：一般経営費（一般管理費）

90：販売（売上関連）

91：その他の収益と費用（営業外収益費用）

なかには08の「流動外資産への投資」といった馴染みのない、ロシア語独特の勘定科目名もあり、01の固定資産とどう違うのか一瞬面くらってしまいますが、調べてみると「将来に固定資産、無形資産、土地区画などとして計上する客体への支出に関する情報」ですので、建設仮勘定が妥当かなとあたりをつけていくことで第2関門も突破可能です。

## (2) ロシア会計最大の難関は？

私の個人的な見解で恐縮ですが、ロシアの会計を日本のそれと合わせていく作業で最も難しいのは決算処理のタイミングに対する意識の違いではないかと思っています。これが第3かつ最大の関門となります。

繰り返して恐縮ですが、ロシアの会計の最重要課題は税金の計算です。税金は基本的に四半期毎の申告・納付ですから、決算はそれに合わせて四半期ごとに行えばよいとなります。そのためロシアの多くの会計担当者にとって月次の決算は不要という意識が根底にあるようです。

他にもロシア特有の文書主義の問題が存在します。ロシアで売り買いをすると、インボイス、VATインボイスやアクトなど数多くの書類が発行されることを経験された方は多いと存じます。インボイスは支払いを行うための書類ですが、VATインボイスとアクト（サービス提供完了を表す書類）は税務・会計上の必要不可欠な書類で、特にアクトは売手によって2部作成され、買手からの署名・捺印があって初めて会計処理が可能となります。決算期になると取引先の経理担当者から「早くアクトに署名、捺印して返送して下さい」と催促がくるのはこの時期の風物詩です。月末にアクトを発行して相手方に郵送、署名・捺印されたアクトが返送されるのを待っているとスピーディな決算は難しく、一方、アクトなしに会計処理を実行するのは税務的には不正というジレンマに陥ります。

第3関門の突破方法については各社の状況により夫々です。この辺りの詳細は筆者までお問合せ頂ければ幸いです。

## V-2. ロシア会計:財務諸表

ロシア会計の歴史と概要、日本の会計帳簿への組み換えの難しさ等についてお話ししました。今回はロシアの財務諸表がテーマです。学問的というより実務に役立つ観点でご紹介していきますので、お付き合い頂けると幸いです。

### 1. ポイント:ロシアの財務諸表

いきなり本題から入ってしまいますが、ロシアの財務諸表における最大のポイントは「様式が統一」されていることではないかと考えております。貸借対照表、損益計算書をはじめ、その他附属資料にいたるまで全て様式が国（法令）によって定められており、どの組織の財務諸表もロシア・バレエ団の群舞のように一糸乱れぬ形であることに流石ロシアと驚きます。またこれは、「会計は国が管理すべき」という基本姿勢であり、ロシアが国家資本主義と言われる所以でもあります。一方、様式を組織自ら設定しなくてもよいというのは一見したところ楽で便利のように思われます。しかし財政状態や経営状況を把握したい場合にはあまり向いておらず、日本の経理の皆様が多くがここで苦労されるようです。

ちなみに会計年度も国によって同一の期間に定められていますので、ロシアの会計担当者たちは業種・会社を問わず同じく、12月31日で年度が終わり、3月末の法人税申告期限までが年次決算で最も忙しい時期となります。また法定監査は2月に実施されるケースが多いので、監査人も大忙し。この時期は経理関連部門の人達に新規業務を依頼すると通常よりも時間がかかる、あるいは会計関係の仕事に携わっている人たちの付き合いが悪くなるといった傾向がありますのでご注意ください。

### 2. 財務諸表の誕生

では最初に、どのように現在の財務諸表が出来ていったのかを歴史的に見ていきましょう。

当初、ロシアの財務諸表の構成とその様式はソ連から体制が転換した後の会計改革のため頻繁に変更され、ロシア財務省は毎年決算直前にその構成と様式を公表するという状況が続いていました。この“頻繁に変更”や“直前に発表”というワードにロシアを知る皆様は思わずニヤリ（またかと苦笑い?!）とされているかもしれませんね。ともあれ当時の会計担当者たちのご苦労は察するに余りあります。

1996年2月8日付PBU4/96と1999年7月6日付PBU4/99「“企業の会計報告”の会計に関する規則」が出たことにより、財務諸表の構成と様式がほぼ定着し、それまでのカオスのような状況から脱することになります。

なお、“企業の会計報告”はロシア語の«бухгалтерская отчетность организации»からの直訳で、意味は“企業の財務諸表”。このあたりからもロシアの会計は財務状況に関するデータではなく、税金を計算するための会計報告書という意識がにじみ出ているような気がします。

### 3. 財務諸表の構成他

次に1996年7月6日付PBU4/99の具体的な内容についてです。ここでは財務諸表について以下のような事項が規定されています。

#### ■財務諸表の構成

1. 貸借対照表
2. 損益計算書
3. これら（貸借対照表と損益計算書）の附属書および説明書
4. 監査報告書

3は附属明細書と注記というイメージでご理解頂くと分かりやすいかと思います。

4の監査報告書は法定監査を受ける義務のある組織の場合となります。

■会計年度：1月1日～12月31日...新しく設立された組織の最初の会計年度は国家登記された日から当該年度の12月31日まで、10月1日以降の設立の場合は翌年の12月31日までとなります。

#### ■言語...ロシア語

#### ■貨幣単位：ロシア連邦の貨幣単位

### 4. 財務諸表のその後～その時ロシア会計は動いた？～

その後、いくたびの変更・補訂を経て現在に至っていますが、その中でも国際会計基準（IFRS）がより強く意識された2003年7月22日付ロシア連邦財務省指示書N67n「企業の会計報告（財務諸表）の様式について」はロシアの財務諸表の歴史の中でも重要な意味を持っているのではないかと考えています。

#### ■2003年7月22日付指示書による財務諸表の構成と様式

1. 貸借対照表（様式No.1）
2. 損益計算書（様式No.2）
3. 資本変化報告書（様式No.3）
4. キャッシュ・フロー計算書（様式No.4）
5. 貸借対照表附属書（様式No.5）
6. 資金の使用目的報告書（様式No.6）

3はいわゆる株主資本等変動計算書、5には固定資産等明細書や債権債務に関する明細書などが含まれ、IFRSの特徴である資産負債アプローチをとるBS重視の影響が色濃く反映されています。6については非営利組織に適用される報告書です。

国際会計基準審議会（IASB）と米国税務会計基準審議会（FASB）が相互に会計基準のコンバージェンスを目指すこととなったノーウォーク合意が2002年ですから、IFRSの全世界的な広がりと比較して、たとえ形式的であったとしてもロシアの対応は早いですね。

色々と小難しいことを書いてしまいましたが、ロシアの会計は世界の動きと連動して日々

進化していること、その書類の様式は何か変更があっても常に国によって統一化される、つまり、一度財務諸表や帳簿の読み取りのコツをつかんでしまえばロシアのどの企業の会計データでも解読可能になる（かもしれない）ことにぜひ注目頂き、何をやっているのか分からず理解不能と思われていた方にもロシアの会計を身近に感じるきっかけになればいいと思います。

## 5. 法定監査について

PBU4/99では含まれていた監査報告書ですが、その後、財務諸表の構成から姿を消しています。とはいえ法定監査が不要になった訳ではないため、2008年12月30日付連邦法N307-FZ「監査について」（2020年4月1日改訂）に記された監査が義務付けられている主な事業体について下記の通り補足いたします。

- 株式会社
- 信用関連機関、保険関連機関、証券関連機関、機関、投資ファンド他
- 年度収入が4億ルーブルを超える、または前年度の貸借対照表上の資産価値が6,000万ルーブルを超える会社

## 6. ロシアの会計システム1C (アジンエス)

1Cとはロシア国内シェアが30%以上（2017年度ERPシステム導入に関するTAdviserの調査による）、中小企業への導入ではほぼ独占状態と言われている会計システムです。すでにお気付きかもしれませんが、ロシアでは財務諸表に限らず、その他の会計帳簿、社内用経理書類や給与計算書といった人事労務関連にいたるまで、すべての書類の様式が国によって定められています。1Cというシステムのすごいところは、国によって規定された各種会計報告書を法令に準拠し、また法令変更にも対応した方法で作成が可能なことです。そのため、経理担当者は1Cをどこまで使いこなせるのかが腕の見せ所になっています。

なお、1Cは社名でもあり、同社は業務用および家庭用コンピュータプログラムの開発等のサービスを提供する会社として1991年に設立されました。社名の由来には、「情報を得るのに1秒（1 Секунд）かからない」や「1等級（1 ый Сорт）、1番の会社（1st Company）」などの説があります。

### V-3. ロシア会計:損益計算書

これまでロシア会計や財務諸表の概要といった全体像についてお話いたしました。今回は財務諸表のひとつである損益計算書をテーマに、より具体的・実践的な内容をご紹介しますと思います。

損益計算書は、「収益から費用を差し引いた金額を利益として表示する報告書であり、一定期間における経営成績を明らかにする。収益は、企業の経済活動の成果であり、費用は、成果を得るための努力をいう。」などと定義される、非常に重要な情報を持つ会計報告書類です。そのため、日本側（本社）としてもロシアにある拠点の損益計算書はとても気になるところです。

#### 1. ロシアの損益計算書をめぐる悲喜劇

このコラムで何度かお伝えしてきましたが、ロシアの損益計算書などの会計書類は国によって様式が統一されているため、会社の規模や業種に関わらず同じ様式となります。ご説明が1パターンで済むので、私としては有難いところです（笑）。

では、実際に損益計算書（表1）を見ていきましょう。「考えていたよりもきちんとしていないじゃないか」とか「なんだかすごくスッキリしているな」と感じられる方が多いと思いますが、実はこのあたりが肝であり、日本（本社経理部）とロシアの拠点の経理担当者との損益計算書に関するやりとりはこんな感じになります。

～ある日～

ロシア：ロシアの損益計算書を送ります。

日本：ありがとうございます。心配していましたが、ロシアでもきちんとした損益計算書があるんですね。

～10分後～

日本：あの、これではよく分かりません。これではない損益計算書を送って下さい。

ロシア：法律で定められていますので、損益計算書はこれだけです。

日本：えっ、そうなのですか。じゃあ、内容が分かる会計データをお願いします。

ロシア：OSV（表2）※を送ります。

日本：すみません。もっと分からなくなりました。ロシアの会計は一体どうなっているのですか???

ロシア：数字も正しいし、何が問題なのですか？

このような会話が延々と続いてしまう事態が、意外と頻繁に起きているようです。この状況から脱するための鍵は、ロシアの損益計算書の数字がどこからきているのかを知ることにあります。

※OSV：ロシア語の表記はOCB（直訳は「売上・残高表」）。詳細については同コラム「ロ

シア会計：歴史と概観」を参照下さい。

## 2. 損益計算書の全体像

まずはロシアの損益計算書について全体像をご説明します。

### 【比較損益計算書】

前年度との比較損益計算書の形をとっています。例えば2020年1月～9月の期間の損益計算書では2019年1月～9月が表示され、前年の同期間と比べることができます。

### 【特別損益】

ロシア会計ではIFRSと同様、操作性が高いとされる特別損益に関する項目がありません。“想定外”のことも経常損益計算に入るということで、経営者の業績に対する責任やプレッシャーが高まることとなります。ちなみにロシアでは日常茶飯事並みに想定外のことが起きるので、それに関する収益や費用を経常損益に計上するのはアリだな、と個人的には納得しています。

### (1) 売上・残高表との関係

- 売上・売上原価：勘定科目番号90
- 販売費：勘定科目番号44
- 管理費：勘定科目番号26
- その他営業外収益・費用：勘定科目番号91
- 当期純利益：勘定科目番号99

ロシアでは勘定科目が番号制なので最初は大変ですが、何度も繰り返すと自然に慣れてきます。

### (2) 勘定科目番号枝番

更に勘定科目番号には枝番があり、損益計算書に関するものは以下の通りです。

- 90.01：売上高（VATを含む）
- 90.02：売上原価
- 90.03：売上VAT（Output VAT）
- 91.01：営業外収益
- 91.02：営業外費用

損益計算書の売上高は90.01から90.03を減じたVAT抜きの金額、売上原価には90.02の金額が表示されます。

損益計算書の受取利息とその他収益を合計した金額が91.01、支払利息とその他費用の合計額が91.02となります。

### 3. 勘定科目番号の内訳を知るには？

ここからは、各勘定科目番号の内容に迫りたいと思います。

前出のOSVという会計帳簿は表2のように全勘定科目番号の動きを表したのですが、会計システムから勘定科目ごとのOSVを出力することも可能です。勘定科目番号26のOSV（表3）はこんな具合です。勘定科目名ではなく、支出項目で入力されていることが分かります。はい、これでやっと何にいくら支出しているのかを示す会計データにたどり着くことができました。損益計算書の内容が分かるものと言われたら、該当する勘定科目番号のOSVを確認すればよいということですね。

### 4. よくある質問

ロシアの損益計算書とその数字の根拠となる会計データの見方の基本がお分かり頂けたと思います。しかし残念ながらこれで全てが解決とはいかず、色々と問題や質問も生じてきます。

#### 【よくある質問と回答】

Q1：管理費（勘定科目番号26）において支出の項目が少なく、その他雑費の金額が大きい。

A1：ロシアの会計担当者は、税金の計算さえ間違っていなければ、支出の内容を細かく分けて管理するという意識が低い傾向にあり、何でもかんでも“その他雑費”としてしまうこととなります。会社として管理したい支出項目があれば事前に会計担当者に伝えておくことが必要です。

Q2：金融機関の振込手数料（支払手数料）が営業外費用（勘定科目番号91.02）に入っている。

A2：ロシア会計では金融機関のサービス手数料は営業外費用となりますので、ロシア会計のデータを変更することはできません。本社（日本）の損益計算書の表示場所と異なる場合は連結などの際に日本側で調整することになります。

Q3：損益計算書の管理費と勘定科目番号26の金額が一致しない。

A3：あり得ます。会計担当者に理由を確認し、当期純利益（勘定科目番号99）との整合性をチェックすることで解決するケースが多いです。

Q4：営業外費用（勘定科目番号91.02）に「税金の計算に考慮されない費用」という支出項目がある。

A4：会計は税金計算のためにある、いかにもロシアっぽい支出項目ですね。内容としては損金不算入の費用が計上されていますので、内訳を会計担当者に確認し、必要であれば日本側で適当な勘定科目に変更することになります。

他にも繰延税金資産・負債が絡んでくる会計処理に関する問題点なども頻繁に発生するのですが、個別的な分析が必要かつ少しテクニカルな問題のため、ここでは割愛させていただきます。

## 表1 損益計算書

за Январь - Июнь 2020 г. 2020年1月～6月

Наименование показателя	Код код	За Январь - Июнь 2020 г. 2020年1月～6月	За Январь - Июнь 2019 г. 2019年1月～6月
Выручка 売上高	2110	205,000,000	200,000,000
Себестоимость продаж 売上原価	2120	(82,000,000)	(80,000,000)
Валовая прибыль (убыток) 売上総利益	2100	123,000,000	120,000,000
Коммерческие расходы 販売費	2210	(15,000)	(10,000)
Управленческие расходы 管理費	2220	(4,051,000)	(4,000,000)
Прибыль (убыток) от продаж 営業利益	2200	118,934,000	115,990,000
Доходы от участия в других организациях 受取配当金	2310	0	0
Проценты к получению 受取利息	2320	1,000,000	0
Проценты к уплате 支払利息	2330	(500,000)	0
Прочие доходы その他営業外収益	2340	10,000,000	8,000,000
Прочие расходы その他営業外費用	2350	(7,000,000)	(5,000,000)
Прибыль (убыток) до налогообложения 税引前当期純利益	2300	122,434,000	118,990,000
Налог на прибыль 法人税等	2410	(25,003,000)	(24,000,000)
в том числе: 含む			
текущий налог на прибыль 当期法人税	2411	(25,000,000)	(24,000,000)
отложенный налог на прибыль 繰延税金資産・負債	2412	(3,000)	0
Прочее その他	2460	0	0
в том числе: 含む			
Чистая прибыль (убыток) 当期純利益	2400	97,431,000	94,990,000

## 表2 全体OSV

Оборотно-сальдовая ведомость за “期間”

Счет	Сальдо на начало периода 期首		Обороты за период 期中		Сальдо на конец периода 期末	
	Дебет 借方	Кредит 貸方	Дебет 借方	Кредит 貸方	Дебет 借方	Кредит 貸方
	(略)					
26			4,051,000.00	4,051,000.00		
44			15,000.00	15,000.00		
	(略)					
90	(略)					
90.01				246,000,000.00		246,000,000.00
90.02			82,000,000.00		82,000,000.00	
90.03			41,000,000.00		41,000,000.00	
	(略)					
91	(略)					
90.01				11,000,000.00		11,000,000.00
90.02			7,500,000.00		7,500,000.00	
	(略)					
99						97,431,000.00

【注意】会計帳簿のクローズの状況により数値が表示される場所(期中・期末、借方・貸方)が異なりますこと、ご注意ください。

### 表3 管理費OSV

Оборотно-сальдовая ведомость по счету 26 за “期間”

Счет	Сальдо на начало периода 期首		Обороты за период 期中		Сальдо на конец периода 期末	
	Дебет	Кредит	Дебет	Кредит	Дебет	Кредит
<b>Статьи затрат 支出項目</b>						
<b>26</b>			<b>4,051,000.00</b>	<b>4,051,000.00</b>		
Амортизация 減価償却費			75,000.00	75,000.00		
Аренда 賃借料			520,000.00	520,000.00		
Командировочные расходы 出張費用			975,000.00	975,000.00		
Материалы マテリアル費用			80,000.00	80,000.00		
Оплата труда 給与			900,000.00	900,000.00		
Представительские расходы 交際接待費			150,000.00	150,000.00		
Прочие расходы その他雑費			500,000.00	500,000.00		
Расходы на автотранспорт 車両関係費			495,000.00	495,000.00		
Страховые взносы 社会保険			150,000.00	150,000.00		
Услуги связи 通信費			206,000.00	206,000.00		
<b>Итого 合計</b>			<b>4,051,000.00</b>	<b>4,051,000.00</b>		

## V-4. ロシア会計:貸借対照表

貸借対照表は、「企業の財政状態を明らかにするため、貸借対照日におけるすべての資産、負債及び資本を記載し、株主、債権者その他の利害関係者にこれを正しく表示するものでなければならない。」と定義される、これまた非常に重要な情報を持つ会計報告書類です。

今回はこの貸借対照表がロシア会計においてどのような形になっているのか、実務の視点からご紹介したいと思います。

### 1. 貸借対照表はラスボス的存在

いきなり脅かすようなタイトルですが、実はロシアの財務諸表の中で最も手ごわいのが貸借対照表です。では一体何がどうなっているのでしょうか。表1をご覧ください。

～ある日露の経理会議～

ロシア：これがロシア拠点の年度末時点の貸借対照表です。

日本：ええっと、固定と流動の順序が逆のようです。修正してもらえますか？

ロシア：法律で定められた様式ですので、修正できません。

日本：また法定様式ですか。仕方ないですね。ところで貸借対照表の項目（勘定科目）が非常に少ないのが気になるのですが、売掛金と買掛金はいくらになりますか？

ロシア：それならOSV（表2、直訳は「売上・残高表」）で確認してください。

日本：これで分かる訳ないじゃないですか（涙）

このように、日本の経理担当者は最初に「なぜ固定資産が上にあるの？」と違和感を覚え、売掛金や買掛金といった商売の管理上重要な科目が見当たらないことに不安を感じ、勘定科目が番号制のため文字のないOSVと見比べてパニックに陥るといったケースが多いようです。

### 2. ロシアの貸借対照表の特徴

#### 【固定性配列法】

日本の企業会計原則では、原則として、貸借対照表項目の流動性の高いものから順に配列（資産については流動資産、固定資産の順、負債については流動負債、固定負債の順、そして負債に続いて資本を配列）する流動性配列法によるものとする、と定められています。一方、ロシアの貸借対照表は、その逆に流動性の低いものから順に配列する固定性配列法です。この方法は、企業の長期的な資金運用の形態である固定資産、長期的な資金調達源泉である資本および固定負債との関係を明らかにするのに便利ということで、民間ですと電力やガスなどのインフラ系の企業その他、資産の多くが行政財産・負債の多くは地方債という地方公共団体（地方公会計）の貸借対照表において採用されています。ロシアでは慣習に従って固定性配列法で配置と言われていますが、どのような“慣習”が固定性配列法の採用に繋がったのか、興味のあるところです。もし具体的にご存じの方がいらっしゃいましたら、筆者までご

一報頂けると大変嬉しく思います。

#### 【比較貸借対照表】

当年・前年・前前年度末との3期分の比較貸借対照表の形式をとっています。

### 3. OSVとの関係

では、OSVの数字がどのように貸借対照表に反映されているのかを、いくつかの項目で主な勘定科目番号を確認します。

#### 【固定資産】

- 勘定科目番号01（固定資産）から02（同減価償却の累計額）を差し引いた金額
- 勘定科目番号08（流動外資産への投資）

#### 【棚卸資産】

勘定科目番号 10（材料）

#### 【現金および現金同等物】

- 勘定科目番号50（現金）
- 勘定科目番号51（決済勘定）
- 勘定科目番号52（外貨勘定）
- 勘定科目番号57（途中の為替）

※決済勘定はルーブル預金、外貨勘定は外貨預金となります。

#### 【法定資本金】

- 勘定科目番号80（定款資本）

#### 【繰越利益剰余金】

- 勘定科目番号84（未配分利益（未補償損失））

※日本の勘定科目的にいうと繰越利益剰余金にあたります。

#### 【評価性義務】

- 勘定科目番号96（今後の費用の引当金）

### 4. 債権・債務はブラックボックス？！

100近い勘定科目番号（枝番を入れるともっと）の多くが貸借対照表関連であり、そのほとんどが債権・債務という項目に含まれます。この中に日本の会計的には売掛金や買掛金として分類すべきものも入っていますので、詳細な分析・確認が必要な重要項目といったところ です。

一般的に、流動資産の部の債権には「得意先と注文者に対するもの一報告日後12ヶ月以内 またそれ以上を経て回収されるもの」などが、一方、短期負債の部の債務には「仕入先と請負者に対するもの」や「租税と課税に対するもの」などが含まれるとされていることが多いです。これを読まれた皆さまは「どういうこと？売掛金とか前払費用とかないの??？」

と一瞬目が点になってしまったことかと思います。しかし、ここで何故と悩まず、また理由を深く追求するのは学問の世界にお任せするとして、実務ではざっくりと「まあ色んなものが全部入っているところね」とイメージ頂ければ十分です。

では、どんな勘定科目番号が入ってくるのか、主なものを取り上げましたので具体的に見ていきましょう。

#### 【債権】 【債務】

- ・ 勘定科目番号60（仕入先と請負業者との決済）
- ・ 勘定科目番号62（得意先と注文者との決済）
- ・ 勘定科目番号68（租税と課税の決済）
- ・ 勘定科目番号69（社会保険・社会保障との決済）
- ・ 勘定科目番号71（前払金支払報告義務者との決済）

※仮払精算のような勘定科目です。

- ・ 勘定科目番号76（各種の債権者と債務者との決済）

なんと債権と債務には基本的に同じ勘定科目番号が該当し、それぞれの残高が借方（債権）あるいは貸方（債務）かによって表示場所が変わってくるという、日本の会計に慣れた人にとっては初めて体験するであろう、なんとも恐ろしいブラックボックスのような項目です。しかし心配はご無用。この債権・債務の残高内訳は会計システムから簡単に抽出が可能です。あとは勘定科目番号ごとの更なる内訳については前回の損益計算書と同じく、該当する勘定科目番号のOSVを確認すれば大丈夫です。なお、勘定科目番号60、62あたりに売掛金や買掛金、前払・未払費用などが隠れているケースが多いようです。

## 5. よくある質問

前回の損益計算書で好評頂きましたQ&Aコーナー、今回は貸借対照表編です。

#### 【よくある質問と回答】

Q1：勘定科目番号57の「途中の為替」とは何ですか？

A1：確かにロシア語（переводы в пути）の直訳だと意味不明ですね。意識すると送金振替、完了していない為替取引で、未達預金の状態といったところです。

Q2：借入金の未払利息はどこに表示されていますか？

A2：勘定科目番号66（長期借入金の場合は勘定科目番号67）に含まれています。枝番を確認すると借入金本体の金額と未払利息の金額が分かります。

Q3：どうしても勘定科目番号60が理解できず困っています。

A3：お察しいたします。ロシア会計勘定科目のうち最も難解と思われるのが勘定科目番号60です。ここには売掛金、前払費用、仮払金、買掛金、未払金、未払法人税等の色々な勘定科目が含まれます。残念ながら理解に近道はなく、勘定科目を枝番ごとに分け、さらに相手ご

とや契約ごとに分けて確認し、該当する勘定科目にひとつひとつ振り替えていくという、時間と根気を要する作業を行うこととなります。また商売や取引の性質、会計システムに入力する経理担当者の見解なども影響してきますのでご注意ください。

**表1** Бухгалтерский баланс 貸借対照表

на 31 декабря 2020г. 2020年12月31日付

Наименование показателя 勘定科目	Код コード	На 31 декабря 2020 г. 2020年12月31日	На 31 декабря 2019 г. 2019年12月31日	На 31 декабря 2018 г. 2018年12月31日
АКТИВ 借方				
I. ВНЕОБОРОТНЫЕ АКТИВЫ 流動外資産				
Нематериальные активы 無形資産	1110	0	0	0
Результаты исследований и разработок 研究開発費	1120	0	0	0
Нематериальные поисковые активы 地質調査資産(無形)	1130	0	0	0
Материальные поисковые активы 地質調査資産(有形)	1140	0	0	0
Основные средства 固定資産	1150	1,030,000	1,000,000	0
Доходные вложения в материальные ценности 物財への収益的投資	1160	0	0	0
Финансовые вложения 長期財務投資	1170	0	0	0
Отложенные налоговые активы 繰延税金資産	1180	0	0	0
Прочие внеоборотные активы その他流動外資産	1190	0	0	0
Итого по разделу I 合計	1100	1,030,000	1,000,000	0
II. ОБОРОТНЫЕ АКТИВЫ 流動資産				
Запасы 在庫	1210	4,000	5,000	0
Налог на добавленную стоимость по приобретенным ценностям 取得財の付加価値税	1220	0	0	0
Дебиторская задолженность 債権	1230	280,000	250,000	0
Финансовые вложения (за исключением денежных эквивалентов) 金融資産(現金同等物を除く)	1240	0	0	0
Денежные средства и денежные эквиваленты 現金及び現金同等物	1250	6,502,500	7,001,000	0
Прочие оборотные активы その他流動資産	1260	0	0	0
Итого по разделу II 合計	1200	6,786,500	7,256,000	0
БАЛАНС 残高	1600	7,816,500	8,256,000	0

Наименование показателя 勘定科目	Код コード	На 31 декабря 2020 г. 2020年12月31日	На 31 декабря 2019 г. 2019年12月31日	На 31 декабря 2018 г. 2018年12月31日
<b>ПАССИВ 貸方</b>				
<b>III. КАПИТАЛ И РЕЗЕРВЫ 資本及び準備金</b>				
Уставный капитал 定款資本	1310	3,500,000	3,500,000	0
Собственные акции, выкупленные у акционеров 自己株式	1320	0	0	0
Переоценка внеоборотных активов 固定資産の再評価	1340	0	0	0
Добавочный капитал 追加資本	1350	0	0	0
Резервный капитал 準備資本	1360	0	0	0
Нераспределенная прибыль (непокрытый убыток) 未配分利益(未補填損失)	1370	3,150,000	2,850,000	0
Итого по разделу III 合計	1300	6,650,000	6,350,000	0
<b>IV. ДОЛГОСРОЧНЫЕ ОБЯЗАТЕЛЬСТВА 長期負債</b>				
Заемные средства 長期借入金	1410	0	0	0
Отложенные налоговые обязательства 繰延税金負債	1420	0	0	0
Оценочные обязательства 長期見積負債	1430	0	0	0
Прочие обязательства その他長期負債	1450	0	0	0
Итого по разделу IV 合計	1400	0	0	0
<b>V. КРАТКОСРОЧНЫЕ ОБЯЗАТЕЛЬСТВА 短期負債</b>				
Заемные средства 借入金	1510	800,000	1,250,000	0
Кредиторская задолженность 債務	1520	359,500	652,000	0
Доходы будущих периодов 時期以降の収益	1530	0	0	0
Оценочные обязательства 評価性義務	1540	7,000	4,000	0
Прочие обязательства その他短期負債	1550	0	0	0
Итого по разделу V 合計	1500	1,166,500	1,906,000	0
БАЛАНС 残高	1700	7,816,500	8,256,000	0

表2 Оборотно-сальдовая ведомость за "期間"

Счет	Сальдо на начало периода 期首		Обороты за период 期中		Сальдо на конец периода 期末	
	Дебет 借方	Кредит 貸方	Дебет 借方	Кредит 貸方	Дебет 借方	Кредит 貸方
01	3,000,000		70,000		3,070,000	
02		2,000,000		50,000		2,050,000
08			80,000	70,000	10,000	
(略)						
10	5,000		3,000	4,000	4,000	
50	1,000		2,000	2,500	500	
51	6,000,000		8,000,000	9,000,000	5,000,000	
52	1,000,000		2,000,000	1,500,000	1,500,000	
57			5,000	3,000	2,000	
(略)						
66		1,250,000	450,000		800,000	
(略)						
80		3,500,000				3,500,000
(略)						
84		2,850,000		300,000		3,150,000
96		4,000	10,000	13,000		7,000
(略)						

4回にわたりロシア会計の概要から財務諸表についてお話ししてまいりました。難解・意味不明と言われるロシア会計ですが、コラムを通して、根本にある原則は日本と変わらない馴染みのあるものをご理解頂けたのではないのでしょうか。表記の方法がいまいち不親切（このあたりはいかにもロシア的?!）などところはあるのは事実でご苦勞も多いと存じます。他方、どこの数字を見るのかを理解することで、ひとつひとつパズルのピースを合わせていくように解明が可能です。皆さまもロシアの会計に不信感を抱いたり、恐れることなく、ロシア・ビジネスと同様、前向きにお付き合い頂ければと思います。

## VI. 現代ロシアの社会経済の新潮流

徳永 あすか

### VI-1. 人気YouTubeチャンネルから見るロシア世相

新型コロナがロシア中で猛威をふるう中、私の住むモスクワでは5月31日までの自主隔離生活が延長されることが決定しました。世の中の不安定さに加えて、家にいる時間が長いので、ニュースや情報に対するニーズは高まっていると感じます。そしてニュースといっても、第一チャンネルやロシア新聞、タス通信などのいわゆる「大本営発表」ではなく、一般的には二流、三流の情報源とされている SNS や YouTube の存在感がとても大きいのです。そこで今回は YouTube に特化して、ロシア語話者に人気のチャンネルや、ロシア社会を知るために個人的に注目しているチャンネルについてご紹介してみたいと思います。

#### 1. ロシア語圏で圧倒的人気「A4」

まずはロシア語圏で他の追随を許さない、一番人気の「A4」です。何それ、紙のサイズ？と思うかもしれませんが、まあまあ当たっています！ベラルーシのミンスクに住む可愛い系イケメン、ヴラッド・ブマーガが運営しています。ロシア語のわかる方はすぐ気付いたと思いますが、ブマーガとは「紙」のこと。これは彼の本名なのです。小さい頃はこの特徴的すぎる名字が嫌で、改姓したいと両親に訴えていたヴラッド少年ですが、成長と共にあきらめがついたそうです。そしてチャンネル開設の際、自分のニックネームとして、紙のサイズとして一番人気があるという理由で、「A4」と名付けました。

彼がどれだけすごいのか、比較のために日本語の YouTube と比べてみましょう。複数のデータソースによりますと、今年の4月時点で、日本で一番登録者の多い YouTube チャンネルは「はじめしゃちょー」の858万人。第2位は「HikakinTV」で837万人です。そこへいくと「A4」の登録者数は、1,830万人です。日本一のチャンネルの2倍以上。東京都の人口でさえ、1,400万人に満たないくらいです。それだけアクセスがあると、いくら稼いでいるのかちょっと怖いですね。

彼の動画はアップロードから1日も経たずして、700万回、800万回と再生されています。最近、本人は冗談で「チャンネル登録者数が2,500万人になったら、イーロン・マスクが電話してきて、ロケットをプレゼントしてくれるかもしれないね」なんて話していましたが、ロシア語圏への影響力を考えたら本当にプレゼントしてくれるかもしれません。実際、銀行ATMを壊してみるという企画では、ATMの機械をタダで提供してもらったということを明かしています。

「A4」は3年にも満たないで、この成功をおさめました。もともとホッケー好きな普通の少年だったブマーガが、なぜここまで人気ユーチューバーになれたのでしょうか？もちろん

コンテンツの魅力というのがあります。一番有名なのは「チャレンジ」と呼ばれるシリーズ物で、フルーツで家を作ったり、33種類の野菜や果物から生ジュースを作って美味しいものを選んだり、卵をいろいろな方法で割ってみたりと、身近な範囲で面白いことをやっています。

もう一つの理由は、笑えるけれど、下品すぎないので、幅広い層にアプローチできたことかもしれません。ロシア語には「マート」と呼ばれる一連の罵り言葉があります。マートは基本的には放送禁止で、ニュースなどでは「ピー」という音声がかぶせられ、その部分が聞こえなくなります。しかしロシア人ならば、そこで何が言われていたのか類推できます。今、たまたま私は、ある映画の翻訳をしているのですが、そこに出てくる高校生の感情表現の90パーセントはマートです。それほど、若い人の中でマートは一般的で、多くの種類があり、それを避けて会話することは難しいのです。ブマーガは23歳で、彼の見た目はいかにも今時の若者なのですが、マートを全く使いません。企画でどれだけバカなことをしても、その話し方や物腰がどこか育ちの良さを感じさせるという、好感度も人気の秘密でしょう。住まいは今もミンスクにありますが、日本で言えば「徹子の部屋」のような、ロシアの人気トーク番組にも出演しています。

## 2. 現状打破への期待「ナヴァリヌィ・ライブ」

政治に関心がある人なら一度はその名を聞いたことのあるアレクセイ・ナヴァリヌィ。最近日本のメディアで取り上げられることはめっきり少なくなりましたが、反プーチン運動の中心的存在として今も精力的に活動しています。

彼のチャンネル「ナヴァリヌィ・ライブ」には色々な種類の番組があり、10分程度の動画もたくさんありますが、私は旬のテーマをナヴァリヌィが一人でしゃべり続ける生中継シリーズをよく見えています。生中継だけあって、例えば、今この瞬間に、当局からどういう言いがかりをつけられそうになっているか、どういう方法で「ハメられ」そうになっているのか状況を説明するなど、面白い話が聞けます。これまでナヴァリヌィは横領罪や詐欺罪で告訴されたり、有罪判決を受けてきたりしているので、そういった手口にも慣れているのでしょう。

支援者になる、つまりパトロンになるにはレベルが4段階あります。生中継だとリアルタイムでチャットが開き、パトロンが増えるとそこに表示されるので、彼の巧みな話術が影響して支援者が増えていく様を見るのは、なかなか興味深いです。また、寄付金もリアルタイムで表示され、20ルーブルとか、40ルーブルといった、ほんのわずかなお金でもたくさんの人が寄付している様子がわかります。

ただ、生中継は複数のテーマを扱いながら毎回3時間は続くので、集中力がそれなりに要求されます。所々、事前に用意してあったVTRを挟んだりしますが、長時間飽きさせずに話し続ける能力はすごいと思います。プーチン大統領と比べられるのはナヴァリヌィとし

ては不本意でしょうが、4時間ほど続く大統領の国民対話といい、自分の言葉で長時間話せる能力は、日本の政治家に欠けているものだと思います。

### 3. ジャーナリスト魂が光る「編集部」

こちらも社会問題に切り込んでいくタイプのチャンネルです。「リダクツィヤ」（編集部、の意）は、かつて NTV テレビで働いていたアレクセイ・ピヴォヴァロフが立ち上げたものです。ナヴァリヌィが政治家・社会活動家なら、ピヴォヴァロフは生粋のジャーナリストと言えるでしょう。若かりし日、自由な報道で知られた NTV がガスプロムの傘下に入った時にいったん会社を辞めますが、その後戻り、長くニュース番組の司会を務めました。

番組は綿密な取材に基づいたものが多く、およそ1時間にまとめられています。流行のテーマだけでなく忘れられかけた重要なテーマを掘り起こし、現在の視点から真実を見つめるという本来のジャーナリズムの役割も果たしています。

新型コロナウイルスを巡っては、多数の医師たちが、病院の惨状を知ってもらおうとピヴォヴァロフの番組に顔出し・実名で取材を受けました。こういうものを見ると、やはり声なき声を届けるメディアがなくてはいけないと実感させられます。

最近面白かったのは、ナヴァリヌィと、ロシア外務省のマリア・ザハロヴァ報道官が、オンライン生放送で直接対決をするという企画があったことです。具体的な日時と媒体まで決まり、しかもザハロヴァ報道官の方から申し入れたようですが、ピヴォヴァロフが司会をするらしいとわかると、ザハロヴァ報道官が対決そのものを断ったとか。また、ピヴォヴァロフ自身、司会は断ったと公に表明しています。この件については多くの曖昧な点があり、両者の言い分が食い違っているのですが、個人的には実現する日を楽しみにしています。

## VI-2. ロシアの感染症病院に入院してわかったこと

ロシアに引っ越してから色々なことがありましたが、その中でも、この4月は忘れられない月になりました。モスクワで外出規制がかけられた直後、病気になり、高熱、倦怠感、咳、鼻水などの症状が出て、CT 検査をし、胸に水がたまっていたので2週間ほど入院しました。最初は市内の一般総合病院、その後転院して、公立の感染症病院に入院しました。もちろん新型コロナを疑われましたし、自分でもそう思っていました、結局は違ったみたいです。ただ、あまりにもタイムリーに病気になってしまったので、予想外に注目され、「ロシア1」や「第一チャンネル」で私の入院のことがニュースになりました。すっかり回復した今、当時のことをふりかえってみたいと思います。

### 1. PCR検査を受けた感想

私はPCR検査を全部で4回やったのですが、それだけやると、人によって検体の採取の方法が違うな、ということがわかります。自宅で救急車を呼んでやってもらった1回目と、確定診断のためにやった4回目は、痛いけれど、我慢できる程度でした。2回目は、最初の一般病院に入院する際、アルメニア人っぽいスタッフの女性がやってくれました。彼女はベテランらしく全く迷いなく、狙いを定め、ズボッと奥深くまで差し込んできたので、強烈に痛くて泣きそうでした。3回目は、感染症病院の入院手続きの一環としてやってもらったのですが、その人は明らかにやる気がない感じで、ごく表面的に検体を採取しただけ。もちろん全然痛くありませんでした。

どれも陰性だったので結果的には問題ありませんでしたが、例えば2回目だけ陽性であれば、たとえ他の検査が陰性だったとしても、私は2回目の結果を信じたと思います。

ちなみに5月中旬、JALのチャーター便でモスクワから日本へ帰国した人の話を聞いてみると、羽田空港で行われたPCR検査はものすごく痛くて、奥をグリグリされたそうです。

モスクワでは、日本と違って、全く新型コロナの兆候がない人でもお金さえ払えば検査できますが、その場合は自分で検体を採取しないとイケません。実際にやっている人を見ましたが、自分でやるのは結構難しくて、すぐに吐いてしまいそうになります。

結局、その場所に「たまたま」ウイルスがいるかないかでも結果は変わってきますし、検査結果はやはり目安にしかならないのだな、と思いました。

しかし、検査結果が絶対ではない、と分かった上でも、検査数を最大限まで増やしているロシアの政策と、あえて検査数を絞っている日本の政策とでは、自分も病気になった身としては、ロシアの政策の方が良いと思います。普通、自分や周りの人に症状があれば、感染しているかどうか知りたいのは当然の感情ですし、それほど体調が悪い時に、保健所に何回も電話したり、病院で交渉したりなんていうことをやって、検査にたどり着くまで「努力」しなくてはいけないのは、やっぱりおかしいと思います。

## 2. ロシア伝統のお尻注射

治療は毎日の注射と投薬によるものだったので、入院中はわりとヒマな時間を過ごしていました。入院から5日目くらいまでは、高熱のせいで毎日ぼんやりしていて何もできなかったのですが、どんどん注射（抗生物質）が効いてきて、頭がハッキリし、回復している実感が得られるようになってきました。ちなみに注射はロシア恒例のお尻注射です。退院してから、ロシアと付き合いの長い、ある商社 OB の方と連絡を取り合っていたところ「もう何十年も前の話だけれど、肺炎で入院して、お尻に抗生物質の注射を毎日打たれていた」と聞きました。基本的には当時から変わっていないようです。

## 3. 難易度の高い食事

入院時に話を戻すと、日々の中での楽しみは食事でした。と言いたいところですが、食事にありつくまでは少し精神修行が要求されます。料理はカートにのってやってきて、それぞれの病室の前で、お皿にのせてもらう仕組みです。移動式のスタローバヤのようです。料理を取り分けてくれる係の人は、2日ごとのシフト制なのですが、怖いおばあさんに当たると私はいつもビクビクしていました。ドアをバーンと開けて「お嬢ちゃんたち！ご飯！」と叫び、早く行かないと怒られます。たまに飲み物（キフィールとコンポート）が選べたりするのですが、決断が少しでも遅れると「どっちだよ！」と怒鳴られます。ただし気分によってコンポートをお玉2杯ぶん注いでくれる時もありました（通常は1杯のみ）。

しかし、そんなおばあさんに「物申す」入院患者がいるのには驚きでした。その強者は、キャベツは食べられないとか、もっと肉が欲しいとか、お腹が減ってたまらないとか、色々要望しているのです。すると、おばあさんの方も、「後で肉が余ったら持ってきてあげましょう」とずいぶん優しい対応！

ということは怒っているのでも怒鳴っているのでもなく、声が大きいだけなのかもしれません。ロシア人の大声やぶっきらぼうな物言いにはずいぶん慣れたと思っていた私ですが、まだまだ修行が足りないようです。

## 4. 書類大国ロシアの良いところ

退院した時にいくつか予想外なことがありました。退院サマリーというか、A4の紙で6枚にもなる、詳細な記録をまとめたものを貰えたのです。そこには、どんな症状で入院してきて、どんな検査や治療を受けたか、その結果や、今後受けるべき検査のアドバイスなどが書いてありました。これはとても役立つサービスだと思います。日本でこういう立派な診断書を発行してもらおうと思ったら有料になるのではないのでしょうか。

そして驚くべきことに、入院から退院まで1ルーブルも使いませんでした。つまり完全無料で入院でき治療してもらえたわけです。新型コロナだったら指定感染症だから無料で、別の病気なら有料だろうと思っていましたが、本当にびっくりしました。

しかし最後の最後にオマケがありました。入院中は、病院の敷地内を移動する場合は車で移動できていたのですが、退院した途端、それがなくなりました。敷地内にはいくつも病棟があり、それらは互いに離れた位置にあります。私のいた病棟は白樺の林の隣でした。白樺の間を通り抜けながら、敷地の出口まで徒歩で向かうのですが、これが病後の身体にはかなりきつかったです。しかも同僚や友人から差し入れを届けてもらったため、大量の荷物を持っています。助けを頼もうにも、全く誰もいないのです。

雨も降ってきて、ヘトヘトになりながら、ようやく人通りのある一般道にたどり着き、タクシーを呼びました。明らかに感染症病院帰りの怪しい外国人ですが、ドライバーは嫌な顔ひとつせず乗せてくれました。

## 5. 医療の地域格差

先月のこのコラムでもご紹介した YouTube チャンネル「リダクツィヤ」では、ロシアの中でも感染者数が多く医療崩壊が疑われているダゲスタン共和国の現状取材をしていて、非常に興味深く視聴しました。

当然といえば当然ですが、やはり私の入院したモスクワは、あらゆる面で最先端を行っているのだと実感しました。入院先の病棟は改修済みで清潔でしたし、適切な治療も受けることができました。この月報が発行される頃、ちょうどモスクワの外出規制が解除されているはずですが、第2波第3波が来てしまうのか、しばらく注意深く様子を見ようと思います。

### VI-3. ロシアの人口減問題と中絶薬販売規制の行方

モスクワで新型コロナ拡大がピークを迎えていた5月末、「中絶件数を減らしてロシアの人口を回復しよう。ついでには、薬局での中絶薬の販売も制限しよう」という方針がひっそりと大統領に提案されていました。これは大統領直属・子どもの権利全権代表のアンナ・クズネツォヴァが言い出したことです。この案には、子どもや女性の権利の専門家、国会議員たちが強く反発しています。

#### 1. どうやって中絶件数を減らすのか？

クズネツォヴァは年間活動の報告をまとめた中で、ロシアの人口は4年連続で自然減しており、これを回復させる必要があるとし、中絶を減らす具体策を2つ挙げました。

現行のロシアのシステムでは、まずは婦人科に行って、そこで紹介状をもらえば公立病院で無料で中絶手術を受けることができます。中絶は医療行為なので、実施した件数が多ければ多いほど国から病院に多くの治療費が払われます。これだと、病院は女性に中絶を思いとどまらせても、受け取れるお金が減ってむしろデメリットになります。

そこでクズネツォヴァは、この仕組みを逆にして、中絶件数が少ない病院に、より多くのお金を回しましょう、と主張しているのです。つまり「水際で食い止める」というのです。

2つ目の策は、街中の薬局で買える中絶薬の販売を制限しようというものです。現行では、ジェネリックも含めれば1,000ルーブルくらいから買えます。一応処方箋は必要、ということになっていますが、ロシアの薬局では処方箋がなくても売ってもらえることが多いです。

#### 2. 世界で普及している中絶薬とは？

ただし、誤解しないでほしいのは、中絶薬の存在そのものがロシアの風紀を乱しているわけではありません。中絶薬という言葉自体にピンとこない人も多いと思いますが、緊急避妊薬（アフターピル）とは別に、妊娠7～9週まで使える中絶薬が欧米、ロシア、中国など世界60カ国以上で認可されています。最初の中絶薬は1988年にフランスで登場しており、WHO（世界保健機構）も、妊娠初期の中絶には身体に負担の少ない中絶薬の使用を推奨しています。ちなみに日本はこの分野では化石のような存在で、中絶薬は承認されておらず、中絶といえば手術一択で、個人輸入も禁止されています。

#### 3. なぜ中絶と人口政策を結びつけるのか？

ところで、そもそもの話として、なぜ中絶をなくせば人口が増えるという発想になるのでしょうか。それはやはり、ロシアがもともと世界的に見て中絶の多い国であるためでしょう。2005年にはなんと、1年間に約150万件の中絶が行われていました。私の出身である神戸市の人口と同じくらいですから、かなりインパクトがあります。

最近の数字は、出典ごとに差があるのでどの程度確かかどうかわかりませんが、ロシア保健省の発表によると、2018年の1年間では56万7,000件でした。これでもだいぶ減りましたが、この数は2018年の新生児数の3分の1にも匹敵するため、ロシア政府は由々しき事態だとみなしています。日本では年間に約16万件ですから、減ったと言ってもまだまだ多いことがわかります。

#### 4. ロシア正教会「中絶は殺人」

クズネツォヴァの提案を、待ってましたという勢いで利用しているのが、ロシア正教会です。もともと中絶を殺人だと主張してきたロシア正教会は、「昨今の病院はろくにカウンセリングもしないで、中絶を助長している。これは完全にビジネスだ」と批判し、中絶を減らすためのあらゆる方策を支持すると表明しました。

ロシア正教会のトップであるキリル総主教は、中絶の問題を解決すればロシアの人口を2030年までに1,000万人は増やせると主張しています。もちろん現政権とロシア正教会との蜜月は誰の目にも明らかなのですが、こういうことに宗教関係者が大っぴらに口を出して来るようになるのは、ちょっと危ないサインだと感じています。

#### 5. 格安・非合法中絶の懸念

クズネツォヴァに表立って反発しているのが、ロシア下院家族・女性・子ども問題委員会のオクサーナ・プーシキナ副委員長や、前ロスパトレブナゾール（消費者権利保護・福祉監督庁）長官のゲンナージー・オニシチェンコです。

特にオニシチェンコはロシアでかつて中絶が禁止だった時代を知っているだけに、強く反発しています。当時は格安で手術を請け負うヤブ医者が台頭し、子どもは墮ろせても、2度と妊娠できない身体になってしまった女性が数多くいました。「それは結果的に、将来の出産のチャンスを奪うことになり、人口は逆に減ってしまう」というのがオニシチェンコの主張です。

#### 6. コロナで手術を受けられなかった人たち

さて、この議論がゴタゴタしていたちょうどその時、公立病院では異変が起きていました。コロナ禍では、命に関わる緊急手術だけを行っていて、中絶は緊急とは見なされなかったため、手術を受けられない女性が続出しました。モスクワでは3か所の公立病院だけが例外的に中絶を受け入れ、患者の大量集中で医師の手が全く回らない状態でした。移動制限があっても、近隣の都市からやってくる人もいました。そこで、「これも運命だ、出産することにしよう」と思い直した人もいれば、どんな手を使ってでも中絶しようとした人もいて、後者は私立クリニックに流れました。有料で中絶する場合、ごく初期なら、冒頭で紹介した薬を使うため8,000円程度で済みますが、公立病院の順番を待っていてタイミングを逃し、中期

中絶となってリスクを増やしてしまった人もいました。

中絶制限の話は本来はコロナとは関係なかったのですが、皮肉なことに、公立病院で中絶を制限したらどうなるかという、社会実験のような形になってしまったのです。

## 7. 結局は経済力の差？

中絶制限を提案したクズネツォヴァ本人はなんと7人の子どもの母親。つい最近、6月1日に7人目が生まれたばかりです。彼女は子どもの権利を守るという立場から「この人口減の状況下で、たとえまだ生まれていなくても、それぞれの子どもの人生を守ることには特別な意味がある」と主張しています。

言っていることはもっともらしいですが、私としては、親の生活が成り立たなければどうやって育てるのだろう、とってしまいます。

一番よく耳にするのが、2人、3人とすでに子どもがいる家庭で、夫がコロナの影響で失業し、墮胎を選ばざるを得ない、という話です。そういう人はお金さえあれば出産するでしょうから、全く経済的な心配をしなくていいクズネツォヴァがこのタイミングで発信しても、説得力がないなと感じます。

ロシアの産院では出産直後に親権を拒否でき、新生児を病院に置いておくことができるシステムがありますが、中絶できなければ、結局は拒否される子どもを増やしてしまうだけではないのか、とってしまいます。それでも、人口自体は増えるわけなので、もしかしたらロシアとしては、それでもいいのかもしれない…。

## VI-4. 戦史取材が見つない不思議な縁

ロシアで生活する楽しみの一つは、思いがけない出会いだとか、日本では考えられないような急展開で、自分でも予想しなかった方向に物事が進んでいくことだと思います。先日、モスクワにある共産党支部のオフィスを訪問し、なぜか感謝状をもらうという変わった体験をしたので、なぜこんなことになったのか順を追って書いてみたいと思います。

### 1. 大量の犠牲者を出したルジェフ訪問

この文章を書いている 10 月末は、ロシアはコロナ感染者数で連日最高記録を更新しており、とても旅行という雰囲気ではありません。しかし、9月はまだ余裕が感じられ、休暇をとって国内旅行に行く人もたくさんいました。

私は、知人の紹介で9月 17 日にルジェフという街に行きました。ルジェフとはトヴェリ州にある街で、今年になって新しくソ連兵士のメモリアル・モニュメントができました。高さ 25 メートルにも及ぶ兵士の像は迫力があり、孤独で物悲しく、州内外からたくさんの方が献花に訪れています。ルジェフでは第二次世界大戦中、1942 年から 43 年にかけて赤軍とナチスドイツの間で、血で血を洗うような戦いが繰り広げられました。ロシア人はこの戦いのことを「ミヤサルプカ」と呼びます。大量殺戮とか大虐殺、という意味のある言葉ですが、もともとはかたまり肉をひき肉にするキッチングッズのこと。そう思うと、いかに戦いが壮絶なものであったのか、想像するのも恐ろしいです。

2019 年にルジェフの戦いは「ルジェフ」というそのままの名前で映画化されていますが、「イメージと違う」「実際はもっと酷かった」という声が多く、ロコミでも大体悪い評価がついています。

私は、モスクワに住むトヴェリ州出身の人が集まる「トヴェリ州人会」の貸切バスに乗って行きました。というのは、日本に正教を伝導した聖ニコライがトヴェリ州の出身で、私は彼についての記事を何本か書いていたので、その関係で招待してもらったのです。今度は、日本ではほとんど知られていないルジェフの戦いについて書いてみようとして色々調べていると、同じバスにいたモスクワのローカル局のディレクターと知り合い、後日彼の YouTube チャンネルに出演することになりました。

### 2. モスクワの美しい「北の川の駅」

ディレクターに連れられてやってきたのは、モスクワの北西部にある、リニューアルオープンした川の駅です。川の駅とは船着き場のことで、ここからクルーズ船やモスクワ周遊船などが出発します。この船着き場は 1937 年にオープンしましたが、2009 年に建物の老朽化により閉鎖され、ずっと放置されていました。3年前に正式にモスクワ市の所有物になると、市はすぐに修復作業を開始。9月 5 日に、見違えるほど美しく蘇って再オープンしました。

隣接する公園や駐車場も整備され、市民の憩いの場になっています。撮影は、素晴らしい秋晴れの天気の中で行われました。

後日、その放送を見た、共産党レニングラード地区委員会が、私に感謝状を送りたいというので、びっくりしました。そもそも感謝状をもらうようなことは何もしていないし、しかも共産党？ということ、謎だらけです。しかし「もらえるものはもらっておけ」とディレクターに説得され、あれよあれよと言う間にセレモニーに出席することになりました。

### 3. 共産党のオフィスはソ連にワープしたよう

当日はあいにくの雨。レニングラード地区委員会第二書記のムサエフ氏が、自らのレトロな愛車でお迎えに来てくれました。さすが車からして、共産党は違うな...と衝撃を受けました。

住宅の1階にある地区委員会のオフィスはまるでソ連時代の家のように、家具も家電も何もかも、その時代から何も変わっていないような雰囲気でした。セレモニーでは、感謝状3枚に加え、私の名前を刻印したペン（わざわざ事前に注文してくれていました）、ジュガーノフ氏の著書、チョコレート、赤いバラの花束など、色々なプレゼントを頂きました。

贈呈式でムサエフ氏がスピーチしてくれ、そこでようやく、何に対しての感謝状なのかを認識しました。ルジェフの戦いについて私が記事を書こうとしていること、そして、私が番組の中で述べたルジェフ訪問の感想が気に入ったことだそうです。特に退役軍人の方々に対し、私が正しく(?)敬意を払っていることが感謝の対象になったそうです。私からすれば、自分の健康、若さ、時間など、たくさんの貴重なものを犠牲にした方達に敬意をもって接するのは当たり前で、特にそれが共産党的とは思わないのですが、何か、彼の胸を打つものがあったようです。

セレモニーの後は、政治学者や活動家などゲストを呼んで懇談会が行われました。そのうちの一人は社会組織「戦争の子ども」のメンバーでした。1928年から45年にかけて生まれた、子ども時代を戦争によって奪われた世代に、より手厚い支援をせよというもので、共産党がこの活動の中心になり、国会でも法整備を訴えています。ただ、生活が苦しいのはみんな同じだという不公平感もあって、なかなか思うように賛同が得られていないとのことでした。懇談では「オリガルヒは貧しい人に車を配るべきだ」とか「大学卒業後は国が若者に仕事にあてがうべき」などの共産党っぽいテーマや、ゾルゲの日本での評価など、様々な話題に花が咲きました。

## VI-5. ロシア社会に衝撃を与えた生放送中の死

寒さが本格的になった 12 月上旬、モスクワ郊外の一軒家からほぼ裸で放り出され、27 歳の女性が凍死(?) するというショッキングな出来事があり、大きなニュースになりました。

この家に住むのは、ネット上では「Reeflay」の名で知られている人気 YouTuber のスタニスラフ・レシヨトニコフ。30 歳で、自分の家に友人を招いてはどんちゃん騒ぎを繰り返し、その様子を動画配信するという方法で収入を得ていました。この女性は、数時間前に下着姿で家から閉め出されていきました。Reeflay の「生放送」は、冷たくなった遺体を部屋の中に運ぶところから始まっています。この動画は数百万人が閲覧し、1 か月以上経った今でも、ネット上に残っています。

### 1. 近所迷惑で有名な YouTuber の家

Reeflay は、自分の生活をリアルタイムで配信するだけでなく、視聴者が払う「お小遣い」に応じて、生放送で課題をクリアしたり、動画に登場する友人知人にも課題を与えて、それをクリアさせていました。こうやってお金を稼ぐ方式を「ゲームストリーム」と呼びます。画面上には「ウイスキーを飲む・200 ルーブル」とか「ディープキス・1000 ルーブル」などと、一般的な課題の値段表が表示されています。視聴者からの課題は「胸糞が悪くなる」類のもので、金のためならなんでもやるのか... と人間の尊厳を疑ってしまいます。

そんなものを見たい人がいるのか? とはいきや、彼は人気者でかなりの収入があり、一等地の一軒家の家賃も払っていたというのですから、ロシア社会の闇を感じざるを得ません。

稼いだお金で酒を大量に買い、騒ぎを繰り返しているのです。近所の人たちもこの家に誰が住んでいるかよく知っていました。

### 2. 救急隊も警察も呆れる

動画は遺体を部屋の中に引きずってきたところから始まっており、Reeflay は女性に話しかけますが、応答はなく脈もありません。茫然自失となった Reeflay は、それでも動画を止めることはせず、シャンパンを飲みながら、生放送でつながっている視聴者に、涙ながらに、これから自分はどうすればいいか聞いていました。反省の言葉を口にするのですが、これがまた白々しいです。

視聴者に促されてとうとう救急車を呼びます。救急隊の女性は Reeflay と顔見知りで、「またお前か」という様子で会話しています。おそらくアル中などで以前にもお世話になったことがあるのでしょう。

ちなみにこの間、遺体はソファの上に乘せられていて、わざわざ見えるようにされています。

その後に警察がやってきて、Reeflay に動画配信を止めるように言います。彼はその指示に

従ったように見せかけましたが、実際はカメラをずらしただけで、配信そのものは中断しませんでした。その間、「僕は罪に問われますか?」「わからない、これから調べてみないと...」という会話だけが聞こえます。警察は少し後で配信が止まっていないことに気づき、とうとう動画を止めさせました。

### 3. 女性はなぜ犠牲になったのか

ワレリアというこの女性は、クラスノダル出身。髪をショッキングピンクに染めている以外は至って普通の容姿です。父親はおらず、祖母と母は亡くなり、ほぼ身寄りのない状態で、モデルになることを夢見てモスクワにやってきました。しかしモデルのキャリアはうまくいかず、共通の知人を通して Reeflay と知り合い、彼と同居するようになります。人気 YouTuber と組めば有名になれるという打算もあったのでしょうか。

このコラムの冒頭で凍死(?)と疑問符をつけましたが、今のところ、彼女がなぜ死んでしまったのかは諸説あります。その日のモスクワの気温はマイナス3度で、郊外ですからマイナス5度くらいはあったかもしれません。下着姿で何時間も外にいたというので、発覚当初は「凍死」と報道されていましたが、後から薬物中毒が発覚したり、(確かに、いくつかの動画で、彼女の振る舞いは異常でした)脳出血があることがわかったりと、色々な追加情報が出てきました。彼女は、動画では主に「いじめられ役」だったので、脳出血も、撮影中の暴力によるものではないかと疑われています。Reeflay の YouTube チャンネルは削除されましたが、唐辛子スプレーを彼女の顔面に吹きかけるなど、いくつかの「いじめ動画」はネット上に残っています。

ワレリアをほぼ裸で外に出したのは Reeflay 本人で、一度目はその様子を近所の人が目撃したため、彼女を家の中に戻しましたが、近所の人がいなくなってから再び彼女を外に出しました。警察での取り調べで彼は、締め出しの理由について「彼女は腸の病気で、臭いが酷かったので、罰を与えたかった」と言っています。

### 4. 人気番組「生放送」でまさかの対面

この騒動の1週間後、第一チャンネルの人気トーク番組が企画したのが、被害者側と加害者側の親類を同じスタジオに集め、それぞれを弁護させるというえげつないもの。番組のタイトルがたまたま「生放送」というのも、皮肉です。身寄りが無いと思われていたワレリアですが、数年間連絡をとっていなかったという従姉妹がいました。素朴な田舎の女性という感じですが、対して Reeflay の母親は、息子の3倍はあろうかという体型。テレビ受けしそうなビジュアルをしています。それにしても、これだけ大きな話題になって、加害者の親族が顔も隠さず堂々とテレビに出るのがさすがロシアだなと思います。日本であれば、もう元の家には住めないでしょう。

ゲストは2人とも感情的になり泣き出しますが、どちらも当事者ではないので、具体的な

話が出てこず、真相はわかりませんでした。今後の裁判では、過失致死罪に問われることとなります。

## 5. 暴力とネット、モラルの崩壊

この一件では、ロシアの「えぐさ」とでも言うか、嫌なところがクローズアップされたなと思っています。ネットにおける自己表現の自由さがあるのは良いのですが、一部の層のモラル崩壊が顕著で、より集客力のある、より暴力的なコンテンツを作ろうとしています。そしてそれをお金に変えるのです。暴力の要素が人気を集める傾向は長く続いており、それがエスカレートして、警察沙汰になることも珍しくありません。

Reefly事件の1か月前には、別の人気ブロガーがカフェで友人たちとくつろいでおり、女友達が（ブロガーの男性の体型が立派なので）「脱いで見せてよ」と言ったところ、男性が腹を立て、後ろから首を締めてテーブルに突っ伏させ、頭をガンガンと殴りました。この様子は全てリアルタイムで配信されていました。女友達が警察に届け出て男性は逮捕され、「服を脱げというのは侮辱だと思った」と供述しています。それくらいでそこまで殴る？と思うような激しい暴力で、怒りの沸点が低くなっていることに恐ろしさを感じます。

とは言え、暴力や嫌悪感を催させるようなチャンネルの開設者が見るからに異常者ということは少なく、カメラが回っていない時は至って普通だったりします。そういう「普通の人」が絶えず攻撃的なコンテンツのアイデアを生み出しているというのは、かえって不気味です。

## VI-6. 汚職と戦い人気だったヤクーツクの女性市長辞任

特に長かった今年の正月休みが終わり、ようやく仕事始めとなった1月11日、サハ共和国ヤクーツクの市長、サルダナ・アフクセンチエヴァ氏が辞意を表明したという思いがけないニュースが飛び込んできました。アフクセンチエヴァ氏は反汚職を掲げ、2018年9月の選挙で、中央政権与党「統一ロシア」の候補を破りヤクーツク初の女性市長となりました。市長就任後は、しがらみを断ち切り、様々な汚職（後述します）を撲滅し、果敢に公約を果たしてきました。本コラムでは、ヤクーツクの枠を飛び越え全国的に人気があった彼女の人となりと、辞任理由をめぐる論争について考察してみます。

### 1. 「奇跡の女性」の功績

誰もが予想しなかった当選から数か月後、すでにアフクセンチエヴァ氏はロシア全土の有名名人になっており、マスコミから「奇跡の女性」「人民の市長」「スカートをはいたナヴァリヌイ」などなど、数々のニックネームをつけられました。

彼女はまず、必要とは思えない支出を減らすことから始めました。前市長が買ったばかりの新車を含む高価な公用車をオークションにかけ、売上金を借金返済と障害者向けタクシー代にあてました。市役所職員のためのバレエ上演や毛皮のコートの展示即売会、市が主催する年末のパーティー、有名デザイナーを呼ぶイベント、マスコミ対策という名目の接待、海外視察なども全て取りやめました。市が契約した道路工事業者が雪の上にアスファルトを敷いているのが発覚した時は、直ちにその業者との契約を解除し「こんな仕事に対してお金は払いません」と言っただけでした。

読者の皆さんの多くがご存知のとおり、ロシアで道路を作る時は、道路そのものが必要というよりも、資金洗浄とか中抜きなど、別の目的がある場合がほとんどです。そのことはロシア中の誰もが知っているのですが、敵を作ってもそこにビシッと切り込んだのは、良い意味で社会に衝撃を与えました。

また、除雪作業に十分な予算を割いているはずなのに、市民から「除雪されていない」と苦情が届きました。抜き打ちで調べてみると、ある地区に15人の作業員がいるはずのところ、実際は2人しか出勤していないことがわかりました。残り13人分の給料は、どこかへ消えてしまっていたのです。アフクセンチエヴァ氏はその地区の責任者をクビにし、本来の作業員の数を確保しました。このようなエピソードは、枚挙にいとまがありません。

### 2. インスタグラムで市民と対話

もう一つの人気の理由は、インスタグラムを活用した、積極的な市民との対話です。アフクセンチエヴァ氏のフォロワーは約22万人。フォロワー数で言えば元SMAPの稲垣吾郎さん（約25万人）とライバルになれるレベルです。私もフォロワーのひとりで、毎回の投稿

を楽しみにしていました。

投稿は、市が抱える具体的な課題に関するものが多く、それに対する市長の考えを、かなり詳しく書いています。単に「視察しました」という政治家の投稿が多い中、彼女の投稿は一線を画しています。インスタは普通、写真がメインですから、彼女の投稿を見るまで、インスタにこんなにたくさんの文字数が投稿できるとは知りませんでした。市民からのコメントにも丁寧に返しています。

また、好感がもてるのは、決して自分をよく見せようとはしてない点です。アフクセンチエヴァ氏の写真は写りがイマイチだったり、素人っぽい自撮りがあったりしますが、加工だらけのインスタの写真の中で、全く自分を飾らない投稿は、現場のリアルさを忠実に伝えています。夫とのツーショット写真をアップし（下の画像参照）、辞職を表明した投稿には、およそ7,000件のコメントがついています。

### 3. 厳しいコロナ対応

無所属で、市民の人気だけに支えられてここまでやってきた人なので、大衆に迎合するタイプかと思いきや、市民に対して厳しい発言もしています。特にコロナ対応ではそれが顕著でした。

コロナが流行り始めた段階で、まだ人々の危機意識も低かった頃、「店にも、市バスにも、以前と同じで人が多すぎます！日曜の昼ですよ？どんな緊急の用事があるというのですか。法的に許されるんだったら、全部の店を閉めてます！全部ネットで注文してください、家にいてください！」と厳しい口調で呼びかけました。私もその動画を見ましたが、これほど感情を込めて本気で訴えるとは驚きました。

このお説教には市民も面食らったようで、「宅配を頼む金があると思うな」など多くのアンチコメントが集まりましたが、後になってコロナの脅威を知るにつけ、厳しすぎると思われた説得にも、人々は理解を示すようになりました。

### 4. 辞意の真相は？

さて、ここまで読んでもらったところで、そんな責任感の強い人が、なぜ任期途中で辞めるのか？クレムリンの圧力か？という疑問がわいてくると思います。

アフクセンチエヴァ氏自身は辞職の理由を「健康問題」としており、インスタには「ストレス。常に、市のことを心配している」「もう、24時間365日働くことはできない」「もうすぐ手術する」「私は今まで決して、権力や役職にしがみつ়くことはしてこなかった」と書かれています。そして外部からの圧力を否定し、この決断は家族会議の結果によるものだと述べています。

彼女の仕事ぶりをフォローしていれば、このペースで仕事をしていたら心労が絶えないであろうことは本当によくわかります。

ただ、本人の言葉をそのまま受け取る人やメディアは少なく、「圧力説」は根強く囁かれています。辞意表明の投稿の中で彼女は、自分の後継者をはっきりと指名しています。それは第一副市長であるエフゲーニー・グリゴリエフ氏です。彼は、統一ロシアの党员です。自分の選挙では統一ロシアの候補を破って当選したのに、統一ロシアの党员にポストを譲るとはどういうことなのか、反クレムリンではないことを示すポーズなのか、不可解に思っている人がたくさんいます。

一方で、グリゴリエフ氏は「チーム・アフクセンチェヴァ」として一緒に仕事をしてきた仲間なので、「どの党に属しているかではなく、人間を見ているんだ」という声もあります。アフクセンチェヴァ氏は、今後は自分がグリゴリエフ氏の力になっていくと話しています。

反政府系テレビ「ドーシチ」のインタビューでは、アフクセンチェヴァ氏と親しい女性が出演するというので、辞任劇の真相、せめて病名がわかるのではないかと注目されていました。しかし彼女は、アフクセンチェヴァ氏について「圧力があっても、圧力に屈するような人じゃない」と言いながらも、いざ病気のこととなると「何か血圧に問題があるみたいだ」としか答えず、歯切れが悪く、結局何も新しいことはわかりませんでした。

このコラムを書いている今は、ロシア各地でアレクセイ・ナヴァリヌイ氏を釈放せよというデモの真っ最中。私の友人知人もデモに出かけ、若者の鬱憤や閉塞感、やり場のない気持ちの高まりを肌で感じます。アフクセンチェヴァ氏の辞任で、改革を先導し、希望をもたらしてくれた政治家がいなくなってしまったことが、残念でなりません。

## VI-7. コロナ禍で感じる労働移民と地元市民の差

このコラムを書いているのは3月初頭。ロシアでワクチンの一般接種が始まってから、1ヵ月半経ちました。これだけの短期間の間にも、ワクチンが打てたり打てなかったり、規則がコロコロ変わり、労働移民、外国人に対するコロナ対策は、色々と変化してきました。自分自身もモスクワに住む移民のひとりなので、コロナにかかった自分の体験もまじえながら、コロナ禍における移民の生活についてご紹介します。

### 1. 入院レベルなら万全の治療

労働移民がコロナにかかったらどうなるか？という質問の答えは、少なくともモスクワでは、「症状が入院レベルなら手厚く対処してもらえるが、自宅療養だと何もしてもらえず厳しい」ということです。

コロナの疑いで自宅に医師を呼んだり、PCR 検査を受けたりするには、基本的に「OMC」という強制保険が必要になります。OMC を取るためには、「BHЖ」（永住権に近い滞在資格。以前は5年間有効だったが現在は無期限）あるいは「PBII」（3年間有効の一時滞在許可）を持っている必要があります。しかし申請には実に様々な書類が必要ですし、一定の収入を上回っていること、ロシア語やその他の試験にも受かる必要があり、ハードルがとても高いです。

労働移民は今、キルギスやベラルーシ、アルメニアなどユーラシア経済連合加盟国の加盟国から来ている人と、「パテント」という労働移民のための滞在資格を持っているタジキスタン人やアゼルバイジャン人、ウクライナ人などに分かれます。しかしいずれの場合も、OMC を持っていることはまずありません。その点では、労働ビザや留学ビザで滞在している日本人も全く同じ立場です。

モスクワ市のコロナ専用ダイヤルで確認したところ、38度以上の高熱や咳などの症状があれば救急車を呼ぶことができ、PCR 検査もしてくれるということでした。救急車は緊急措置にあたるため、ビザの種類や保険の有無は関係なくサービスを利用することができます。コロナ陽性で入院レベルの症状（50%以上の肺炎）があると、外国人もロシア人と同様に入院でき、治療や食事などは全て無料です。

私は OMC を持っているため、コロナにかかった際アビガンのジェネリック「アルファビル」や、抗生物質や抗血栓薬などを無料でもらえ、パルスオキシメーターも無料で貸してもらえました。自宅への医師訪問やアプリを使っての遠隔診療など、手厚いサービスを受けられました。しかしそれでもかなり心細い闘病生活でした。一般的に移民がコロナにかかって自宅にとどまる場合、こういった医療サービスは一切受けられず、放置されます。移民の数が減ったと言っても、2020年12月時点でロシアに合法的に残っている移民は600万人います。それを考えると、コロナ患者に限り、一定の料金を払えば皆と同様にサービスにアクセ

スできる様にするなど、何らかの措置をするべきだと考えます。

## 2. 労働移民のワクチン接種権利

コロナ騒ぎが本格化した 2020 年の春には、市場やスーパーマーケット、複数人で借りている住居など、あちらこちらで労働移民が集団感染したという話を耳にしました。時期的なことを考えると、その人たちもそろそろ抗体がなくなっているはずですが、そう思うと、再感染・重症化を防ぐためにもワクチン接種が有効だと思いますが、冒頭で紹介した通り、これを巡っても色々な論議が交わされています。

公立病院でのワクチン接種は OMC 保持者に限られます。一方で、グム百貨店やゲリコン・オペラなどの「出前接種」では、パスポートがあれば保険の有無に関係なく、列に並びさえすれば誰でも打てました。

1 ヶ月ほどはその状態が続きましたが、急にルールが変わり、OMC がないと打てない、という話になり、拒否される移民が出始めました。数日前に行った友人は打てたのに、今日自分が行ってみたら打てなかった、というのは不公平です。モスクワ市のワクチン接種案内を隅から隅まで読んでもルールは明示されていません。あくまで現場の運用ルールということのようです。最初はとにかく接種人数を増やすアピールをしたくて誰でも OK にしていたのか、ワクチンの生産が追いついていないのか、理由は謎のままです。

## 3. 移民に支えられるタクシーとデリバリー

この「ワクチン差別」に異を唱えたのが、ヤンデックスです。ロシアの大都市のデリバリーサービスは、コロナ禍の間に、世界一便利なレベルにまで発展しました。私もスーパーに買い物に行く習慣がなくなり、10 回のうち 9 回くらいは移民の人が運んでくれます。配達はとても早く、配達料も無料かごく少額で、今や生活に欠かせないインフラになりました。

ヤンデックスは、運転手や配達人に、無料でワクチンを接種するようモスクワ市当局に陳情しました。しばらくすると訴えは認められ、まずはタクシー運転手専用のワクチン接種所が 6 か所設けられました。配達人のワクチン接種所も、今後開設される予定です。ロシアのこういう点でのスピーディーさには見習うべきものがあると思います。

## 4. 結局はロシア人のため？

しかし労働移民のための労働組合長、レナート・カリモフ氏はテレビ局「360°」の取材の中で、モスクワ市の措置に対して皮肉な見方をしています。「ワクチンを接種したいという理由で私のところに相談に来た人（労働移民）はいません。ロシア人は労働移民の運転する車に乗り、彼らからモノを受け取る。つまりはロシア人自身の安全を確保したいから、そんな措置に出たのでしょう。そもそも最初から、国籍でワクチン接種の順番を決めるなど馬鹿げたことです。労働移民はロシア人と一緒に働いている。パスポートの違いでウイルスが避

けてくれるわけではありません」というのがカリモフ氏の主張です。

## 5. 4人を殺害、移民に対する厳しい目

新規感染者数も右肩下がりになり、少し春めいたムードになってきた矢先、ニジニノヴゴロドから驚きのニュースが飛び込んできました。2月28日、ある裕福な一家で、祖父母、妻、6歳の息子が斬殺されるという事件が起きました。夫は出張中、娘は乗馬のレッスンに出かけていて不在でした。容疑者は拘束されました。26歳のウズベキスタン人男性で、一家の建設作業などを請け負っていました。100万ルーブル以上の現金や宝石類を盗み、逃亡を試みましたが当日中に逮捕されました。犯行の理由について彼の弁護士は「給与も不当に低く、人間以下の扱いを受け、精神的におかしくなった。国に帰りたくてもパスポートを返してもらえなかった」と話しています。彼は労働移民としての登録をしておらず、一家に雇われていたのも、個人的な関係によるものでした。地元警察も、彼のような移民がいるのを知っていましたが、特にとがめることはなかったそうです。

この事件のせいで「ロシアは移民に優しすぎる」「個人で不法移民を雇えるのはおかしい。管理をもっと厳しくするべき」という議論が沸き起こりました。不法移民の管理に関する情報センターのセンター長、アレクサンドル・ジャギレフ氏は「ロシアの移民に関する法律は十分すぎるほど厳しい。問題はルールが守られていないことだ」と述べています。

コロナ対応の差によって、外国人はただでさえ居心地の悪さを感じてきました。こういった事件をきっかけに、これ以上社会の分断が進んでほしくない、と思います。

---

---

令和2年度ロシア地域貿易投資促進事業  
ロシア新規市場開拓可能性調査

## 現代ロシア・ビジネスの新潮流

2021年3月発行

---

編集・発行

一般社団法人ロシアNIS貿易会  
ロシアNIS経済研究所  
東京都中央区新川1-2-12  
電話 (03) 3551-6218

---

©禁無断転載

---

---